

第4回みえ県民1万人アンケート
《集計結果 報告書》

令和8年7月

三重県政策企画部

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の概要	1
3 調査の内容	1
4 回収結果	1
5 報告書の見方	2
6 回答者の属性	3

II 集計結果

1 生活の満足度	5
2 14分野別の満足度	9
3 県が注力している取組に関すること	41
3.1 人材確保について	42
3.2 人口減少対策について	44
3.3 文化振興について	48
3.4 観光について	52
3.5 ジェンダーギャップの解消について	54
3.6 共生社会について	56
3.7 デジタルの活用について	58
3.8 災害について	62
4 結婚や子ども・子育てについて	67
4.1 結婚について	68
4.2 子ども・子育て支援について	73
5 ライフステージ別分析について	83
5.1 子育てと仕事を両立する上で必要だと思う対策について	84
5.2 人口減少対策について	85
5.3 ジェンダーギャップの解消について	86

III その他	87
---------	----

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

県政の推進には、広く県民の皆さんのご意見をお聴きすることが重要です。本調査は、県民の声をお聴きする貴重な機会であり、令和4（2022）年度に策定した「強じんな美し国ビジョンみえ」や「みえ元気プラン」の内容をふまえ、県民の皆さんの「生活の満足度」などを把握し、県政運営の推進に活用していきます。

第4回調査の概要は以下のとおりです。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の18歳以上の者（選挙人名簿に記載の者）
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法によります。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てました。
- (5) 調査方法 郵送による発送、郵送・インターネットによる回収
- (6) 調査期間 令和8年1月～令和8年2月
- (7) 調査主体 三重県政策企画部企画課
- (8) 調査委託機関 株式会社エム・アールビジネス

3. 調査の内容

下記の調査項目により構成しています。

- (1) 生活の満足度
- (2) 県が注力している取組に関すること
「結婚」「子ども・子育て支援」「人材確保」「人口減少対策」「文化振興」「観光」「ジェンダーギャップの解消」「共生社会」「デジタル」「防災」
- (3) 回答者の属性に関すること
- (4) 自由意見 (質問総数44 (※自由意見は除く))

4. 回収結果

- (1) 標本数 10,000人
- (2) 実回収総数 5,137人（回収率 51.4%）
- (3) 有効回答数 5,130人（有効回答率 51.3%（郵送回答 57.7%、Web 回答 42.3%））
- (4) 無効回答数 7人

図表 1-4-1 有効回答率

	調査時期	有効回答率
第4回（今回）	令和8年1月～令和8年2月	51.3%
第3回（前回）	令和6年12月～令和7年1月	45.9%
第2回	令和5年12月～令和6年1月	45.8%
第1回	令和5年1月～2月	47.4%

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりです。

図表 1-4-2 調査地域区分と地域別標本数

調査地域	市町	標本数	有効 回答数	有効回答 率 (%)	構成比 (%)
北勢地域	桑名市、いなべ市、四日市市、 鈴鹿市、亀山市、木曽岬町、東 員町、菰野町、朝日町、川越町	4,707	2,374	50.4	46.3
伊賀地域	伊賀市、名張市	911	524	57.5	10.2
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、 大台町	2,691	1,415	52.6	27.6
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、 玉城町、度会町、大紀町、 南伊勢町	1,317	614	46.6	12.0
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、 御浜町、紀宝町	374	169	45.2	3.3
不明	-	-	34	-	0.7
合 計		10,000	5,130	51.3	100.0

5. 報告書の見方

- (1) 報告書中の「n」は、その設問におけるサンプル数（＝有効回答数）を表しています。
- (2) 割合は全て百分率で表し、小数第二位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の割合は、サンプル数（n）に占める各回答数の割合となっており、各回答の割合の合計は通常100%を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現は、紙幅の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) 紙幅の都合上、図表に回答割合の低い数値を表示していない場合があります。
- (6) 属性項目間の比較で大きな差が見られないものや他調査から大きな変化が見られないものについては、記述を省略しています。
- (7) サンプル数（n）が50未満の属性項目、世帯構成の「その他」、世帯の年間収入の「わからない」等の属性項目については、記述を省略している場合があります。

6. 回答者の属性

(1) 集計する際の基本的な属性は、性別、年齢、配偶関係、世帯類型、主な職業、共働き、世帯収入、地域の8つとしています。

(2) 回答者属性の構成比について、第3回みえ県民1万人アンケート（以下、前回調査）との差における主な特徴は次のとおりです。

- ・性別では、男女比は前回同等となっています。
- ・年齢別では、「70 歳以上」の割合が前回調査より高く、その他の年代はいずれも前回調査よりも低くなっています。
- ・配偶関係別では、「死別・離別」の割合が前回調査より高く、「有配偶」の割合が低くなっています。
- ・世帯類型別では、「単身世帯」の割合が前回調査より高く、「二世帯世帯」の割合が低くなっています。
- ・主な職業別では、「無職」の割合が前回調査より高く、「正規職員」の割合が低くなっています。
- ・共働き状況については、「していない」の割合が前回調査より高く、「している」の割合が低くなっています。
- ・世帯収入別では、前回調査と比べて大きな変化はみられません。
- ・地域別では、前回調査と比べて大きな変化はみられません。

図表 1-6-1 回答者の属性（地域を除く）

属性	属性項目	件数	構成比 (%)		(前回差)
			今回	前回	
性別	男性	2,263	44.1	44.2	△ 0.1
	女性	2,791	54.4	54.4	0.0
	その他	17	0.3	0.3	0.0
	不明	59	1.2	1.1	0.1
年齢	18歳から20歳代	305	5.9	7.8	△ 1.9
	30歳代	413	8.1	10.9	△ 2.8
	40歳代	679	13.2	15.9	△ 2.7
	50歳代	956	18.6	19.6	△ 1.0
	60歳代	1,067	20.8	22.2	△ 1.4
	70歳以上	1,620	31.6	21.7	9.9
	不明	90	1.8	2.0	△ 0.2
配偶関係	未婚	827	16.1	16.6	△ 0.5
	有配偶	3,441	67.1	71.8	△ 4.7
	死別・離別	743	14.5	9.3	5.2
	不明	119	2.3	2.3	0.0
世帯類型	単身世帯	702	13.7	8.3	5.4
	一世帯世帯	1,680	32.7	33.9	△ 1.2
	二世帯世帯	2,206	43.0	48.0	△ 5.0
	三世帯世帯	410	8.0	8.0	0.0
	その他世帯	60	1.2	0.6	0.6
	不明	72	1.4	1.3	0.1
主な職業	農林水産業	131	2.6	1.8	0.8
	自営業・自由業	407	7.9	8.1	△ 0.2
	正規職員	1,510	29.4	33.3	△ 3.9
	パート・バイト・派遣	1,000	19.5	22.1	△ 2.6
	その他の職業	182	3.5	3.5	0.0
	学生	86	1.7	2.5	△ 0.8
	専業主婦・主夫	526	10.3	10.1	0.2
	無職	1,226	23.9	17.5	6.4
	不明	62	1.2	1.2	0.0
共働き	している	1,793	35.0	42.7	△ 7.7
	していない	3,075	59.9	54.3	5.6
	不明	262	5.1	2.9	2.2
世帯収入	100万円未満	239	4.7	3.5	1.2
	～200万円未満	515	10.0	8.4	1.6
	～300万円未満	769	15.0	14.7	0.3
	～400万円未満	679	13.2	13.0	0.2
	～500万円未満	507	9.9	10.5	△ 0.6
	～600万円未満	447	8.7	9.1	△ 0.4
	～800万円未満	649	12.7	13.7	△ 1.0
	～1,000万円未満	402	7.8	8.2	△ 0.4
	1,000万円以上	409	8.0	8.8	△ 0.8
	わからない	439	8.6	8.8	△ 0.2
	不明	75	1.5	1.2	0.3
有効回答数		5,130	100.0	100.0	0.0

図表 1-6-2 回答者の属性（地域）

属性	地域	属性項目	件数	構成比（％）			（前回差）
				今回 （市町別）	今回 （地域別）	前回	
市 町	北勢地域	桑名市	382	7.4	46.3	46.8	△ 0.5
		いなべ市	140	2.7			
		四日市市	870	17.0			
		鈴鹿市	535	10.4			
		亀山市	150	2.9			
		木曽岬町	16	0.3			
		東員町	86	1.7			
		菰野町	123	2.4			
		朝日町	29	0.6			
		川越町	43	0.8			
	伊賀地域	伊賀市	277	5.4	10.2	9.5	0.7
		名張市	247	4.8			
	中南勢地域	津市	810	15.8	27.6	27.0	0.6
		松阪市	484	9.4			
		多気町	38	0.7			
		明和町	61	1.2			
		大台町	22	0.4			
	伊勢志摩地域	伊勢市	323	6.3	12.0	12.1	△ 0.1
		鳥羽市	42	0.8			
		志摩市	129	2.5			
		玉城町	47	0.9			
		度会町	19	0.4			
		大紀町	21	0.4			
		南伊勢町	33	0.6			
	東紀州地域	尾鷲市	36	0.7	3.3	3.8	△ 0.5
		熊野市	43	0.8			
紀北町		43	0.8				
御浜町		23	0.4				
紀宝町		24	0.5				
不明		34	0.7	0.7	0.7	0.0	
有効回答数			5,130	100.0	100.0	100.0	

Ⅱ 集計結果

1. 生活の満足度

Ⅱ 集計結果

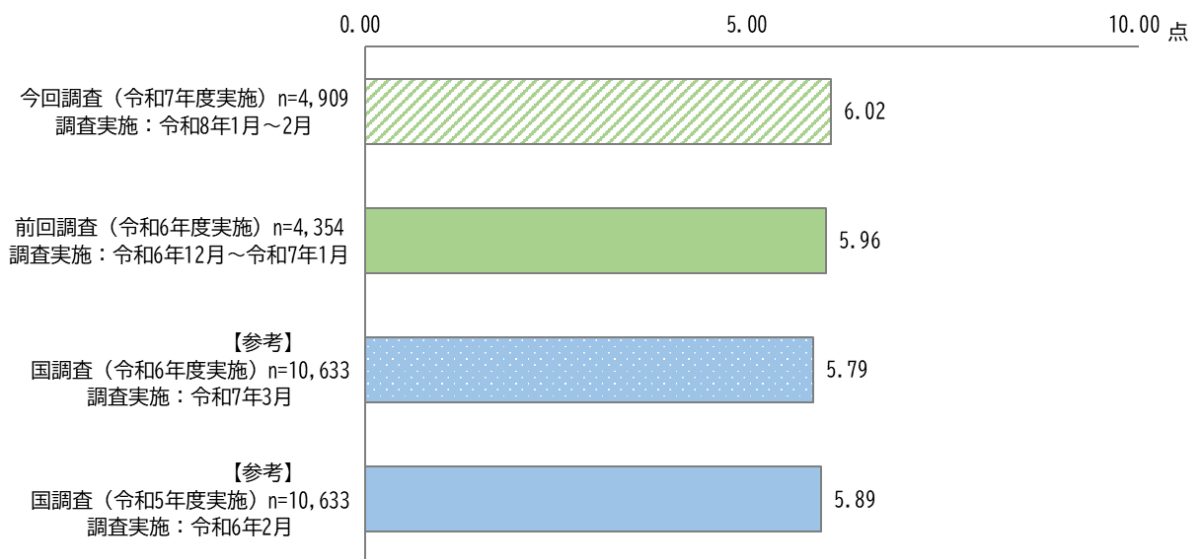
Ⅰ. 生活の満足度

問Ⅰ あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。
「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、
何点くらいになると思いますか。

➤ 生活の満足度

- 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10点満点で質問したところ、平均値は6.02点で、前回調査より0.06点高くなっています。

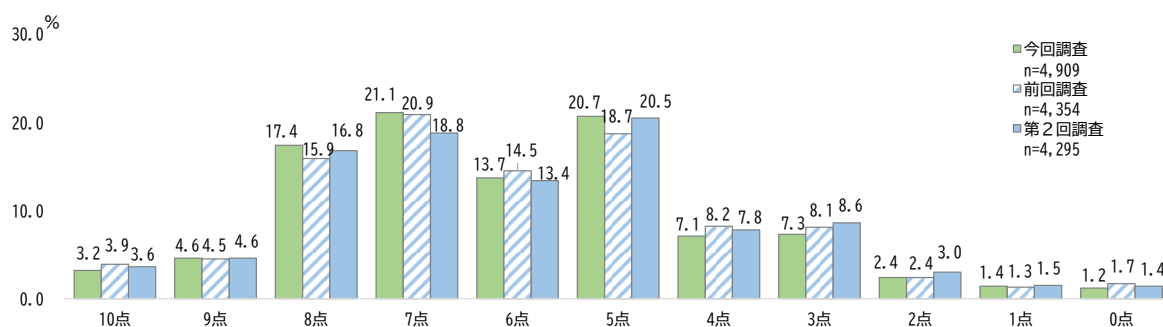
図表 2-1-1 生活の満足度の平均値（国調査及び前回調査との比較）



※国調査は、総合的な主観的満足度及び分野別満足度を調査し、客観指標との関係性を明らかにすることを目的に平成31年から実施。約10,000人へのインターネット調査（うち5,200人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「7点」の割合が21.1%と最も高く、次いで「5点」が20.7%、「8点」が17.4%となっており、M字型となっています。前回調査と比較して、「5点」「8点」の割合が上昇し、「4点」や「3点」の割合が低下しています。

図表 2-1-2 生活の満足度の分布（前回調査との比較）

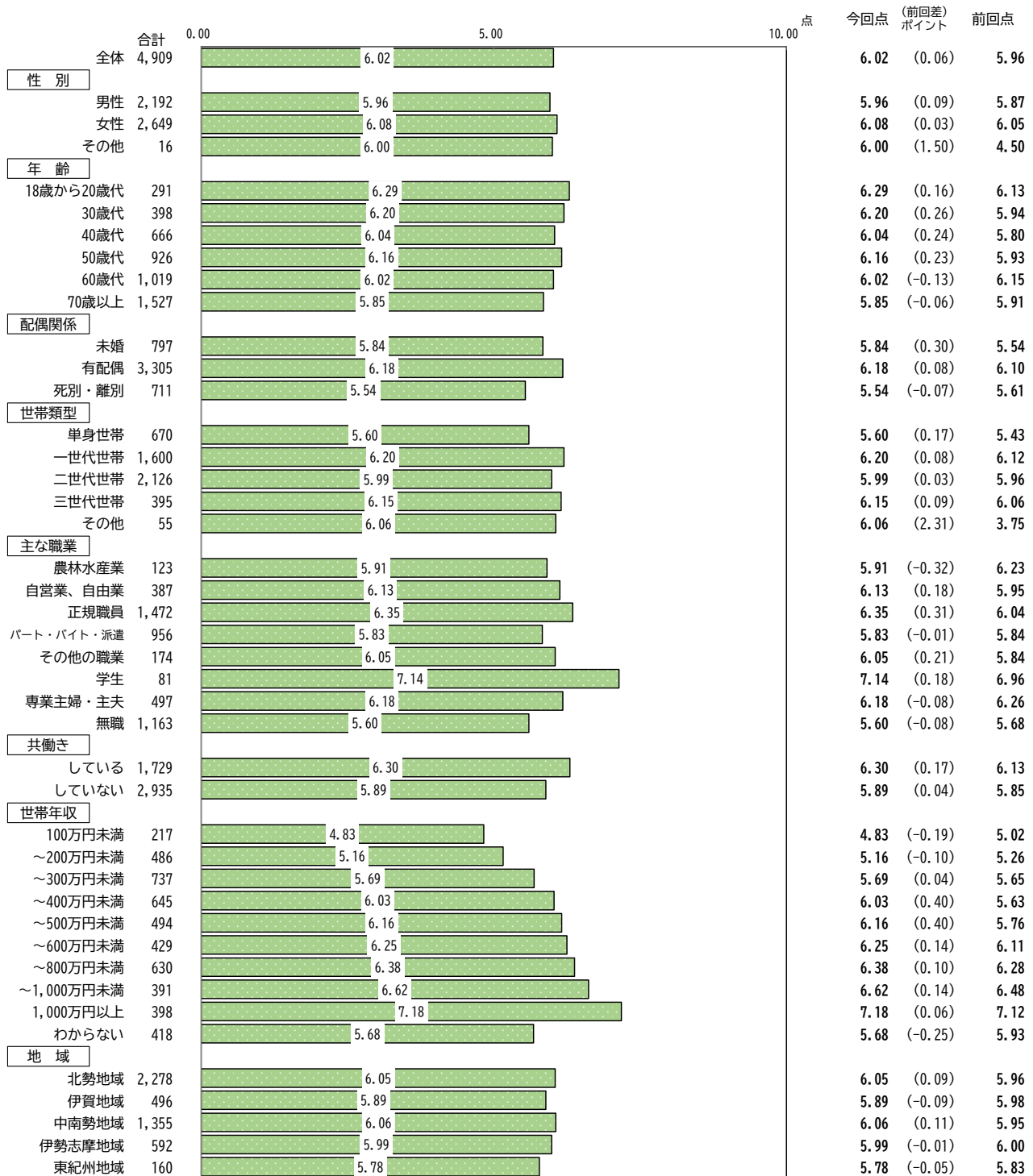


➤ 生活の満足度（属性別特徴）

- 性別で見ると、女性が6.08点で男性の5.96点より0.12点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は0.09点、女性は0.03点高くなっています。
- 年齢別で見ると、18歳から20歳代が6.29点で最も高く、次いで30歳代（6.20点）、50歳代（6.16点）の順となっています。前回調査と比較すると、30～50歳代では0.2点以上高く、60歳代では0.13点低くなっています。
- 配偶関係別で見ると、有配偶が6.18点で最も高く、次いで未婚（5.84点）、死別・離別（5.54点）の順となっています。前回調査と比較すると、未婚では0.30点高くなっています。
- 世帯類型別で見ると、一世代世帯が6.20点で最も高く、次いで三世代世帯（6.15点）、その他（6.06点）の順となっています。前回調査と比較すると、その他では2.31点、単身世帯では0.17点高くなっています。その他の世帯類型でも、0.1点未満ながら、前回調査よりは高くなっています。
- 主な職業別で見ると、学生が7.14点で最も高く、次いで正規職員（6.35点）、専業主婦・主夫（6.18点）の順となっています。前回調査と比較すると、正規職員で0.31点、その他の職業で0.21点高くなっている一方、農林水産業では0.32点低くなっています。
- 共働きで見ると、「している」が6.30点で、「していない」の5.89点より0.41点高くなっています。前回調査と比較すると、「している」で0.17点、「していない」で0.04点高くなっています。

- 世帯収入別で見ると、年収が高くなるほど得点も高い傾向で、世帯収入 1,000 万円以上が 7.18 点で最も高く、次いで 800 万円以上～1,000 万円未満 (6.62 点)、600 万円以上～800 万円未満 (6.38 点) の順となっています。前回調査と比較すると、300 万円以上～400 万円未満と 400 万円以上～500 万円未満で 0.40 点高くなっているのを筆頭に、年収 200 万円以上では、いずれの年収帯でも前回調査より高くなっています。
- 地域別で見ると、中南勢地域が 6.06 点で最も高く、次いで北勢地域 (6.05 点)、伊勢志摩地域 (5.99 点) の順となっています。前回調査と比較すると、中南勢地域で 0.11 点、北勢地域で 0.09 点高く、伊賀地域で 0.09 点低くなっています。

図表 2-1-3 生活の満足度の平均値（属性別）



Ⅱ 集計結果

2. 14 分野別の満足度

2. 14 分野別の満足度

「14 分野別の満足度」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる分野別の満足度を調べ、多角的に生活の満足度を把握します。

生活の幅広い範囲について包括的に評価できる総合的な主観満足度とは別に、生活に関連した 14 分野で設定した質問となっています。

14 分野	
①	家計と資産
②	あなた自身の給料や報酬・賃金
③	仕事のやりがいや生活とのバランス
④	健康状態
⑤	医療サービス
⑥	介護・福祉サービスの利用しやすさ
⑦	子育てのしやすさ
⑧	子どもの教育
⑨	交友関係やコミュニティなど社会とのつながり
⑩	身のまわりの自然環境
⑪	自然災害への備え
⑫	交通安全・防犯など身のまわりの安全
⑬	文化・スポーツなどの趣味、生きがい
⑭	移動手段、交通の便利さ

問2 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。

➤ 14 分野別の満足度（14 項目全体の集計結果）

【「満足している層」の割合】

- 14 分野別の満足度について、5 点満点で質問したところ、「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した「満足している層」の割合は、「⑩身のまわりの自然環境」が 35.8%で最も高くなっています。次いで、「④健康状態」（28.4%）、「⑤医療サービス」（27.2%）の順となっています。

○ 前回調査より改善された分野（「満足している層」の割合が上昇）

「①家計と資産」、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」、
「③仕事のやりがいや生活とのバランス」、「④健康状態」、「⑤医療サービス」、
「⑥介護・福祉サービスの利用しやすさ」、「⑦子育てのしやすさ」、
「⑨交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」、「⑩身のまわりの自然環境」、
「⑫交通安全・防犯など身のまわりの安全」、「⑭移動手段、交通の便利さ」

○ 前回調査より悪化した分野（「満足している層」の割合が下降）

「⑧子どもの教育」、「⑪自然災害への備え」、「⑬文化・スポーツなどの趣味、生きがい」

【「満足していない層」の割合】

- 「不満」と「どちらかといえば不満」を合計した「満足していない層」の割合は、「⑭移動手段、交通の便利さ」が 49.0%で最も高くなっています。次いで、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」（37.9%）、「①家計と資産」（35.5%）の順となっています。

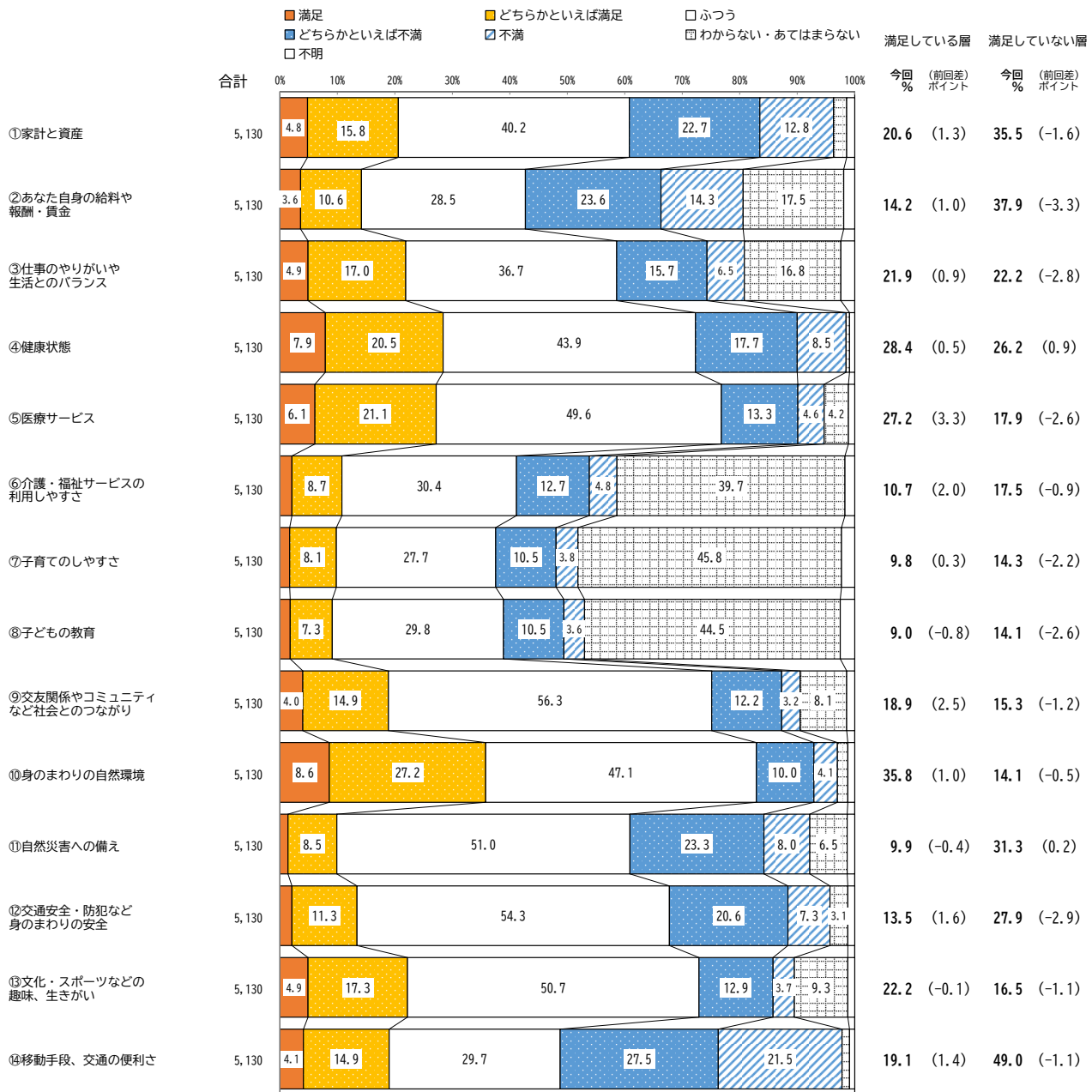
○ 前回調査より悪化した分野（「満足していない層」の割合が上昇）

「④健康状態」、「⑪自然災害への備え」

○ 前回調査より改善された分野（「満足していない層」の割合が下降）

「①家計と資産」、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」、
「③仕事のやりがいや生活とのバランス」、「⑤医療サービス」、
「⑥介護・福祉サービスの利用しやすさ」、「⑦子育てのしやすさ」、「⑧子どもの教育」、
「⑨交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」、「⑩身のまわりの自然環境」、
「⑫交通安全・防犯など身のまわりの安全」、「⑬文化・スポーツなどの趣味、生きがい」、
「⑭移動手段、交通の便利さ」

図表 2-2-1 14 分野別の満足度（一覧）



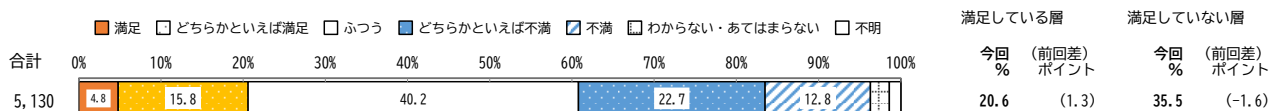
※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
 ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
 ※本質問の回答割合（％）は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

➤ 14 分野別の満足度（項目ごとの集計結果）

① 家計と資産の満足度について

- 「満足している層」の割合が20.6%で、「満足していない層」の割合（35.5%）より14.9ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.3ポイント高く、「満足していない層」の割合が1.6ポイント低くなっています。

図表 2-2-2 家計と資産の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別に関わらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、男性の「満足している層」の割合が2.5ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、40歳代の「満足していない層」の割合（45.5%）が高くなっていますが、前回調査の割合と比較すると3.1ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、死別・離別の「満足していない層」の割合（41.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると2.5ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、二世帯世帯の「満足していない層」の割合（39.7%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると0.5ポイントとわずかに低くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、パート・バイト・派遣の「満足していない層」の割合（47.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると、3.6ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が2.4ポイント高くなっています。

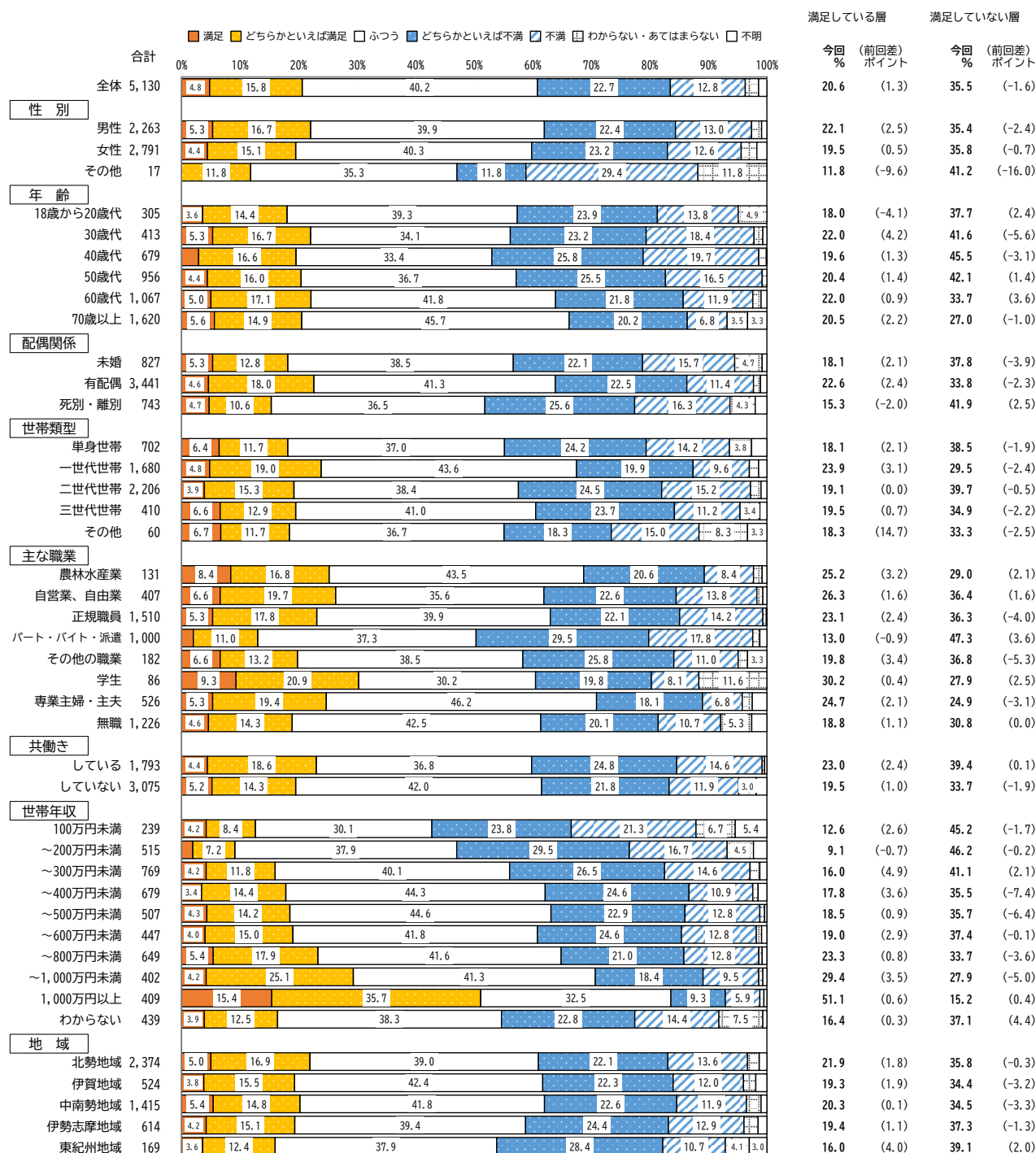
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が800万円以上～1,000万円未満、1,000万円以上でのみ「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、300万円以上～400万円未満では「満足していない層」の割合が7.4ポイント低くなっています。

【地域別】

○ すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合（39.1%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、東紀州地域の「満足している層」が4.0ポイント高くなっています。

図表 2-2-3 家計と資産の満足度（属性別）

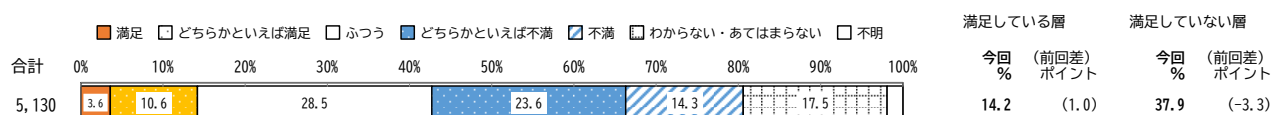


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

② あなた自身の給料や報酬・賃金の満足度について

- 「満足している層」の割合が14.2%で、「満足していない層」の割合（37.9%）より23.7ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.0ポイント高く、「満足していない層」の割合が3.3ポイント低くなっています。

図表 2-2-4 あなた自身の給料や報酬・賃金の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別に関わらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足していない層」の割合が3.5ポイント低くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、30歳代の「満足していない層」の割合（50.4%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると「満足している層」の割合が4.2ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足していない層」の割合（46.9%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると5.5ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、二世帯世帯の「満足していない層」の割合（44.1%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、その他の「満足していない層」の割合が11.2ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、パート・バイト・派遣の「満足していない層」の割合（52.8%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、農林水産業の「満足していない層」の割合が11.4ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、共働きをしている世帯の「満足していない層」の割合（46.2%）が高くなっていますが、前回調査の割合と比較すると0.8ポイント低くなっています。

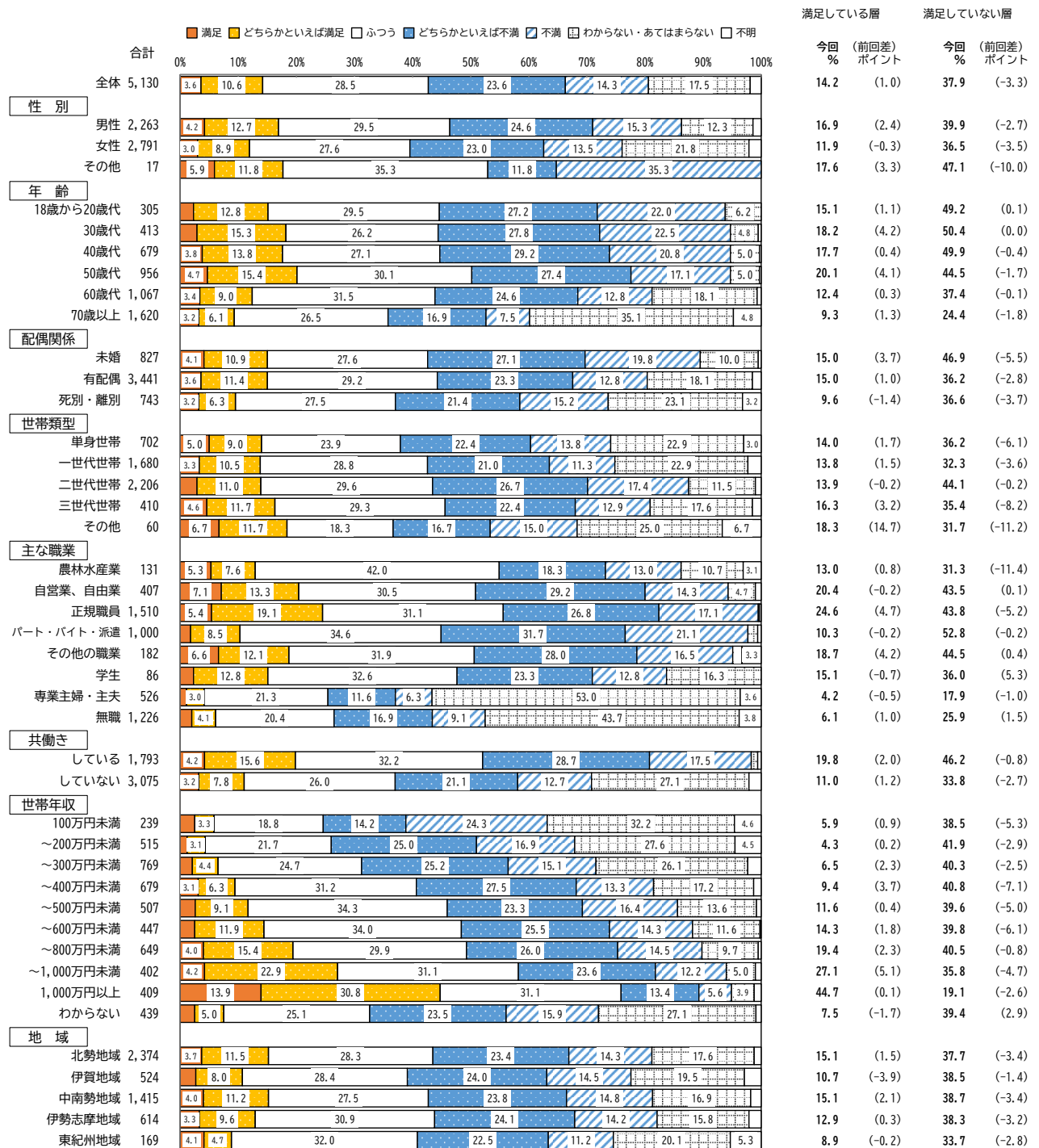
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が1,000万円以上のみ「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、わからない世帯を除くすべての年収額で「満足していない層」の割合が低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっていますが、前回調査の割合と比較すると、すべての地域で「満足していない層」の割合は低くなっています。

図表 2-2-5 あなた自身の給料や報酬・賃金の満足度（属性別）

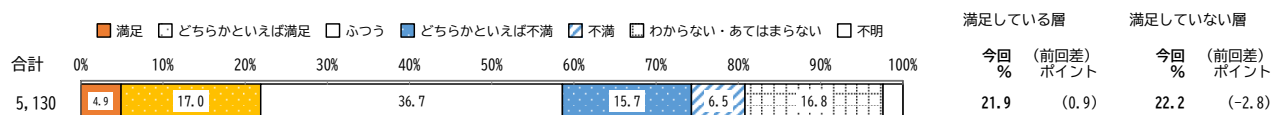


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

③ 仕事のやりがいや生活とのバランスの満足度について

- 「満足している層」の割合が21.9%で、「満足していない層」の割合（22.2%）と同等となっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.9ポイント高く、「満足していない層」の割合が2.8ポイント低くなっています。

図表 2-2-6 仕事のやりがいや生活とのバランスの満足度



- ※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
- ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
- ※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男性は、「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、女性は「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、男性の「満足している層」の割合が3.0ポイント高くなっています。

【年齢別】

- 60歳代未満の年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、30歳代の「満足していない層」の割合（34.6%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると2.4ポイント低くなっています。また、30歳代以下と50歳代で「満足している層」の割合が4ポイント前後高くなっています。

【配偶関係別】

- 有配偶以外で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足していない層」の割合（31.7%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると4.0ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- 単身世帯と二世帯世帯では「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、二世帯世帯の「満足していない層」の割合（27.4%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、その他の世帯類型の「満足している層」の割合が10.4ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 正規職員、パート・バイト・派遣、専業主婦・主夫、無職で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員の「満足していない層」の割合（30.7%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると5.5ポイント低くなっています。一方、自営業、自由業では「満足している層」の割合が38.3%と高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしていない世帯では「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が2.5ポイント高くなっています。

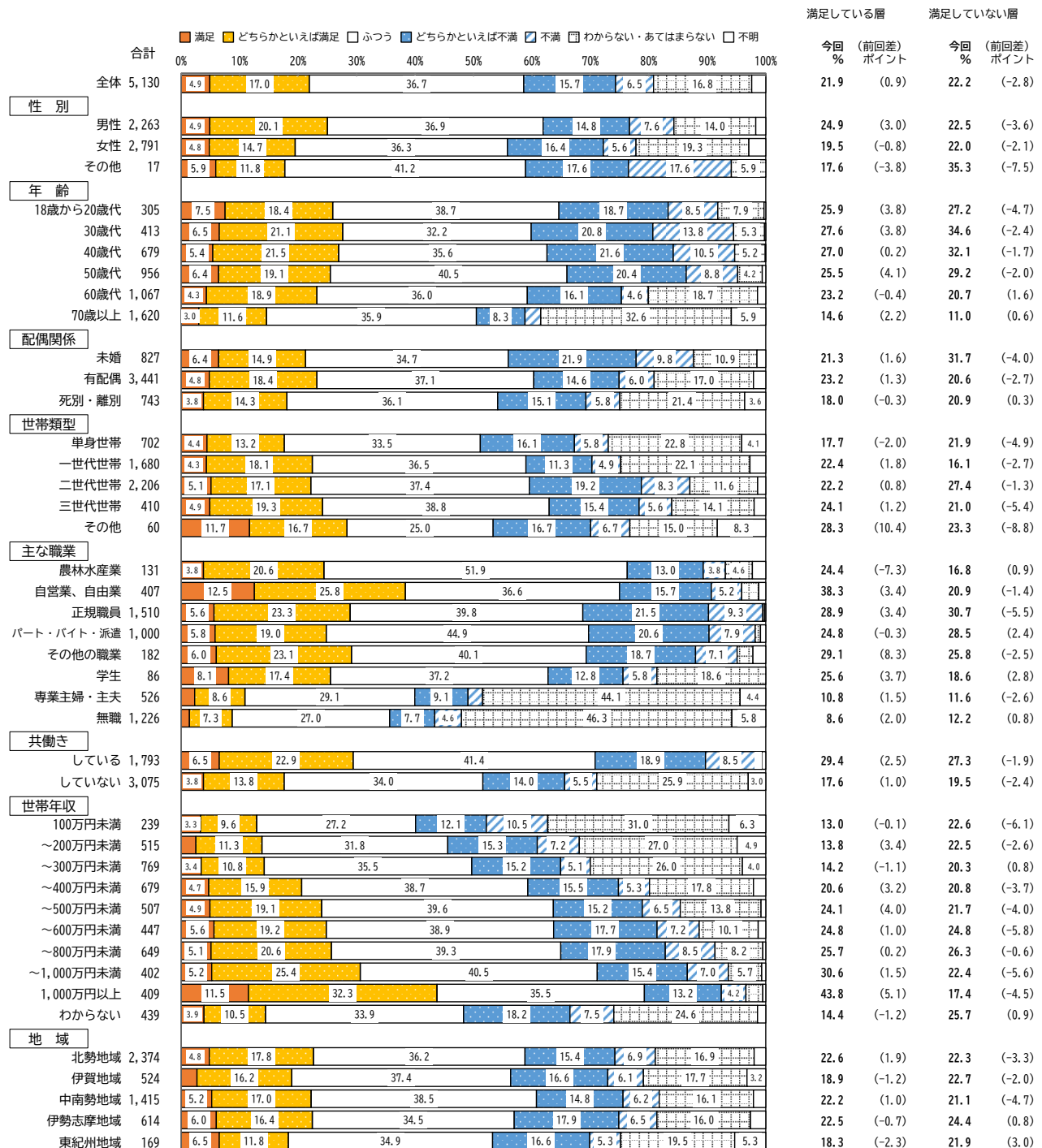
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が400万円以上500万円未満と800万円以上で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、1,000万円以上の「満足している層」の割合が5.1ポイント高くなっています。

【地域別】

- 北勢地域、中南勢地域を除くすべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域と東紀州地域の「満足している層」の割合が18%台と低くなっています。前回調査の割合と比較すると、中南勢地域の「満足していない層」の割合が4.7ポイント低くなっています。

図表 2-2-7 仕事のやりがいや生活とのバランスの満足度（属性別）

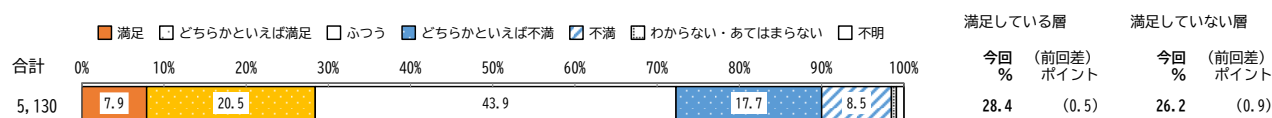


※本質問の回答割合（％）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

④ 健康状態の満足度について

- 「満足している層」の割合が28.4%で、「満足していない層」の割合（26.2%）より2.2ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.5ポイント、「満足していない層」の割合が0.9ポイント高くなっています。

図表 2-2-8 健康状態の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男性は、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、女性は「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、男性の「満足していない層」の割合が、1.8ポイント高くなっています。

【年齢別】

- 年代が高くなるほど「満足している層」の割合が低くなる傾向がみられ、40歳代以下では「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、50歳代で「満足している層」と「満足していない層」の割合が同等、60歳代以上の年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、30歳代の「満足している層」の割合が7.9ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- 未婚、有配偶で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足している層」の割合（30.2%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると1.9ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- 単身世帯を除くすべての世帯類型で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足している層」の割合（32.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると、2.8ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 専業主婦・主夫、無職を除くすべての職業で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合（62.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると、2.3ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.3ポイント高くなっています。

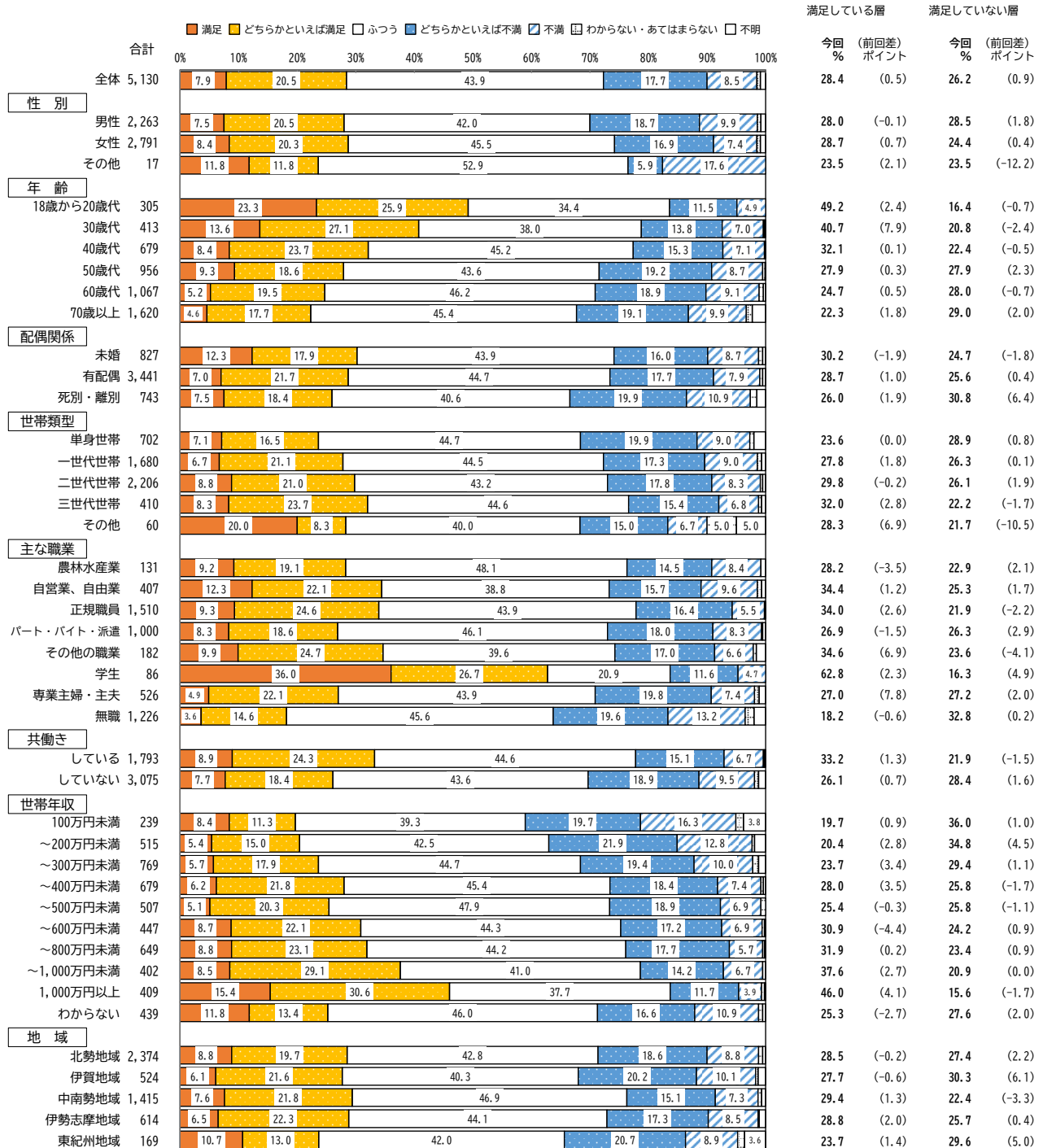
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が300万円以上400万円未満および500万円以上の世帯で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、1,000万円以上の「満足している層」の割合（46.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると「満足している層」の割合が4.1ポイント高くなっています。

【地域別】

- 伊賀地域、東紀州地域を除くすべての地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、東紀州地域の「満足している層」の割合（23.7%）が低いものの、前回調査の割合と比較すると1.4ポイント高くなっています。

図表 2-2-9 健康状態の満足度（属性別）

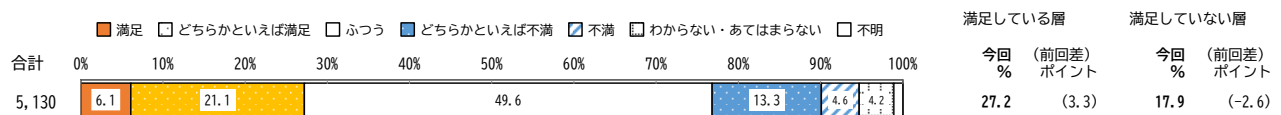


※本質問の回答割合（％）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

⑤ 医療サービスの満足度について

- 「満足している層」の割合が27.2%で、「満足していない層」の割合（17.9%）より9.3ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が3.3ポイント高く、「満足していない層」の割合が2.6ポイント低くなっています。

図表 2-2-10 医療サービスの満足度



- ※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
- ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
- ※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女ともに「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が、男性では5.0ポイント、女性では1.6ポイント、それぞれ高くなっています。

【年齢別】

- 60歳代を除くすべての年代で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、18歳から20歳代の「満足している層」の割合（42.6%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合はすべての年齢で高くなっており、特に、30歳代で7.5ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、未婚の「満足している層」の割合（31.9%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、すべての配偶関係で「満足している層」の割合が高くなっており、特に死別・離別で4.8ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、その他の「満足している層」の割合（33.3%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、すべての世帯類型で「満足している層」の割合が高くなっており、特にその他の世帯類型で11.9ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっていますが、「満足している層」の割合は、学生の50.0%に比べ、パート・バイト・派遣では22.3%と差がみられます。前回調査の割合と比較すると、学生を除くすべての職業で「満足している層」の割合が高くなっており、特に、その他の職業で9.6ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合はいずれの層でも高くなっています。

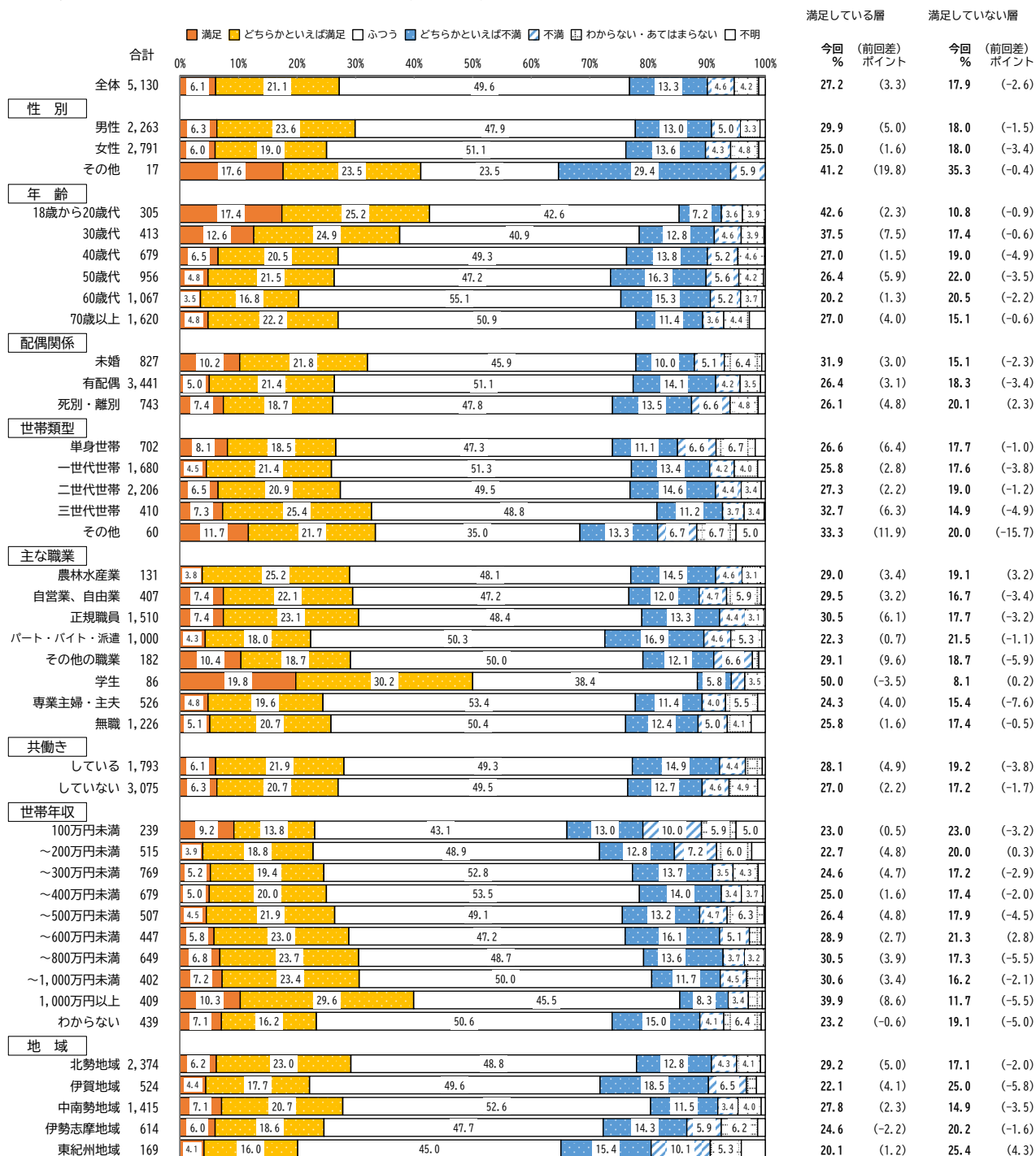
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が100万円未満以外で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、1,000万円以上の「満足している層」の割合（39.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると8.6ポイント高くなっています。

【地域別】

○ 北勢地域、中南勢地域、伊勢志摩地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、北勢地域の「満足している層」の割合（29.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると、5.0ポイント高くなっています。

図表 2-2-11 医療サービスの満足度（属性別）

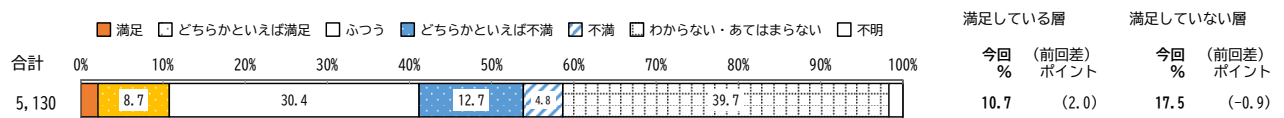


※本質問の回答割合（％）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

⑥ 介護・福祉サービスの満足度について

- 「満足している層」の割合が10.7%で、「満足していない層」の割合（17.5%）より6.8ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が2.0ポイント高く、「満足していない層」の割合が0.9ポイント低くなっています。

図表 2-2-12 介護・福祉サービスの満足度



- ※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
- ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
- ※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別に関わらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合は、男性では2.8ポイント、女性では1.6ポイント、それぞれ高くなっています。

【年齢別】

- 18歳から20歳代を除くすべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、60歳代の「満足していない層」の割合（22.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると、1.2ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、有配偶の「満足していない層」の割合（18.1%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると、0.9ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっていますが、単身世帯の「満足していない層」の割合（13.8%）は他の世帯類型より低くなっています。前回調査の割合と比較すると、三世帯世帯の「満足している層」の割合が4.6ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、その他の職業の「満足していない層」の割合（21.4%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、学生の「満足している層」の割合が10.0ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしていない世帯の「満足している層」の割合が2.6ポイント高くなっています。

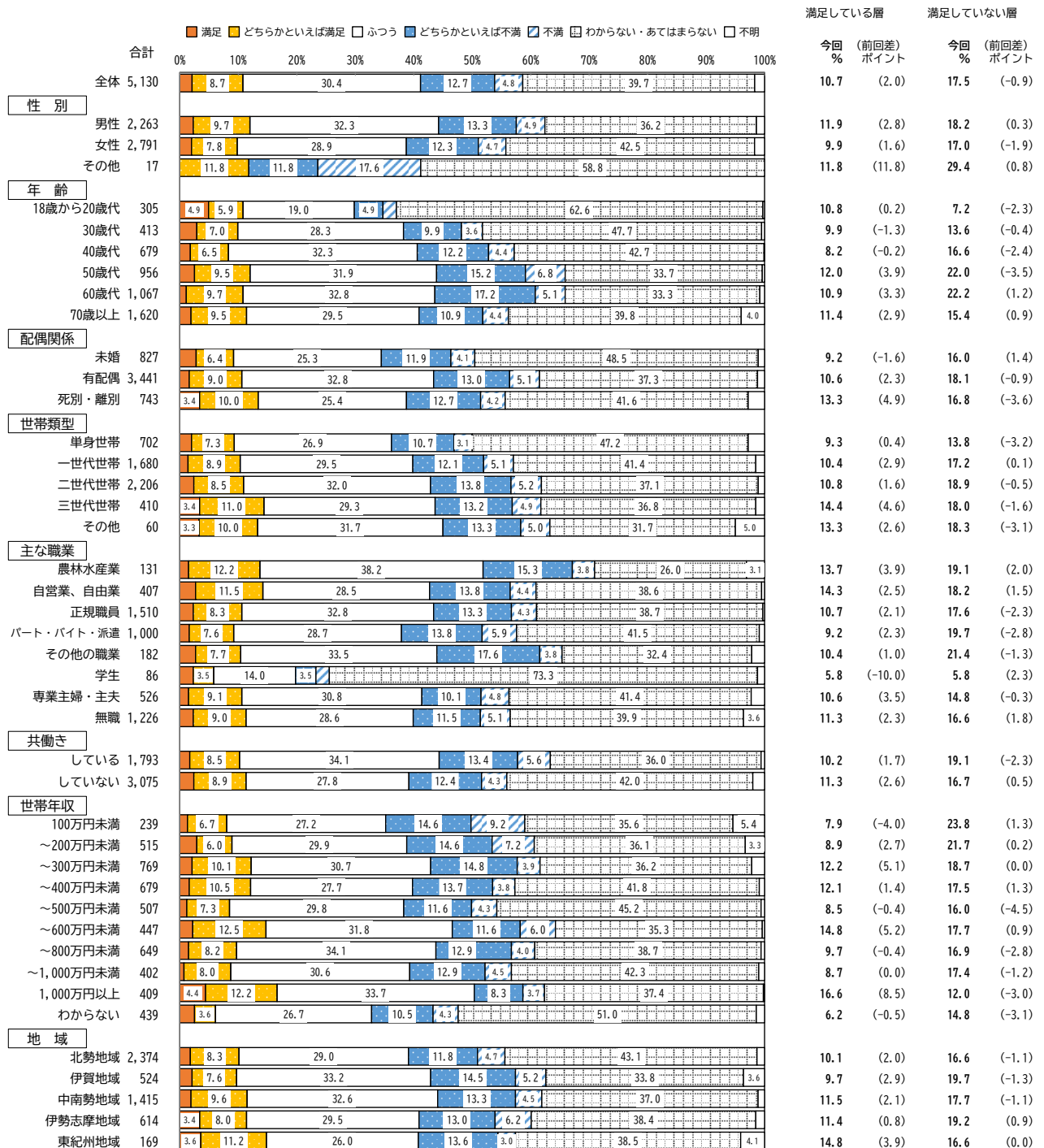
【世帯収入別】

- 1,000万円以上の世帯を除くすべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、100万円未満の「満足していない層」の割合（23.8%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、1,000万円以上の「満足している層」の割合が8.5ポイント高くなっています。

【地域別】

○ すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域の「満足していない層」の割合（19.7%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると1.3ポイント低くなっています。

図表 2-2-13 介護・福祉サービスの満足度（属性別）

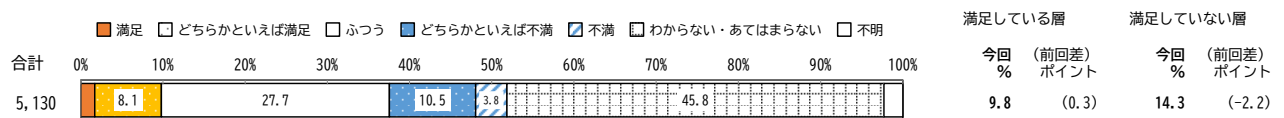


※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

⑦ 子育てのしやすさの満足度について

- 「満足している層」の割合が9.8%で、「満足していない層」の割合（14.3%）より4.5ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.3ポイント高く、「満足していない層」の割合が2.2ポイント低くなっています。

図表 2-2-14 子育てのしやすさの満足度



- ※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
- ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
- ※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別に関わらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足していない層」の割合は、男性では1.1ポイント、女性では3.3ポイント、それぞれ低くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、30歳代の「満足していない層」の割合（23.7%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、70歳以上を除くすべての年代で「満足していない層」の割合が低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、有配偶の「満足していない層」の割合（16.7%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると、2.3ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、二世帯世帯の「満足していない層」の割合（18.7%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、すべての世帯類型で「満足していない層」の割合が低くなっています。

【主な職業別】

- 専業主婦・主夫を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、パート・バイト・派遣の「満足していない層」の割合（18.6%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると1.3ポイント低くなっています。また、その他の職業の「満足していない層」の割合が7.1ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が2.7ポイント高くなっています。

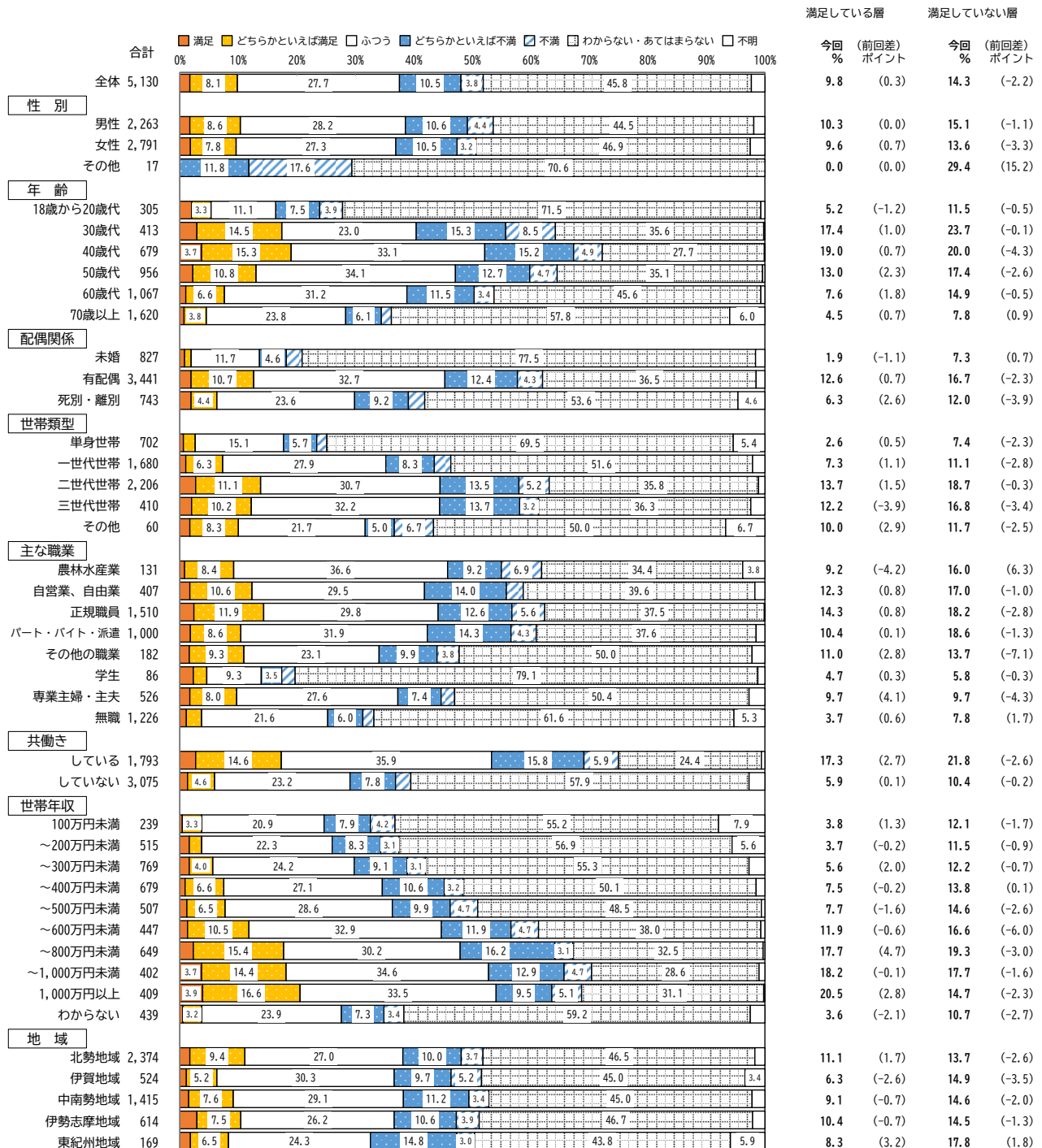
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が800万円以上1,000万円未満、1,000万円以上を除くすべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、600万円以上800万円未満の「満足していない層」の割合（19.3%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると、3.0ポイント低くなっています。また、500万円以上600万円未満でも「満足していない層」の割合は6.0ポイント低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合（17.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると、1.8ポイント高くなっています。一方、他の地域では、「満足していない層」の割合は、前回調査の割合と比較すると低くなっています。

図表 2-2-15 子育てのしやすさの満足度（属性別）

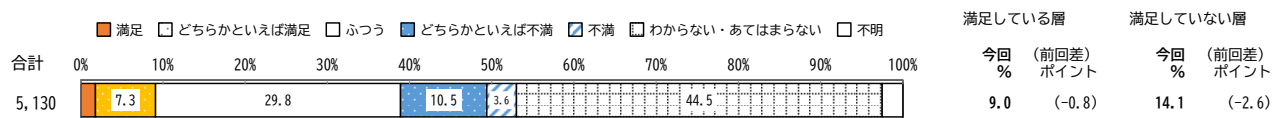


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

⑧ 子どもの教育の満足度について

- 「満足している層」の割合が9.0%で、「満足していない層」の割合（14.1%）より5.1ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.8ポイント低く、「満足していない層」の割合が2.6ポイント低くなっています。

図表 2-2-16 子どもの教育の満足度



- ※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
- ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
- ※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女ともに「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足していない層」の割合は、男性では2.9ポイント、女性では2.3ポイント、それぞれ低くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、40歳代の「満足していない層」の割合（22.2%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると、3.4ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、有配偶の「満足していない層」の割合（16.1%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると、2.8ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、二世帯世帯の「満足していない層」の割合（18.7%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、すべての世帯類型で「満足していない層」の割合が低くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足していない層」の割合（19.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると、8.4ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足していない層」の割合が2.8ポイント低くなっています。

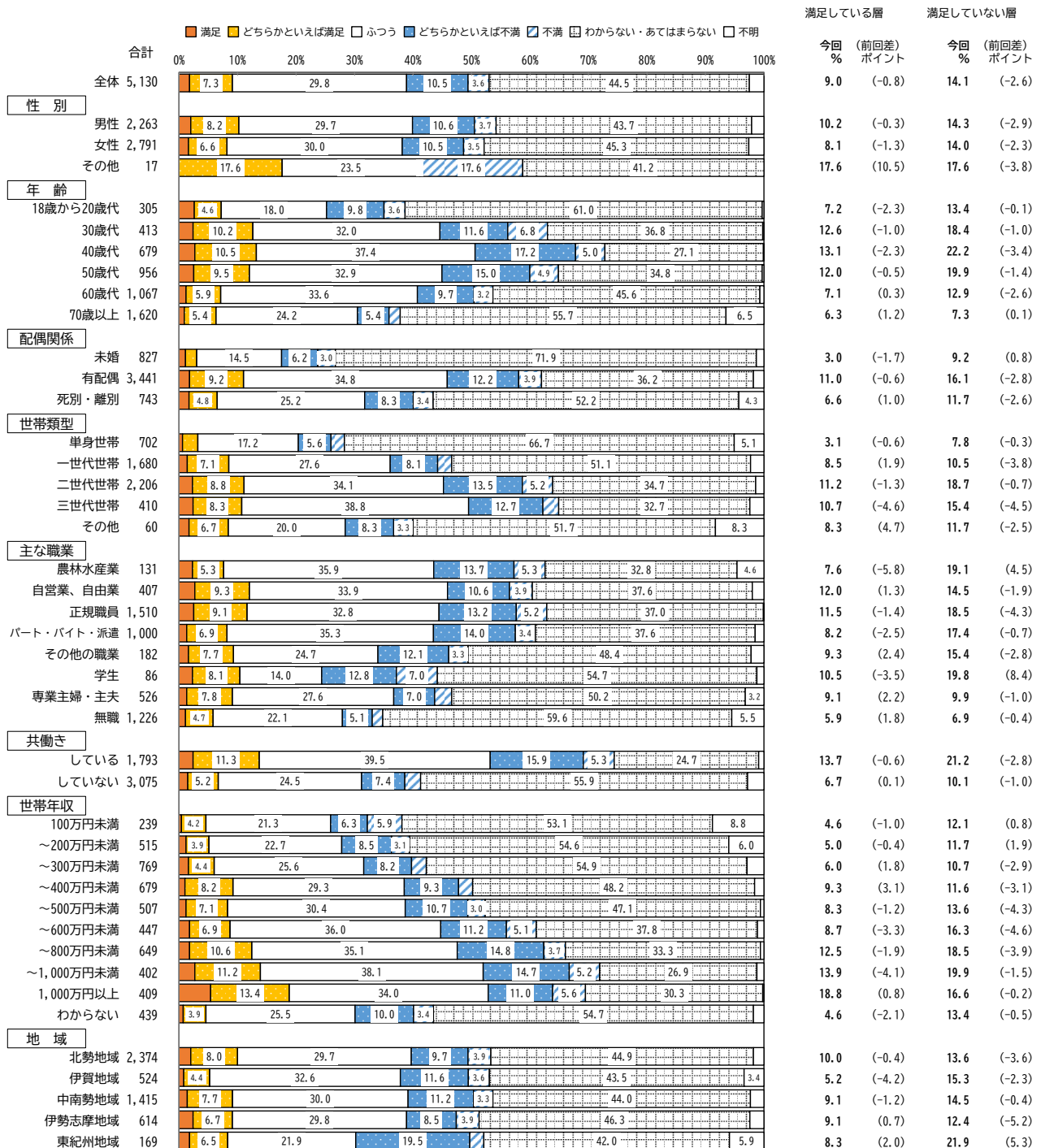
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が1,000万円以上を除くすべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、800万円以上1000万円未満の「満足していない層」の割合（19.9%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、800万円以上1,000万円未満の「満足している層」の割合が4.1ポイント低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合（21.9%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、東紀州地域の「満足していない層」の割合が5.3ポイント高くなっています。

図表 2-2-17 子どもの教育の満足度（属性別）

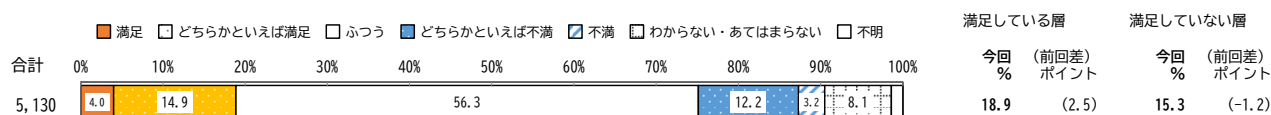


※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

⑨ 交友関係やコミュニティなど社会とのつながりの満足度について

- 「満足している層」の割合が18.9%で、「満足していない層」の割合（15.3%）より3.6ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が2.5ポイント高く、「満足していない層」の割合が1.2ポイント低くなっています。

図表 2-2-18 交友関係やコミュニティなど社会とのつながりの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女ともに、「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合は、男性では2.4ポイント、女性では2.8ポイント、それぞれ高くなっています。

【年齢別】

- 60歳代を除くすべての年代で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、18～20歳代の「満足している層」の割合（28.5%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、50歳代の「満足している層」の割合が6.8ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、死別・離別の「満足している層」の割合（20.5%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、死別・離別で「満足している層」の割合が3.4ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、その他の世帯類型で「満足している層」の割合（26.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると、19.6ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- パート・バイト・派遣、無職を除く職業で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、学生の「満足している層」の割合（44.2%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、自営業、自由業の「満足している層」の割合が5.6ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が3.2ポイント高くなっています。

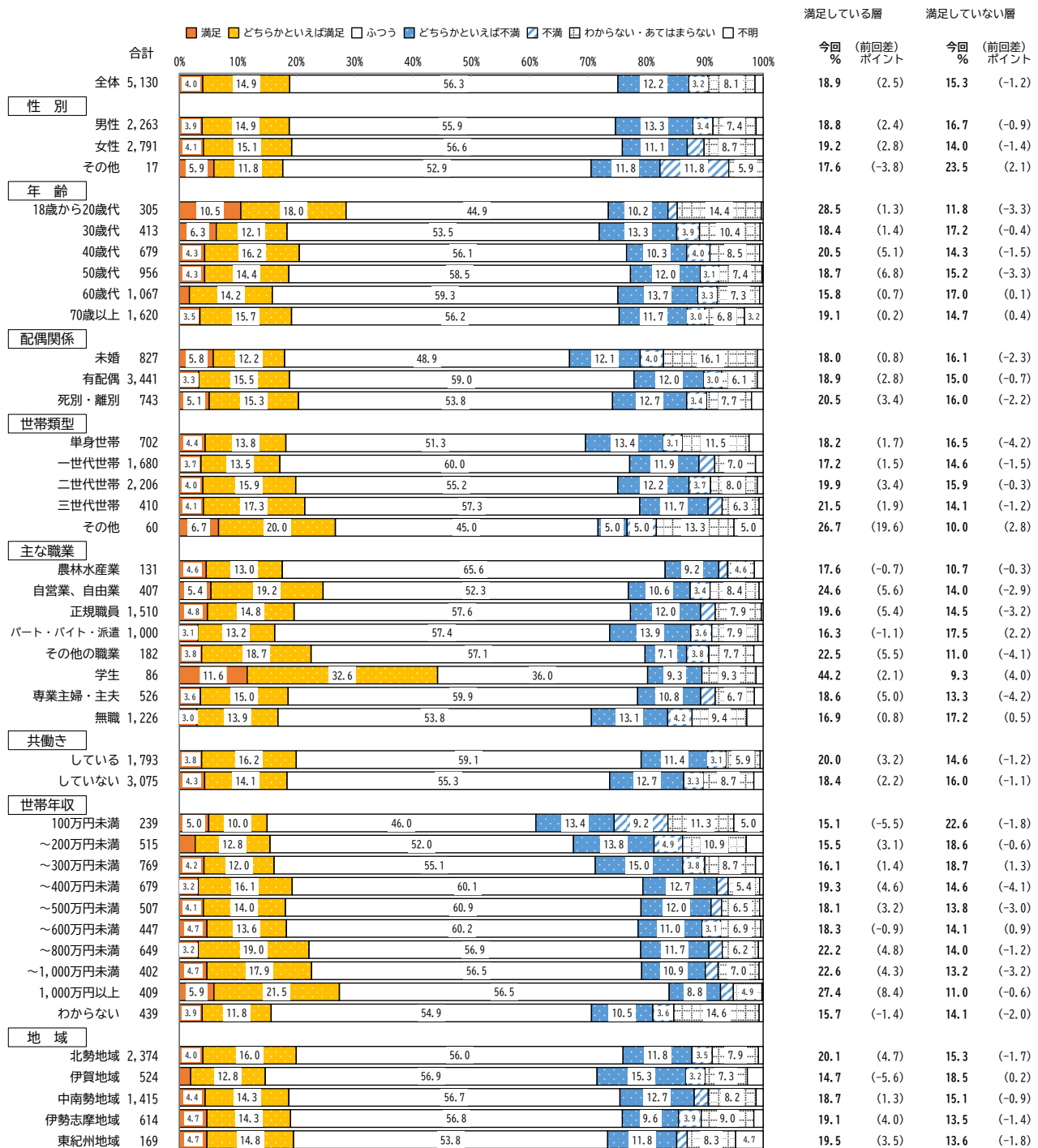
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が300万円未満で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、100万円未満の「満足していない層」の割合（22.6%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、1,000万円以上で「満足している層」の割合が8.4ポイント高くなっています。

【地域別】

- 伊賀地域のみ、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、伊賀地域の「満足している層」の割合が5.6ポイント低くなっています。

図表 2-2-19 交友関係やコミュニティなど社会とのつながりの満足度（属性別）

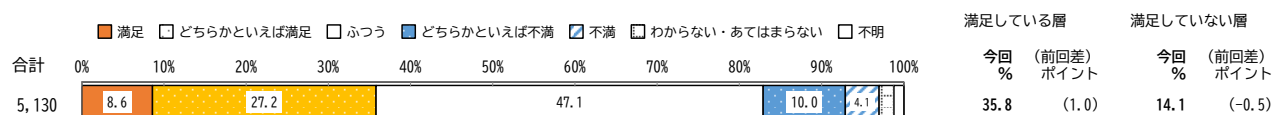


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

⑩ 身のまわりの自然環境の満足度について

- 「満足している層」の割合が35.8%で、「満足していない層」の割合（14.1%）より21.7ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.0ポイント高く、「満足していない層」の割合が0.5ポイント低くなっています。

図表 2-2-20 身のまわりの自然環境の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別に関わらず、「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合は、女性で2.5ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、18歳から20歳代の「満足している層」の割合（44.9%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、50歳代の「満足している層」の割合が5.7ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、有配偶の「満足している層」の割合（37.0%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、未婚の「満足している層」の割合が2.2ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、三世帯世帯の「満足している層」の割合（43.9%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、三世帯世帯の「満足している層」の割合が6.6ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、学生の「満足している層」の割合（48.8%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、専業主婦・主夫の「満足している層」の割合が6.1ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が2.1ポイント高くなっています。

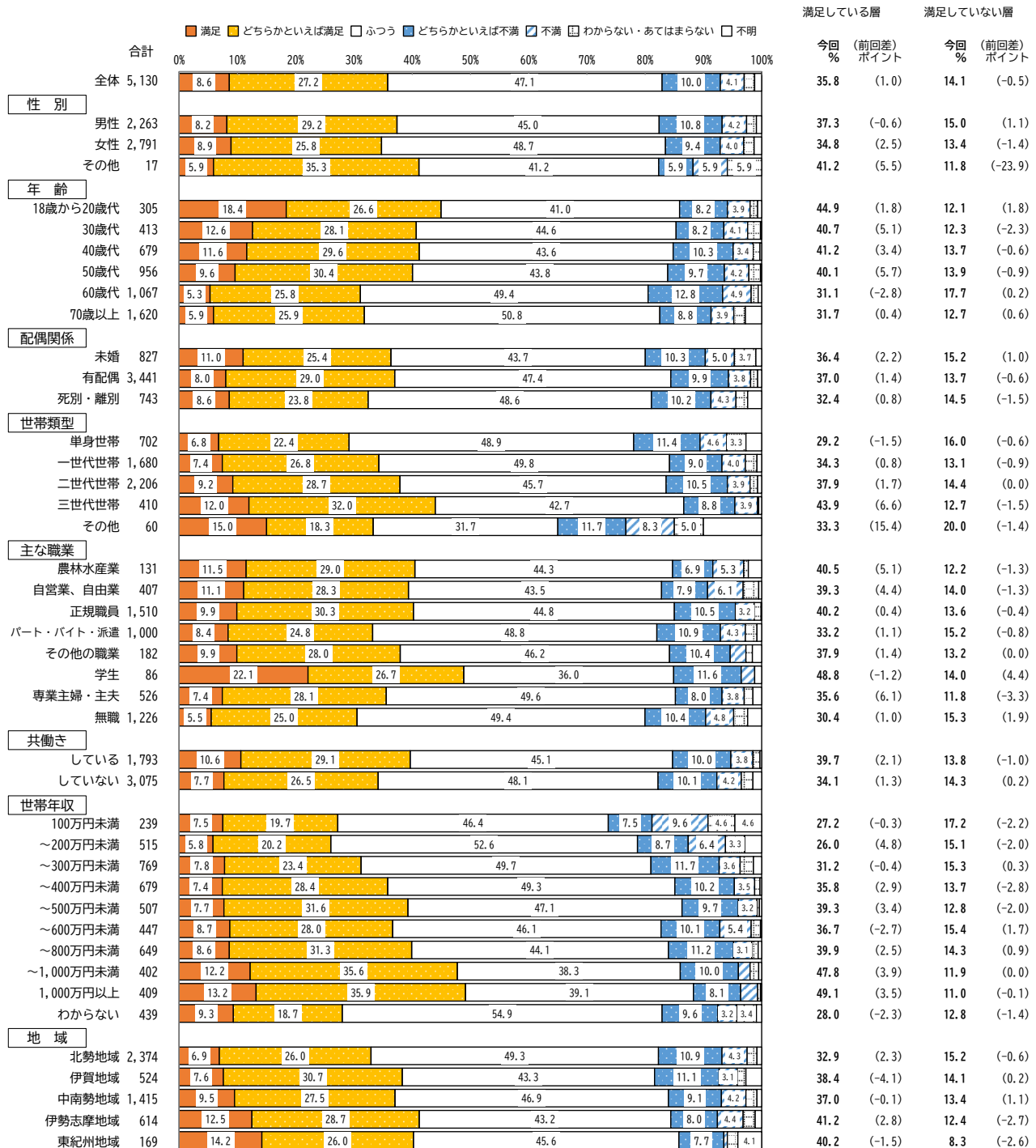
【世帯収入別】

- すべての世帯収入で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、1,000万円以上の「満足している層」の割合（49.1%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、100万円以上200万円未満の「満足している層」の割合が4.8ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、伊勢志摩地域の「満足している層」の割合（41.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると、2.8ポイント高くなっています。一方、伊賀地域の「満足している層」の割合（38.4%）は4.1ポイント低くなっています。

図表 2-2-21 身のまわりの自然環境の満足度（属性別）

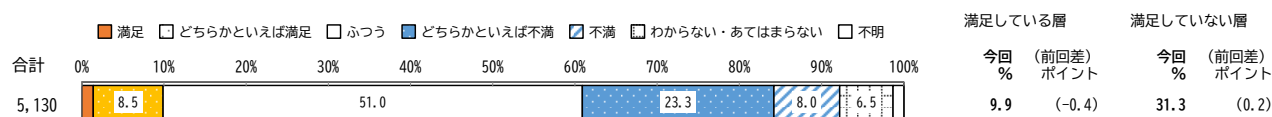


※本質問の回答割合（％）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

⑪ 自然災害への備えの満足度について

- 「満足している層」の割合が9.9%で、「満足していない層」の割合（31.3%）より21.4ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.4ポイント低く、「満足していない層」の割合が0.2ポイント高くなっています。

図表 2-2-22 自然災害への備えの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別に関わらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、男性で「満足していない層」の割合が1.0ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、60歳代の「満足していない層」の割合（35.1%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると、1.1ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足していない層」の割合（32.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると、3.2ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合（33.2%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると3.8ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、パート・バイト・派遣の「満足していない層」の割合（34.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると、2.1ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足していない層」の割合が1.1ポイント高くなっています。

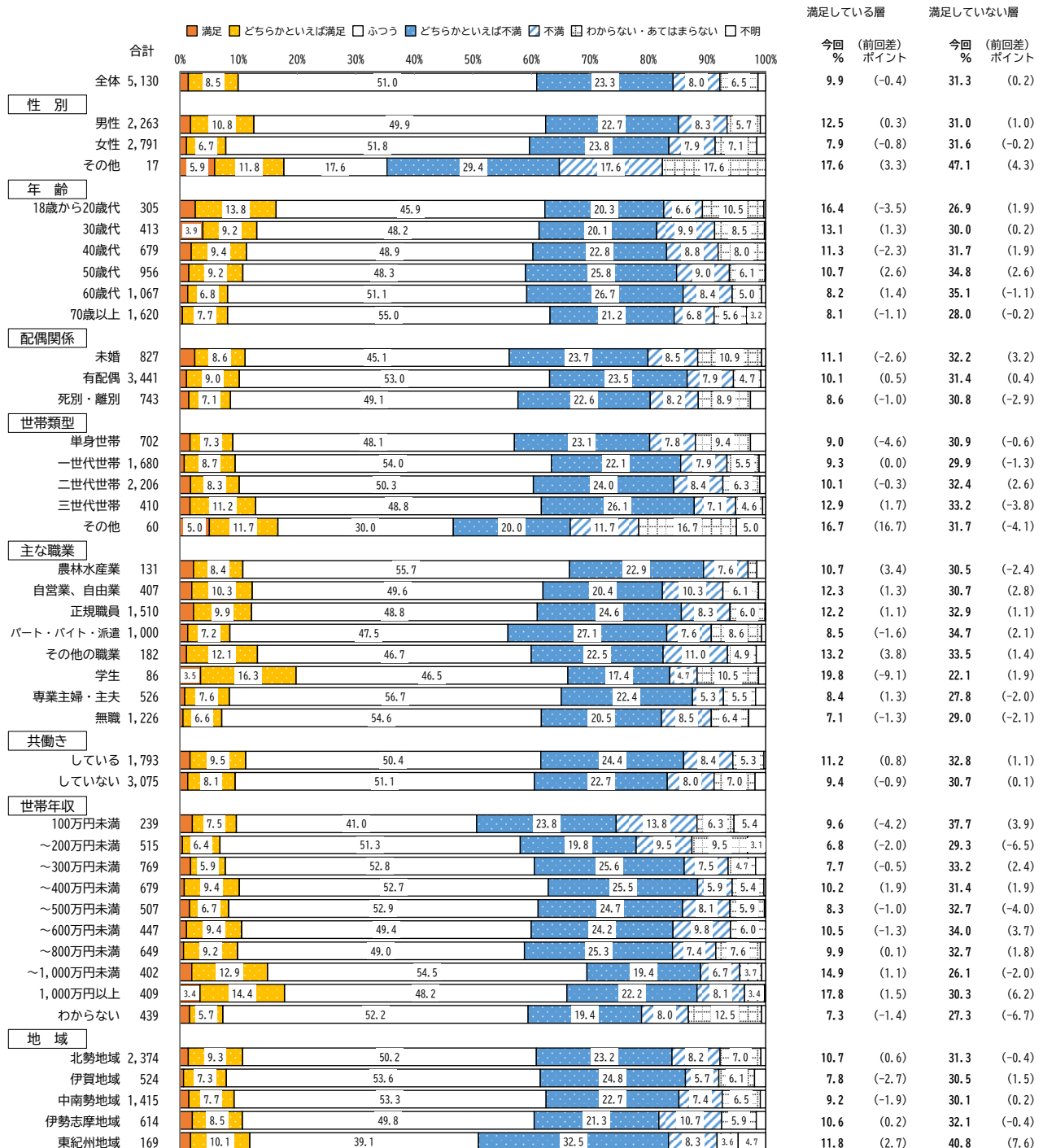
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、100万円未満の「満足していない層」の割合（37.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると、3.9ポイント高くなっています。

【地域別】

○ すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合（40.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると、7.6ポイント高くなっています。

図表 2-2-23 自然災害への備えの満足度（属性別）

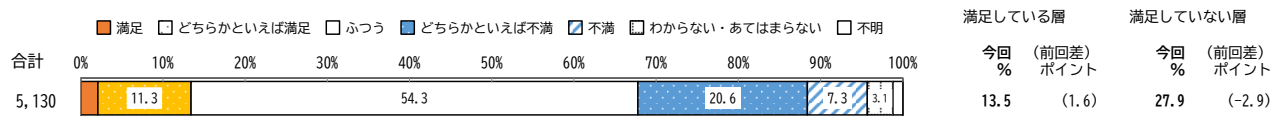


※本質問の回答割合（％）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

⑫ 交通安全・防犯など身のまわりの安全の満足度について

- 「満足している層」の割合が13.5%で、「満足していない層」の割合（27.9%）より14.4ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.6ポイント高く、「満足していない層」の割合が2.9ポイント低くなっています。

図表 2-2-24 交通安全・防犯など身のまわりの安全の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
 ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
 ※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別に関わらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足していない層」の割合は、男性では0.7ポイント、女性では4.4ポイント、それぞれ低くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、30歳代の「満足していない層」の割合（33.2%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、60歳代の「満足していない層」の割合が4.7ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、有配偶の「満足していない層」の割合が3.6ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、二世帯世帯の「満足していない層」の割合（29.8%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、その他の世帯類型の「満足していない層」の割合が11.0ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、正規職員の「満足していない層」の割合（31.1%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、学生で「満足していない層」の割合が7.2ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足していない層」の割合が2.9ポイント低くなっています。

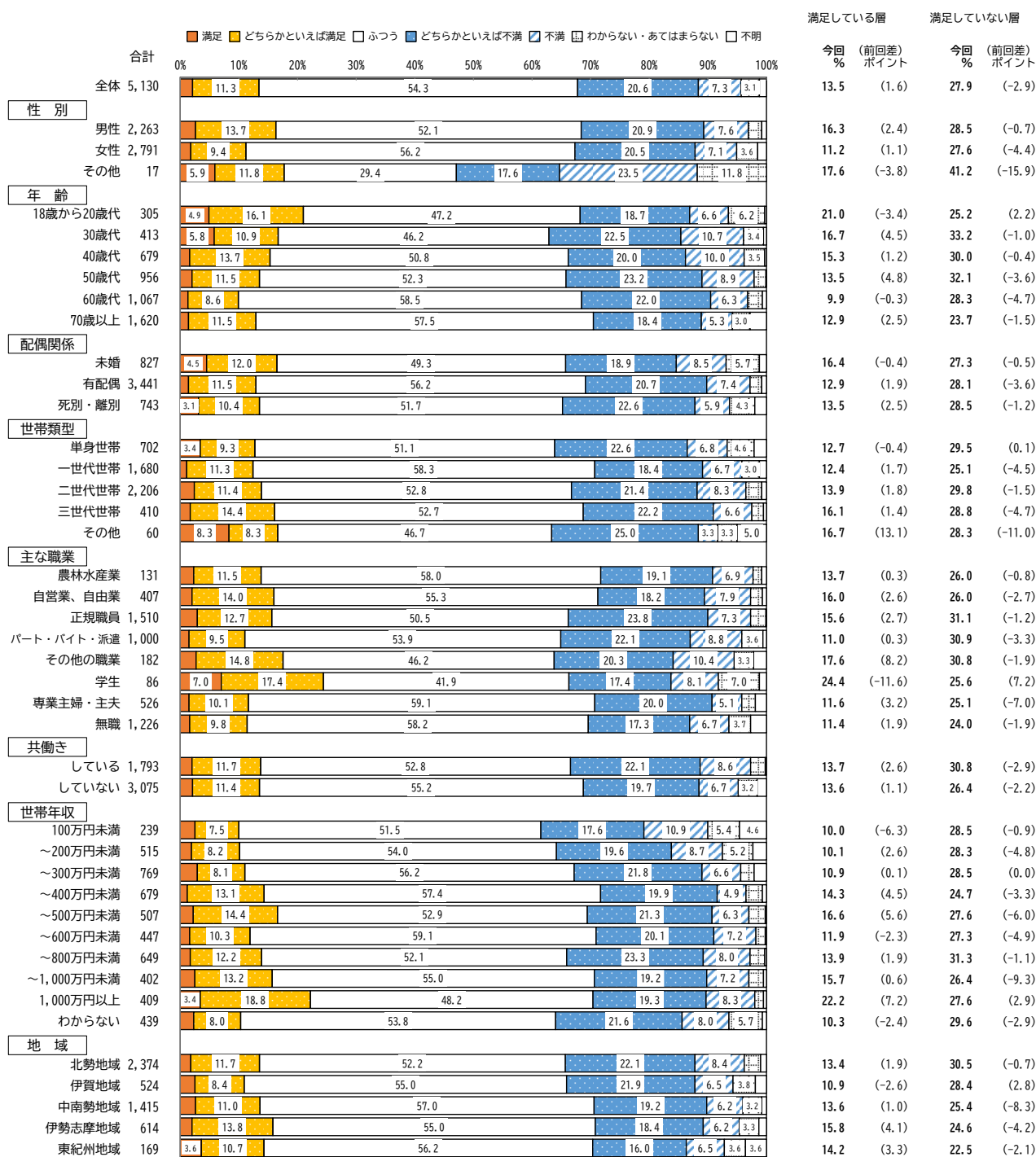
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、600万円以上800万円未満の「満足していない層」の割合（31.3%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、800万円以上1,000万円未満で「満足していない層」の割合が9.3ポイント低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、北勢地域の「満足していない層」の割合（30.5%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、中南勢地域で「満足していない層」の割合が8.3ポイント低くなっています。

図表 2-2-25 交通安全・防犯など身のまわりの安全の満足度（属性別）

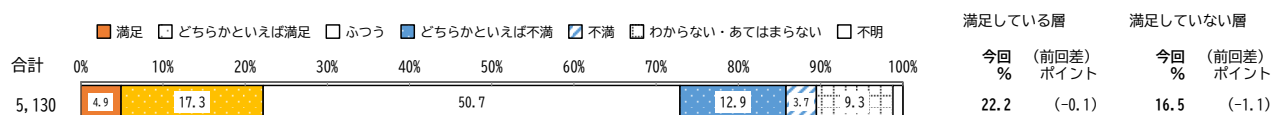


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

⑬ 文化・スポーツなどの趣味、生きがいの満足度について

- 「満足している層」の割合が22.2%で、「満足していない層」の割合（16.5%）より5.7ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.1ポイント、「満足していない層」の割合が1.1ポイント低くなっています。

図表 2-2-26 文化・スポーツなどの趣味、生きがいの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女ともに「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合は、男性では1.2ポイント高く、女性では0.8ポイント低くなっています。

【年齢別】

- 60歳代を除くすべての年代で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、18歳から20歳代の「満足している層」の割合（38.0%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、50歳代で「満足している層」の割合が3.5ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足している層」の割合（26.7%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると1.9ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、その他の世帯類型の「満足している層」の割合（28.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると14.0ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- パート・バイト・派遣を除くすべての職業で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合（40.7%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると5.8ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が2.2ポイント高くなっています。

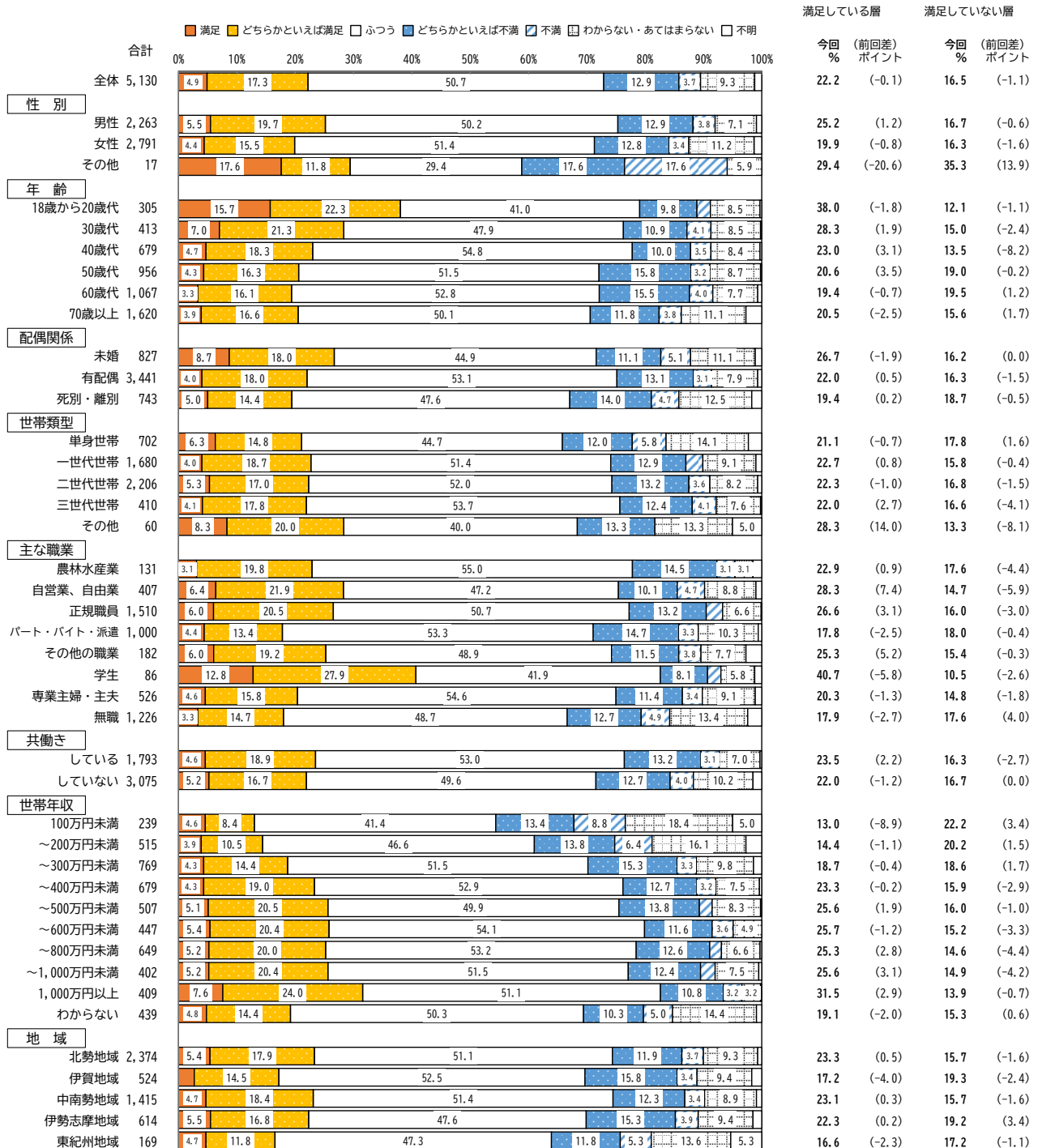
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が200万円以上のすべての世帯年収で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、特に、1,000万円以上の「満足している層」の割合（31.5%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、100万円未満で「満足している層」の割合が8.9ポイント低くなっています。

【地域別】

- 伊賀地域、東紀州地域を除くすべての地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、伊賀地域で「満足している層」の割合が4.0ポイント低くなっています。

図表 2-2-27 文化・スポーツなどの趣味、生きがいの満足度（属性別）

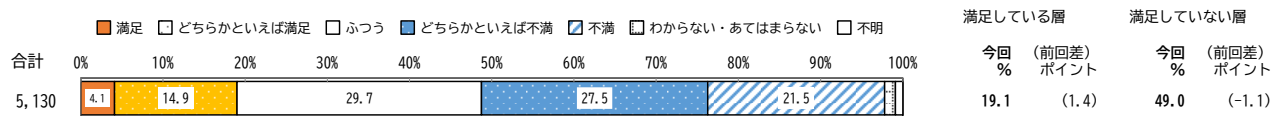


※本質問の回答割合 (%) は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

⑭ 移動手段、交通の便利さの満足度について

- 「満足している層」の割合が19.1%で、「満足していない層」の割合（49.0%）より29.9ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.4ポイント高く、「満足していない層」の割合が1.1ポイント低くなっています。

図表 2-2-28 移動手段、交通の便利さの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
 ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値
 ※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別に関わらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足していない層」の割合は、男性では0.7ポイント、女性では1.1ポイント、それぞれ低くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、50歳代の「満足していない層」の割合（56.0%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、30歳代の「満足していない層」の割合が5.5ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、未婚の「満足していない層」の割合が5.4ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯類型で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合（52.2%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、その他の世帯類型の「満足していない層」の割合が15.3ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、農林水産業の「満足していない層」の割合（57.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると12.2ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、共働きをしている世帯の「満足していない層」の割合（52.1%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしていない世帯の「満足していない層」の割合が1.5ポイント低くなっています。

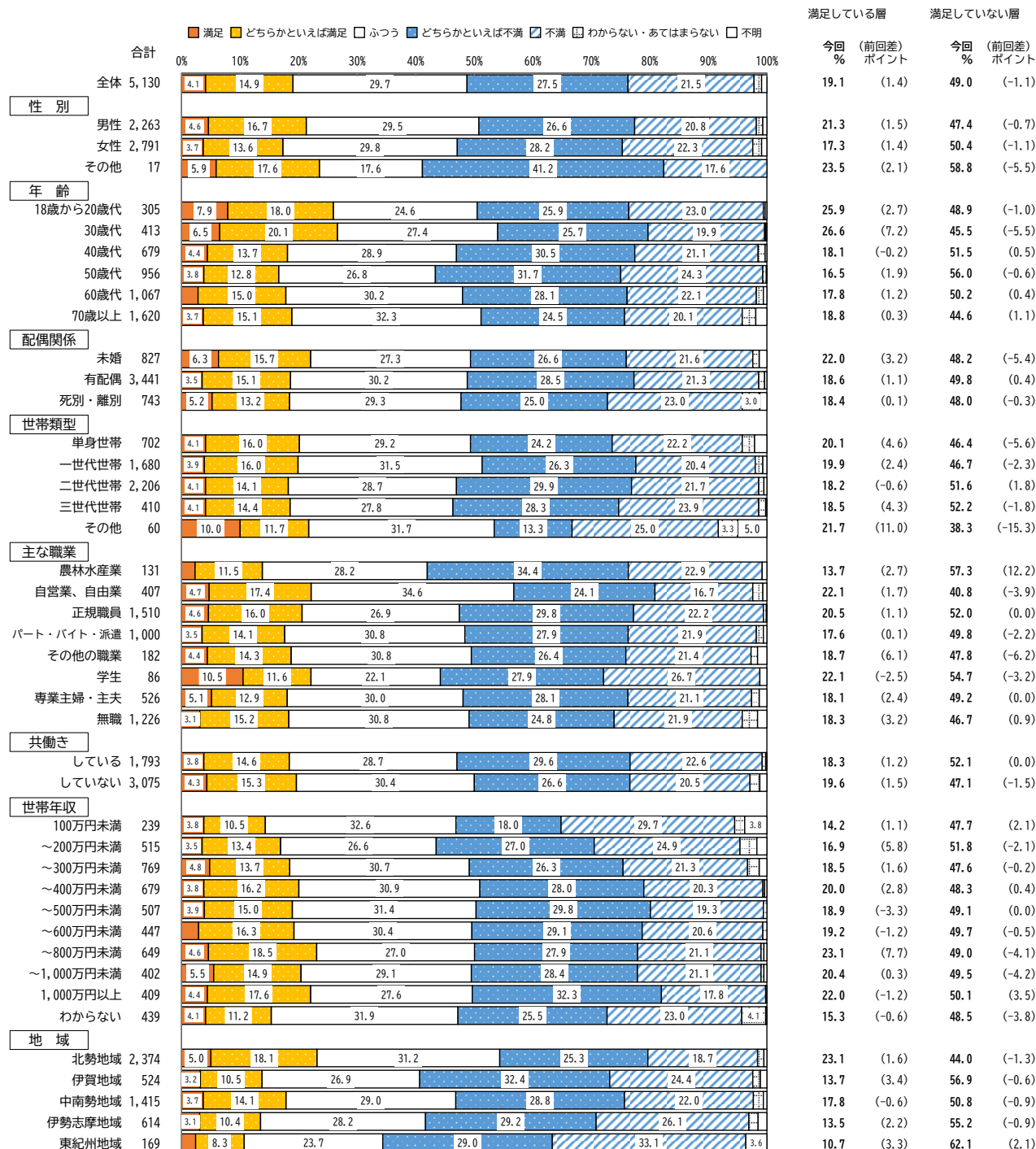
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高く、特に、100万円以上200万円未満の「満足していない層」の割合（51.8%）が高くなっています。前回調査の割合と比較すると、800万円以上1,000万円未満の「満足していない層」の割合が4.2ポイント低くなっています。

【地域別】

○ すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合（62.1%）が高く、前回調査の割合と比較すると2.1ポイント高くなっています。

図表 2-2-29 移動手段、交通の便利さの満足度（属性別）



※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

Ⅱ 集計結果

3. 県が注力している取組 について

3. 県が注力している取組に関すること

「強じんな美し国ビジョンみえ」で示す基本理念の実現に向けて取組を一層加速させていかなければならないと考えられる課題を抽出し、積極果敢に対応していくため、県民の皆さんの実感や状況をみえ県民1万人アンケートでお聴きしました。

問番号	質問文の概要	課題
問 6	三重県で働く方を増やすために「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか	人材確保について
問 7	実際に人口減少・少子高齢化を実感した場面について	人口減少対策について
問 8	人口減少・少子高齢化が進行することで懸念すること	
問 9	今後力を入れるべき文化振興施策	文化振興について
問 9-2	文化・芸術を生かすべき分野	
問 10	県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか	観光について
問 11	「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うか	ジェンダーギャップの解消について
問 12	日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく社会についてどう思うか	共生社会について
問 13	行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか	デジタルの活用について
問 13-2	デジタルサービスを利用したことがない理由	
問 14	「南海トラフ地震臨時情報」についてどの程度知っているか	災害について
問 15	災害から身を守るためにどのような防災対策を行っているか	

※「結婚について」、「子ども・子育て支援について」の集計結果は 67 ページから 82 ページに記載

➤ 県が注力している取組に関すること（項目ごとの集計結果）

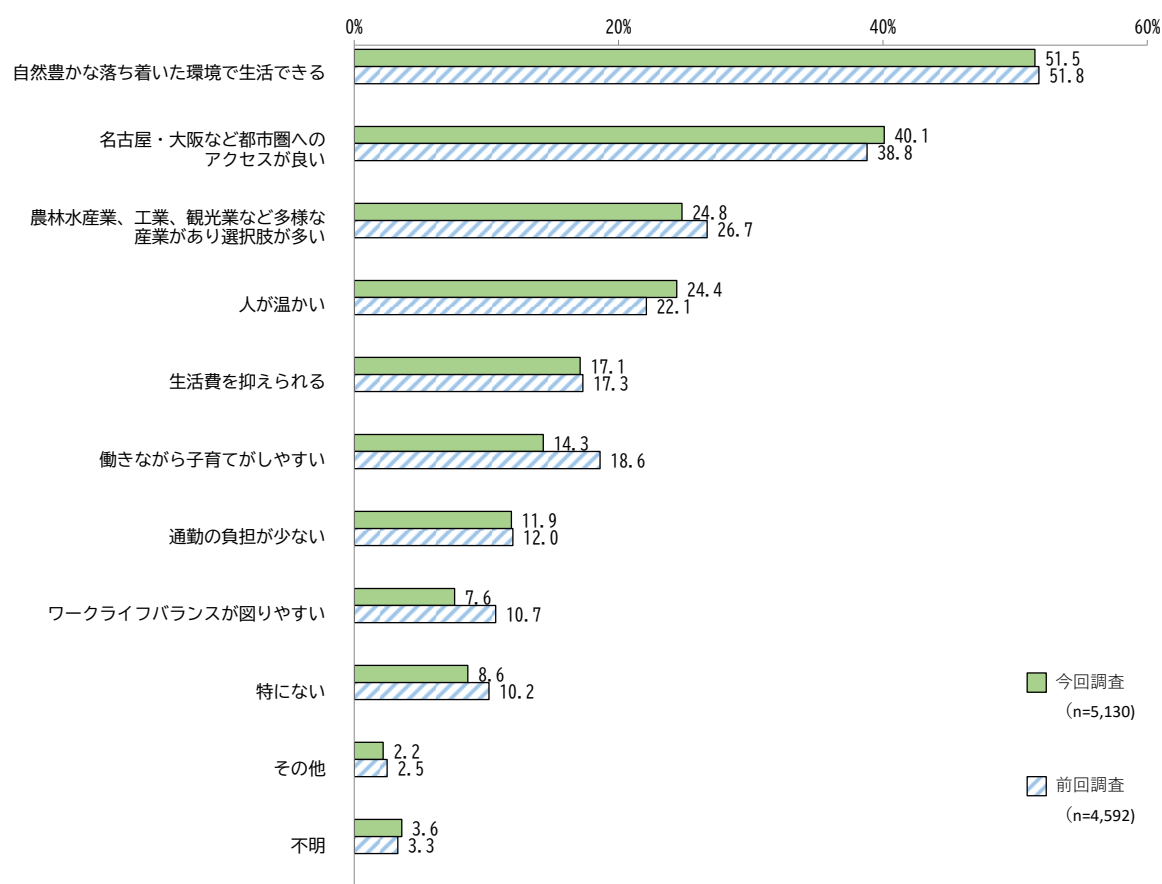
3.1 人材確保について

問6 三重県で働く方を増やすために、あなたは、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思いますか。

（○は3つまで）

- 三重県で働く方を増やすために、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うかについて質問したところ、「自然豊かな落ち着いた環境で生活できる」が51.5%で最も高く、次いで「名古屋・大阪など都市圏へのアクセスが良い」（40.1%）、「農林水産業、工業、観光業など多様な産業があり選択肢が多い」（24.8%）となっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「人が温かい」（24.4%）が2.3ポイント増加、「働きながら子育てがしやすい」（14.3%）が4.3ポイント、「ワークライフバランスが図りやすい」（7.6%）が3.1ポイント減少しています。

図表 2-3-1 「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか



※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-2 「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）													
		合計	自然豊かな 落ち着いた生活 できる	名古屋・大 阪など都市 圏へのアク セスが良い	農林水産 業、工業、 観光業など 多様な産業 があり選択 肢が多い	ワークライ フバランス が図りやす い	人が温かい	働きながら 子育てがし やすい	生活費を抑 えられる	通勤の負担 が少ない	特にない	その他	不明
全体		5,130	51.5	40.1	24.8	7.6	24.4	14.3	17.1	11.9	8.6	2.2	3.6
性別	男性	2,263	49.6	42.7	30.0	8.7	21.8	12.7	18.6	11.8	8.7	2.4	3.0
	女性	2,791	53.4	38.2	20.8	7.0	26.6	15.7	15.9	11.8	8.4	2.0	3.8
	その他	17	35.3	58.8	5.9	0.0	23.5	11.8	17.6	11.8	5.9	11.8	0.0
年齢	18歳から20歳代	305	42.6	48.2	20.3	9.8	23.3	13.4	25.2	10.2	11.1	1.6	0.7
	30歳代	413	40.4	47.2	23.2	10.7	21.8	13.1	16.9	12.6	10.2	1.9	1.2
	40歳代	679	50.7	42.4	21.9	11.5	22.5	16.1	19.9	9.4	9.7	2.7	0.4
	50歳代	956	49.4	43.0	23.7	8.6	21.1	11.3	17.4	11.4	10.3	3.1	1.5
	60歳代	1,067	55.3	38.7	26.6	7.6	23.8	14.7	17.2	10.7	7.9	2.1	2.4
	70歳以上	1,620	55.7	35.9	27.5	4.6	28.5	15.6	14.3	14.0	6.5	1.8	7.6
配偶関係	未婚	827	46.1	46.9	25.0	9.6	20.6	9.1	19.7	10.6	10.6	2.8	1.9
	有配偶	3,441	53.7	39.8	25.4	7.8	24.4	15.7	17.0	12.1	7.6	2.1	3.3
	死別・離別	743	48.7	35.7	22.2	5.4	28.5	14.3	16.0	12.9	10.5	2.2	4.7
世帯類型	単身世帯	702	48.7	38.5	24.9	5.3	26.2	10.7	17.0	11.5	9.5	2.4	5.4
	一世代世帯	1,680	53.5	38.9	24.2	6.8	23.8	15.5	17.1	12.6	8.3	2.0	4.2
	二世代世帯	2,206	50.7	42.8	25.0	9.2	23.7	14.4	17.0	11.7	8.4	2.4	2.1
	三世代世帯	410	55.6	38.8	27.8	7.3	25.4	15.1	19.0	11.2	6.1	1.7	3.4
	その他	60	45.0	30.0	23.3	8.3	36.7	16.7	10.0	10.0	16.7	3.3	8.3
主な職業	農林水産業	131	55.0	32.7	38.2	5.3	26.7	10.7	17.6	6.9	7.6	2.3	3.8
	自営業、自由業	407	52.3	42.3	23.3	8.1	25.6	11.5	17.9	10.3	10.3	2.0	2.7
	正規職員	1,510	48.9	45.6	24.0	11.3	20.7	14.6	20.2	11.5	7.5	2.4	1.6
	パート・バイト・派遣	1,000	51.3	41.4	23.3	6.1	25.2	12.4	16.0	11.4	10.6	2.0	0.9
	その他の職業	182	47.8	39.6	20.3	6.6	23.6	15.4	15.9	14.3	11.0	2.7	4.9
	学生	86	40.7	52.3	22.1	14.0	27.9	14.0	37.4	9.3	10.5	3.5	0.0
	専業主婦・主夫	526	56.5	37.6	25.5	5.1	25.7	19.8	13.9	11.6	8.0	1.7	5.7
	無職	1,226	54.0	33.4	27.0	5.6	27.7	14.6	14.4	13.6	7.4	2.4	6.9
共働き	している	1,793	50.9	41.9	23.3	9.1	22.5	15.4	18.2	11.2	8.1	2.1	1.8
	していない	3,075	51.9	40.1	26.7	6.9	25.3	13.7	16.4	12.3	8.7	2.4	4.2
世帯年収	100万円未満	239	53.1	26.4	16.7	5.4	29.7	10.9	19.2	9.6	9.6	2.5	9.6
	～200万円未満	515	48.0	30.3	22.3	3.7	29.7	12.4	13.4	11.5	14.2	2.3	5.6
	～300万円未満	769	53.7	37.7	25.1	5.2	25.5	13.8	17.7	11.6	8.5	1.3	5.2
	～400万円未満	679	53.3	41.4	26.2	7.5	25.0	15.0	16.1	13.4	7.5	2.4	3.1
	～500万円未満	507	55.0	41.2	28.8	7.5	24.9	11.4	14.8	12.6	8.7	1.8	2.4
	～600万円未満	447	50.6	40.3	27.7	7.4	22.1	15.0	16.1	13.2	7.2	2.7	2.5
	～800万円未満	649	52.5	44.7	25.4	10.0	20.5	16.5	19.4	10.5	6.8	2.5	1.2
	～1,000万円未満	402	50.7	50.7	26.9	10.7	21.9	14.9	16.7	12.9	6.2	2.7	1.5
	1,000万円以上	409	50.6	49.9	24.7	13.9	19.3	16.4	25.7	10.5	5.4	2.4	2.2
	わからない	439	46.7	37.4	20.3	6.6	25.7	15.3	15.0	12.1	12.3	2.5	2.5
地域	北勢地域	2,374	44.4	50.5	26.8	7.9	20.6	14.1	15.7	12.8	8.5	1.9	3.2
	伊賀地域	524	53.2	52.9	27.8	7.6	17.4	12.4	12.4	13.2	7.6	1.5	4.6
	中南勢地域	1,415	57.0	31.6	24.2	8.1	28.3	16.3	20.2	10.7	8.6	2.3	2.9
	伊勢志摩地域	614	62.5	19.2	23.8	7.5	31.1	12.2	17.6	11.7	9.8	3.6	4.4
	東紀州地域	169	63.3	5.9	15.4	1.8	42.6	16.0	23.7	5.3	8.3	2.4	5.9

※凡例： ■第1位 ■第2位 ■第3位

※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

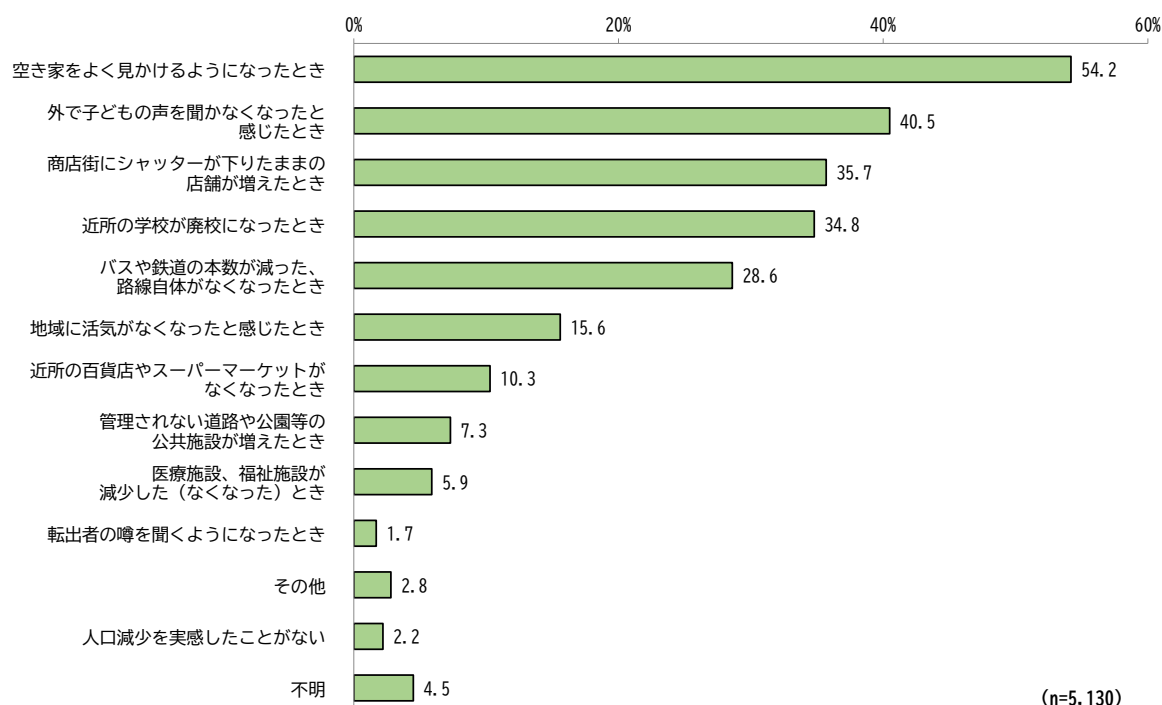
3.2 人口減少対策について

問 7 これまでのことについてお聞きします。あなたが実際に人口減少・少子高齢化を実感した場面はどのような場面ですか。

(〇は3つまで)

- 実際に人口減少・少子高齢化を実感した場面について質問したところ、「空き家をよく見かけるようになったとき」が54.2%で最も高く、次いで「外で子どもの声を聞かなくなったと感じたとき」(40.5%)、「商店街にシャッターが下りたままの店舗が増えたとき」(35.7%)となっています。

図表 2-3-3 実際に人口減少・少子高齢化を実感した場面について



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-3-4 実際に人口減少・少子高齢化を実感した場面について（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）														
	合計	近所の学校が廃校になったとき	外で子どもを聞かなくなったとき	商店街にシャッターが下りたままの店舗が増えたとき	近所の百貨店やスーパーマーケットがなくなったとき	バスや鉄道の本数が減った、路線自体がなくなったとき	管理されないう道路や公園等の公共施設が増えたとき	医療施設、福祉施設が減少した（なくなった）とき	空き家をよく見かけなくなったとき	転出者の噂を聞くようになったとき	地域に活気がなくなったと感じたとき	その他	人口減少を実感したことがない	不明
全体	5,130	34.8	40.5	35.7	10.3	28.6	7.3	5.9	54.2	1.7	15.6	2.8	2.2	4.5
性別	男性	2,263	36.4	39.4	37.4	10.4	26.4	7.3	5.4	56.1	1.9	17.8	2.5	4.0
	女性	2,791	33.5	41.7	34.4	10.2	30.4	7.5	6.4	52.8	1.5	14.0	3.0	4.7
	その他	17	35.3	23.5	52.9	11.8	35.3	5.9	0.0	41.2	0.0	11.8	11.8	0.0
年齢	18歳から20歳代	305	43.6	26.9	43.3	8.2	22.0	8.9	3.3	35.7	2.0	14.4	4.9	0.7
	30歳代	413	42.4	22.5	39.2	12.1	25.7	16.9	7.3	43.3	3.4	12.6	3.4	1.5
	40歳代	679	42.0	29.6	39.6	9.7	30.2	10.9	7.2	48.7	1.8	14.0	5.7	1.3
	50歳代	956	38.7	33.9	38.7	14.2	32.5	8.5	5.4	48.3	0.8	15.5	2.7	2.7
	60歳代	1,067	36.5	43.3	35.6	9.0	30.2	5.6	4.9	60.8	2.0	15.1	2.2	4.9
	70歳以上	1,620	25.4	54.8	30.5	9.1	26.5	3.8	6.7	62.4	1.5	18.0	1.4	7.7
配偶関係	未婚	827	39.7	28.9	39.4	13.4	29.6	8.1	4.5	45.0	2.4	13.4	4.2	2.5
	有配偶	3,441	35.3	41.8	35.2	9.1	28.5	7.6	6.2	56.6	1.5	15.7	2.7	4.4
	死別・離別	743	29.3	48.3	34.6	11.0	28.8	5.9	6.7	54.4	1.9	18.3	1.7	5.1
世帯類型	単身世帯	702	29.2	42.3	36.8	11.1	27.6	6.1	4.4	54.3	1.7	15.7	3.1	5.7
	一世代世帯	1,680	31.1	44.0	35.8	9.9	28.3	5.4	5.7	59.4	1.5	16.8	1.5	4.5
	二世代世帯	2,206	38.9	37.6	36.3	10.2	29.3	9.1	6.5	50.4	1.8	14.6	3.4	3.8
	三世代世帯	410	39.3	41.5	33.4	9.0	29.0	8.3	6.6	55.6	1.7	14.6	4.1	3.7
	その他	60	28.3	31.7	30.0	23.3	26.7	10.0	8.3	46.7	6.7	21.7	1.7	10.0
主な職業	農林水産業	131	37.4	44.3	26.0	6.9	24.4	8.4	6.1	61.1	3.1	19.1	1.5	7.6
	自営業、自由業	407	36.6	37.6	39.1	12.3	26.5	6.4	3.7	55.5	1.2	16.0	3.7	4.9
	正規職員	1,510	40.5	31.5	40.7	10.4	29.9	10.3	5.9	48.2	2.1	15.5	3.0	2.1
	パート・バイト・派遣	1,000	36.8	40.2	35.9	11.1	29.5	9.1	5.3	52.9	1.8	13.9	2.7	2.5
	その他の職業	182	41.2	34.6	41.2	9.9	26.9	3.8	5.5	53.8	2.2	15.4	4.4	6.6
	学生	86	46.5	22.1	41.9	10.5	23.3	5.8	2.3	30.2	1.2	16.3	8.1	1.2
	専業主婦・主夫	526	29.7	49.0	28.3	11.2	37.2	5.3	8.2	60.1	0.8	12.9	2.5	6.3
	無職	1,226	25.9	51.1	37.5	8.6	27.3	4.2	6.8	61.0	1.6	17.8	2.0	7.2
共働き	している	1,793	40.3	35.1	38.4	9.4	28.6	9.8	6.2	50.9	1.6	14.6	3.3	3.1
	していない	3,075	31.9	43.9	34.3	10.6	28.8	6.0	5.9	56.5	1.8	15.8	2.5	5.0
世帯年収	100万円未満	239	32.2	38.5	33.5	15.1	24.3	3.8	5.4	50.2	1.7	13.8	2.9	6.7
	～200万円未満	515	27.6	51.8	30.7	11.7	27.8	4.7	7.6	58.1	1.2	16.7	1.7	7.4
	～300万円未満	769	31.2	47.5	33.6	10.0	28.9	5.3	5.3	61.1	1.6	17.6	1.3	5.2
	～400万円未満	679	37.7	44.9	32.5	9.1	28.1	5.9	5.6	57.3	1.6	16.8	3.1	4.7
	～500万円未満	507	38.7	41.2	36.9	8.7	28.6	8.1	4.3	51.9	2.2	14.0	2.2	5.1
	～600万円未満	447	39.6	36.7	39.8	9.2	26.6	9.6	7.2	57.3	2.5	14.3	3.1	2.0
	～800万円未満	649	36.7	34.4	39.3	11.7	30.7	9.4	6.6	51.9	1.4	14.8	3.4	2.3
	～1,000万円未満	402	41.8	33.1	37.6	8.0	26.4	11.2	6.0	51.7	1.5	17.9	3.5	2.2
	1,000万円以上	409	35.0	31.8	41.6	10.8	32.8	9.3	5.9	43.8	1.7	15.4	5.1	3.9
	わからない	439	31.2	36.4	34.4	11.2	30.1	7.5	5.7	49.7	2.1	13.0	3.2	3.9
地域	北勢地域	2,374	24.9	41.7	36.6	7.9	29.3	8.4	4.8	51.6	1.6	16.3	3.2	3.5
	伊賀地域	524	47.7	31.7	33.4	17.9	36.7	6.1	14.3	47.3	2.1	12.6	1.0	7.1
	中南勢地域	1,415	38.8	43.7	35.8	11.0	27.1	7.9	4.7	58.3	1.7	16.0	3.0	3.7
	伊勢志摩地域	614	50.2	36.2	36.3	14.2	25.4	3.9	5.4	56.8	1.1	14.7	2.4	6.8
	東紀州地域	169	48.5	43.2	28.4	1.8	20.7	3.6	8.3	72.8	3.6	17.8	3.0	5.3

※凡例： ■第1位 ■第2位 ■第3位

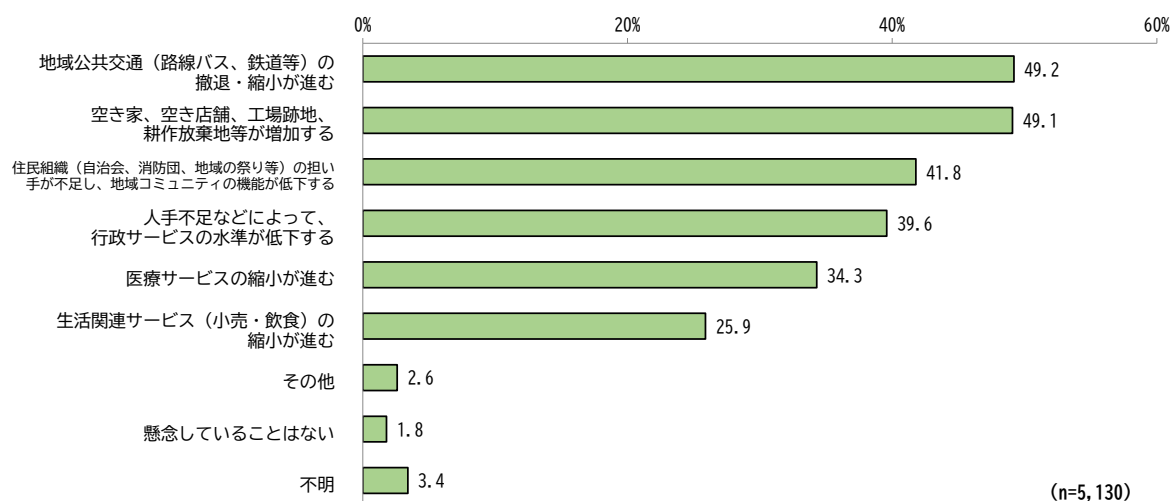
※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

問 8 これからのことについてお聞きします。人口減少・少子高齢化が進行することで懸念することはどのようなことですか。

(○は3つまで)

- 人口減少・少子高齢化が進行することで懸念することについて質問したところ、「地域公共交通（路線バス、鉄道等）の撤退・縮小が進む」が49.2%で最も高く、次いで「空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増加する」（49.1%）、「住民組織（自治会、消防団、地域の祭り等）の担い手が不足し、地域コミュニティの機能が低下する」（41.8%）となっています。

図表 2-3-5 人口減少・少子高齢化が進行することで懸念すること



※本質問の回答割合（%）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-6 人口減少・少子高齢化が進行することで懸念すること（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）									
		合計	人手不足などによって、行政サービスの水準が低下する	地域公共交通（路線バス、鉄道等）の撤退・縮小が進む	生活関連サービス（小売・飲食）の縮小が進む	医療サービスの縮小が進む	空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増加する	住民組織（自治会、消防団、地域の祭り等）の担い手が不足し、地域コミュニティの機能が低下する	その他	懸念していることはない	不明
全体		5,130	39.6	49.2	25.9	34.3	49.1	41.8	2.6	1.8	3.4
性別	男性	2,263	40.4	47.9	29.3	32.0	51.6	43.6	3.0	1.9	2.8
	女性	2,791	39.2	50.6	23.2	36.5	47.2	40.3	2.3	1.6	3.6
	その他	17	52.9	52.9	29.4	35.3	41.2	23.5	5.9	0.0	0.0
年齢	18歳から20歳代	305	55.4	47.2	33.1	24.6	33.8	26.9	3.3	4.3	1.0
	30歳代	413	56.2	44.6	33.4	31.5	41.9	30.3	3.4	1.9	1.0
	40歳代	679	45.8	51.0	29.2	43.2	46.4	32.8	3.7	2.5	1.0
	50歳代	956	42.7	55.3	28.3	40.4	43.2	34.6	3.9	1.2	2.0
	60歳代	1,067	37.1	51.5	24.1	36.8	52.2	45.3	1.5	1.5	3.2
	70歳以上	1,620	29.9	45.6	21.3	28.5	56.6	53.5	1.6	1.4	6.0
配偶関係	未婚	827	49.3	51.6	34.5	30.2	43.3	32.9	2.9	3.3	1.7
	有配偶	3,441	38.4	49.0	24.3	36.0	50.7	44.0	2.5	1.3	3.2
	死別・離別	743	35.3	49.1	25.7	32.6	49.5	42.4	2.6	1.9	4.2
世帯類型	単身世帯	702	40.6	48.7	28.3	27.6	48.7	42.3	2.1	2.4	3.7
	一世代世帯	1,680	35.7	48.4	23.4	35.8	52.0	43.9	2.0	1.5	3.6
	二世代世帯	2,206	42.5	51.0	27.2	36.4	46.8	40.2	2.9	1.4	2.6
	三世代世帯	410	42.2	49.3	25.6	31.5	51.5	41.0	3.4	2.7	3.2
	その他	60	30.0	30.0	25.0	37.7	48.3	45.0	5.0	3.3	8.3
主な職業	農林水産業	131	29.0	41.2	19.1	33.6	63.4	48.1	4.6	0.8	3.8
	自営業、自由業	407	31.9	45.9	31.2	32.4	53.8	40.8	3.7	2.0	3.7
	正規職員	1,510	46.4	51.9	31.5	36.6	44.0	36.2	3.1	1.3	1.5
	パート・バイト・派遣	1,000	43.0	50.5	23.8	37.2	47.8	38.7	2.2	2.6	2.3
	その他の職業	182	36.8	44.5	26.4	32.4	56.0	45.6	3.3	2.7	3.3
	学生	86	52.3	48.8	33.7	18.6	31.4	34.9	3.5	4.7	2.3
	専業主婦・主夫	526	39.4	51.3	17.7	37.8	49.4	44.9	2.1	1.0	5.3
	無職	1,226	32.4	47.2	22.5	30.2	53.6	49.7	1.7	1.7	5.1
共働き	している	1,793	42.9	49.1	26.8	36.8	47.7	38.1	3.1	1.5	2.6
	していない	3,075	38.1	49.4	25.5	33.4	49.9	44.3	2.4	1.8	3.5
世帯年収	100万円未満	239	36.0	44.8	25.5	26.4	48.5	34.3	1.7	3.3	8.8
	～200万円未満	515	33.8	45.8	25.2	32.0	51.7	44.7	2.3	2.1	5.2
	～300万円未満	769	33.3	49.4	26.8	33.9	51.1	47.9	1.7	2.3	3.3
	～400万円未満	679	37.7	49.0	24.3	37.6	52.3	47.6	1.9	0.1	3.4
	～500万円未満	507	40.2	49.5	25.2	32.7	50.7	45.0	2.0	1.4	3.6
	～600万円未満	447	45.2	50.3	25.5	35.6	51.0	41.4	2.9	1.3	1.3
	～800万円未満	649	47.6	50.1	28.0	35.4	46.5	37.9	2.9	1.1	1.5
	～1,000万円未満	402	43.0	53.5	28.6	37.3	43.8	38.1	4.7	1.2	1.7
	1,000万円以上	409	42.5	52.3	26.2	36.9	46.2	37.9	2.9	1.0	3.4
	わからない	439	40.1	49.0	24.8	33.5	45.1	33.0	3.4	5.0	2.3
地域	北勢地域	2,374	42.4	48.9	23.8	33.7	45.4	42.9	2.7	2.0	2.7
	伊賀地域	524	38.9	53.8	26.0	40.6	49.4	40.1	2.7	0.8	4.2
	中南勢地域	1,415	38.9	49.8	27.0	31.3	54.3	41.8	2.3	1.8	3.3
	伊勢志摩地域	614	36.2	47.1	31.8	37.5	49.5	38.3	2.8	1.8	4.4
	東紀州地域	169	24.3	46.2	27.8	39.1	56.8	43.8	1.8	1.2	5.3

※凡例： ■第1位 ■第2位 ■第3位

※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

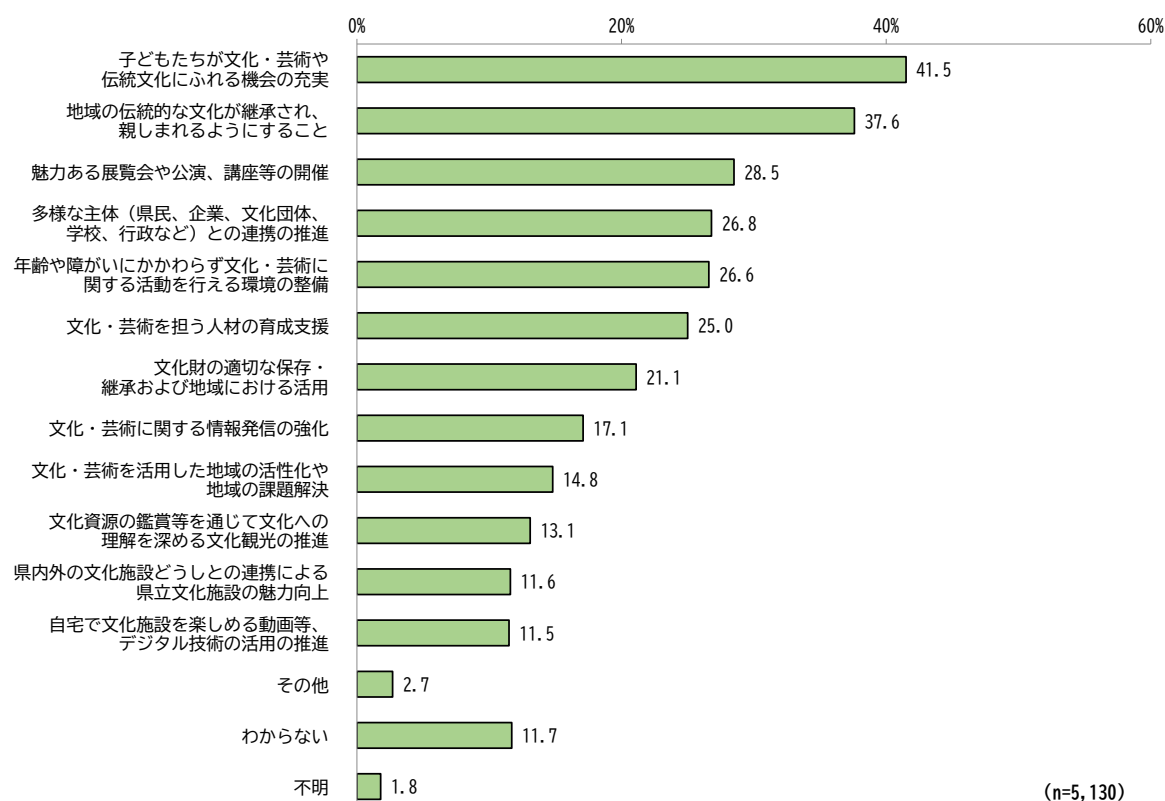
3.3 文化振興について

問 9 県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思うかについて質問したところ、「子どもたちが文化・芸術や伝統文化にふれる機会の充実」が41.5%で最も高く、次いで「地域の伝統的な文化が継承され、親しまれるようにすること」(37.6%)、「魅力ある展覧会や公演、講座等の開催」(28.5%)となっています。

図表 2-3-7 今後力を入れるべき文化振興施策



※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-8 今後力を入れるべき文化振興施策（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）																	
		合計	魅力ある展覧会や公演、講座等の開催	子どもたちが文化・芸術や伝統文化に触れる機会を充実	地域の伝統的な文化が継承され、親しまれるようにすること	文化・芸術を担う人材の育成支援	年齢や障がいにかかわらず文化・芸術に関する活動を行える環境の整備	文化資源の鑑賞等を通じて文化への理解を深める文化観光の推進	多様な主体（県民、企業、文化団体、学校、行政など）との連携の推進	文化・芸術を活用した地域の活性化や地域の課題解決	文化財の適切な保存・継承および地域における活用	県内外の文化施設どうしとの連携による県立文化施設の魅力向上	文化・芸術に関する情報発信の強化	自宅で文化施設を楽しめる動画等、デジタル技術の活用	その他	わからない	不明
性別	全体	5,130	28.5	41.5	37.6	25.0	26.6	13.1	26.8	14.8	21.1	11.6	17.1	11.5	2.7	11.7	1.8
	男性	2,263	24.2	39.5	38.6	24.6	24.5	14.0	27.9	15.7	22.9	11.1	17.3	14.4	3.7	10.5	1.6
	女性	2,791	32.4	43.5	37.1	25.3	28.4	12.3	26.2	14.2	19.5	11.8	16.8	9.0	1.9	12.7	1.5
	その他	17	23.5	47.1	29.4	41.2	29.4	11.8	17.6	29.4	41.2	23.5	41.2	17.6	11.8	0.0	0.0
年齢	18歳から20歳代	305	19.0	41.6	33.1	27.2	23.3	10.2	30.8	16.4	21.3	16.4	15.7	17.7	4.3	15.7	0.7
	30歳代	413	23.0	48.2	30.5	24.7	18.2	13.1	31.5	16.0	19.9	14.3	15.7	16.2	4.4	10.2	0.2
	40歳代	679	26.4	45.5	39.0	25.6	23.0	12.5	30.8	14.1	21.9	13.3	15.0	13.0	4.1	11.9	0.3
	50歳代	956	28.9	36.2	34.9	24.3	25.0	13.2	25.7	13.5	20.5	10.6	17.1	10.6	3.1	11.2	0.5
	60歳代	1,067	32.7	42.0	36.6	26.2	28.5	12.7	26.6	13.4	20.3	9.6	18.3	11.2	2.0	12.6	0.7
	70歳以上	1,620	30.6	41.7	42.5	24.5	31.0	14.1	24.6	16.6	21.9	11.0	18.0	9.3	1.5	10.8	3.7
	その他	17	23.5	47.1	29.4	41.2	29.4	11.8	17.6	29.4	41.2	23.5	41.2	17.6	11.8	0.0	0.0
配偶関係	未婚	827	24.3	35.2	37.0	27.1	26.7	13.2	29.7	17.2	25.9	14.5	18.4	15.8	3.9	12.5	1.1
	有配偶	3,441	29.9	44.1	38.4	25.4	26.6	13.5	27.2	15.1	20.4	10.8	16.5	11.0	2.5	10.7	1.3
	死別・離別	743	27.7	38.8	35.7	21.1	27.9	11.6	24.0	12.1	20.2	12.1	18.0	9.2	2.3	14.8	2.8
世帯類型	単身世帯	702	29.3	35.8	36.3	24.9	25.6	12.7	23.1	14.1	21.8	11.4	18.2	12.0	3.1	13.1	2.8
	一世代世帯	1,680	31.9	40.5	38.3	26.1	28.3	13.0	23.6	15.1	20.9	10.0	17.3	9.6	2.0	12.0	1.5
	二世代世帯	2,206	27.2	43.7	37.3	24.9	25.7	13.4	30.4	15.0	20.6	13.0	16.8	12.9	3.3	11.1	0.9
	三世代世帯	410	23.4	46.6	41.2	22.7	25.1	12.7	29.5	15.4	23.9	11.5	18.3	10.5	2.0	10.2	1.7
	その他	60	18.3	43.3	38.3	28.3	36.7	11.7	26.7	11.7	21.7	8.3	8.3	13.3	0.0	13.3	10.0
	その他	17	23.5	47.1	29.4	41.2	29.4	11.8	17.6	29.4	41.2	23.5	41.2	17.6	11.8	0.0	0.0
主な職業	農林水産業	131	22.9	40.5	39.7	22.9	20.6	12.2	26.7	16.8	20.6	7.6	15.3	9.9	2.3	14.5	3.1
	自営業、自由業	407	28.0	43.7	42.8	26.5	26.0	14.5	25.1	16.0	24.1	11.1	17.7	9.3	4.2	11.8	1.2
	正規職員	1,510	24.8	42.9	37.7	25.0	21.0	13.2	29.5	15.0	22.1	12.3	16.0	13.1	3.6	9.9	0.3
	パート・バイト・派遣	1,000	30.7	41.8	34.9	25.5	27.8	12.1	27.7	13.7	18.4	10.7	16.3	10.8	2.4	13.8	0.5
	その他の職業	182	25.3	32.4	37.4	23.6	26.4	8.2	28.0	11.5	20.3	11.0	18.1	14.8	2.7	12.1	2.7
	学生	86	24.4	39.5	39.5	25.6	25.6	14.0	36.0	19.8	25.6	24.4	19.8	19.8	4.7	10.5	1.2
	専業主婦・主夫	526	38.2	46.4	39.2	28.3	32.5	14.6	25.9	13.1	19.8	12.7	18.4	9.9	1.5	8.7	2.1
	無職	1,226	29.4	39.2	37.8	23.6	31.2	13.3	23.7	16.1	21.5	10.5	18.4	10.5	1.6	13.1	3.4
	その他	60	18.3	43.3	38.3	28.3	36.7	11.7	26.7	11.7	21.7	8.3	8.3	13.3	0.0	13.3	10.0
共働き	している	1,793	27.3	44.9	36.2	24.3	21.3	11.8	27.9	14.7	18.9	11.2	14.8	11.8	3.1	11.8	0.7
	していない	3,075	29.6	40.6	38.9	25.6	29.9	13.9	26.3	15.2	22.5	11.7	18.8	11.4	2.5	11.1	1.8
世帯年収	100万円未満	239	25.5	33.9	30.5	20.5	28.5	8.4	20.5	10.5	15.5	9.2	14.6	9.2	2.1	16.3	6.3
	～200万円未満	515	25.6	36.5	37.9	22.5	32.2	13.6	24.3	12.8	20.8	8.2	17.1	8.9	3.3	14.8	3.3
	～300万円未満	769	30.2	41.4	38.6	24.7	30.2	14.0	26.5	14.8	20.8	13.3	20.7	11.2	2.0	12.1	2.1
	～400万円未満	679	33.6	44.5	40.1	25.8	30.2	15.2	28.0	17.5	21.9	12.7	16.1	11.5	2.7	9.0	0.9
	～500万円未満	507	30.0	43.4	42.6	27.8	28.4	11.6	28.2	17.0	23.3	11.0	18.1	12.0	2.6	9.7	0.4
	～600万円未満	447	27.5	44.1	40.7	28.6	26.6	15.0	31.1	14.3	22.4	13.0	17.2	11.9	2.9	9.4	0.7
	～800万円未満	649	28.2	43.8	33.7	27.0	21.6	12.0	26.8	14.5	18.3	10.2	17.4	14.0	2.2	11.6	0.2
	～1,000万円未満	402	25.9	46.3	38.8	26.1	21.1	13.2	25.4	12.9	21.1	13.9	16.4	11.2	3.7	8.0	0.5
	1,000万円以上	409	31.3	45.2	37.9	23.0	18.3	15.2	33.3	15.9	23.7	11.2	14.4	12.5	3.7	7.3	1.0
	わからない	439	23.9	33.0	33.5	21.4	25.3	9.3	23.5	15.0	21.6	12.3	15.5	12.1	2.7	21.4	2.5
地域	北勢地域	2,374	28.6	42.5	36.1	26.0	27.5	13.1	26.1	14.3	20.3	12.0	16.3	13.1	3.0	11.6	1.4
	伊賀地域	524	27.5	38.5	43.3	26.5	25.2	13.7	28.8	19.3	25.0	14.3	21.4	11.5	2.7	8.8	2.7
	中南勢地域	1,415	30.3	41.3	38.1	23.3	26.5	14.0	28.2	15.2	19.9	11.5	17.3	9.5	2.0	11.2	1.5
	伊勢志摩地域	614	27.5	42.3	39.7	24.8	24.8	12.1	25.7	12.9	24.4	9.1	17.6	11.1	3.1	13.8	1.0
	東紀州地域	169	18.3	39.1	35.5	23.1	25.4	8.3	24.3	13.6	19.5	6.5	10.7	8.3	1.8	19.5	5.3

※凡例： ■第1位 ■第2位 ■第3位

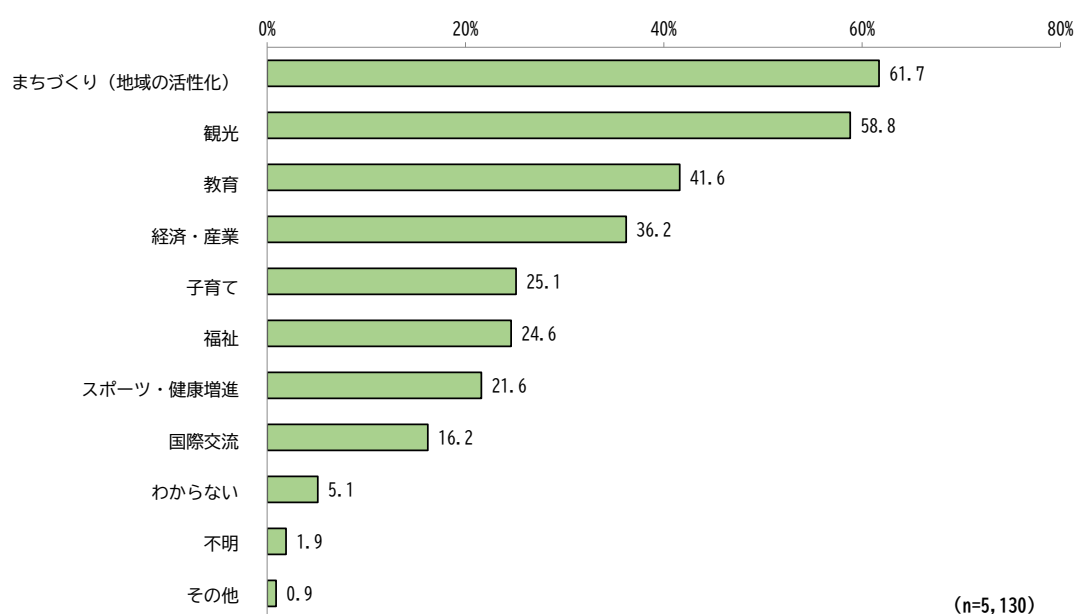
※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

問 9-2 文化は、観光やまちづくりなど様々な分野と連携することで、新たな価値が生まれ文化の発展につながることが期待されています。あなたは、文化・芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。

(〇はいくつでも)

○ 文化・芸術をどのような分野に生かしたら良いと思うかについて質問したところ、「まちづくり（地域の活性化）」が61.7%で最も高く、次いで「観光」（58.8%）、「教育」（41.6%）となっています。

図表 2-3-9 文化・芸術を生かすべき分野



※本質問の回答割合（%）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-10 文化・芸術を生かすべき分野（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）											
		合計	観光	教育	経済・産業	福祉	子育て	まちづくり （地域の活 性化）	スポーツ・ 健康増進	国際交流	その他	わからない	不明
全体		5,130	58.8	41.6	36.2	24.6	25.1	61.7	21.6	16.2	0.9	5.1	1.9
性別	男性	2,263	59.6	39.8	39.2	22.3	23.4	62.4	24.2	15.1	1.4	4.4	1.5
	女性	2,791	58.6	43.1	34.0	26.4	26.7	61.3	19.7	17.2	0.4	5.6	1.8
	その他	17	58.8	52.9	52.9	29.4	17.6	41.2	0.0	35.3	11.8	0.0	0.0
年齢	18歳から20歳代	305	68.5	48.5	37.4	18.4	36.1	50.2	16.4	20.7	1.3	4.6	0.7
	30歳代	413	68.0	53.5	37.5	19.6	44.1	57.4	18.9	16.7	0.5	2.9	0.7
	40歳代	679	66.6	49.0	37.1	19.1	33.3	60.1	21.8	21.4	1.3	4.9	0.6
	50歳代	956	64.3	42.8	41.1	22.6	23.2	57.5	20.5	18.0	1.2	3.7	0.6
	60歳代	1,067	62.6	39.4	37.2	23.3	21.9	64.7	17.4	14.2	0.3	5.5	1.1
	70歳以上	1,620	46.6	35.7	32.3	31.2	18.3	66.6	26.8	13.8	0.8	6.2	3.6
配偶関係	未婚	827	62.0	41.6	38.8	21.3	21.6	58.5	18.7	19.8	1.3	5.9	1.8
	有配偶	3,441	60.1	43.2	36.6	24.7	27.2	62.7	22.4	16.2	0.8	4.4	1.1
	死別・離別	743	52.9	37.6	33.5	28.4	21.8	63.0	21.5	13.2	0.7	6.2	3.1
世帯類型	単身世帯	702	52.6	35.5	34.2	26.1	18.7	61.1	19.7	14.7	1.1	6.4	3.6
	一世代世帯	1,680	58.2	38.8	36.0	24.9	21.8	63.7	21.7	15.4	0.6	5.2	1.4
	二世代世帯	2,206	61.8	45.9	36.9	23.8	29.5	60.2	21.8	17.5	1.0	4.4	1.2
	三世代世帯	410	60.5	43.2	37.8	24.9	27.3	65.4	24.4	16.8	1.0	4.6	1.5
	その他	60	50.0	43.3	40.0	30.0	21.7	53.3	16.7	15.0	0.0	6.7	6.7
主な職業	農林水産業	131	51.9	34.4	31.3	19.8	22.1	56.5	22.9	9.2	0.8	9.2	1.5
	自営業、自由業	407	59.7	47.4	35.6	20.4	25.8	67.1	21.4	19.2	1.0	2.5	1.2
	正規職員	1,510	67.2	45.7	40.3	19.8	29.5	59.5	21.5	17.6	1.3	3.8	0.7
	パート・バイト・派遣	1,000	61.7	43.2	34.5	26.9	27.3	62.7	20.2	17.3	0.5	5.2	0.7
	その他の職業	182	53.8	42.3	33.5	26.9	23.1	59.9	19.2	14.8	0.5	5.5	1.6
	学生	86	69.8	52.3	43.0	14.0	31.4	51.2	18.6	25.6	0.0	4.7	1.2
	専業主婦・主夫	526	53.8	43.3	34.6	26.8	24.9	63.3	20.7	17.9	0.4	5.9	3.0
	無職	1,226	49.7	33.1	34.2	29.9	18.3	62.9	24.1	12.6	0.9	6.6	3.2
共働き	している	1,793	65.4	46.4	36.8	21.2	31.2	60.5	21.6	17.5	0.8	3.6	0.4
	していない	3,075	56.2	39.3	36.1	26.2	22.0	62.5	21.7	15.8	0.9	5.8	2.1
世帯年収	100万円未満	239	44.4	33.5	31.0	33.5	16.7	56.9	17.6	12.6	0.8	7.1	5.9
	～200万円未満	515	48.5	32.6	32.0	34.6	18.1	61.7	21.9	13.2	0.6	9.3	3.3
	～300万円未満	769	55.1	35.1	34.7	29.4	23.1	65.9	21.7	15.6	0.9	5.9	2.3
	～400万円未満	679	62.0	41.2	38.3	24.9	23.4	66.6	22.4	16.5	0.4	4.4	1.5
	～500万円未満	507	60.7	46.2	37.5	23.9	23.5	62.3	22.9	16.4	0.4	3.6	0.8
	～600万円未満	447	60.4	47.2	41.8	22.1	30.2	61.1	24.6	18.3	1.1	3.4	0.9
	～800万円未満	649	64.3	45.5	34.7	21.7	33.3	60.9	21.1	18.0	0.8	2.5	0.8
	～1,000万円未満	402	69.9	52.7	37.6	15.9	28.9	58.7	17.4	18.2	1.7	3.2	0.5
	1,000万円以上	409	68.7	51.6	41.8	15.2	28.1	61.6	23.5	19.6	1.2	3.4	0.2
	わからない	439	54.2	34.9	34.6	23.7	23.2	54.9	20.0	14.4	1.1	9.3	1.4
地域	北勢地域	2,374	58.0	42.5	36.1	24.6	27.5	60.7	22.5	16.8	0.6	4.8	1.5
	伊賀地域	524	66.0	42.2	40.1	25.6	22.9	62.2	21.9	16.2	1.0	4.8	2.1
	中南勢地域	1,415	57.8	41.6	36.9	25.1	24.5	64.4	22.0	15.3	0.8	4.7	1.4
	伊勢志摩地域	614	61.7	40.1	35.2	23.0	19.9	60.6	19.1	17.4	1.6	5.7	2.4
	東紀州地域	169	50.3	35.5	25.4	23.1	23.7	58.6	18.3	13.6	1.2	10.7	4.1

※凡例： ■第1位 ■第2位 ■第3位

※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

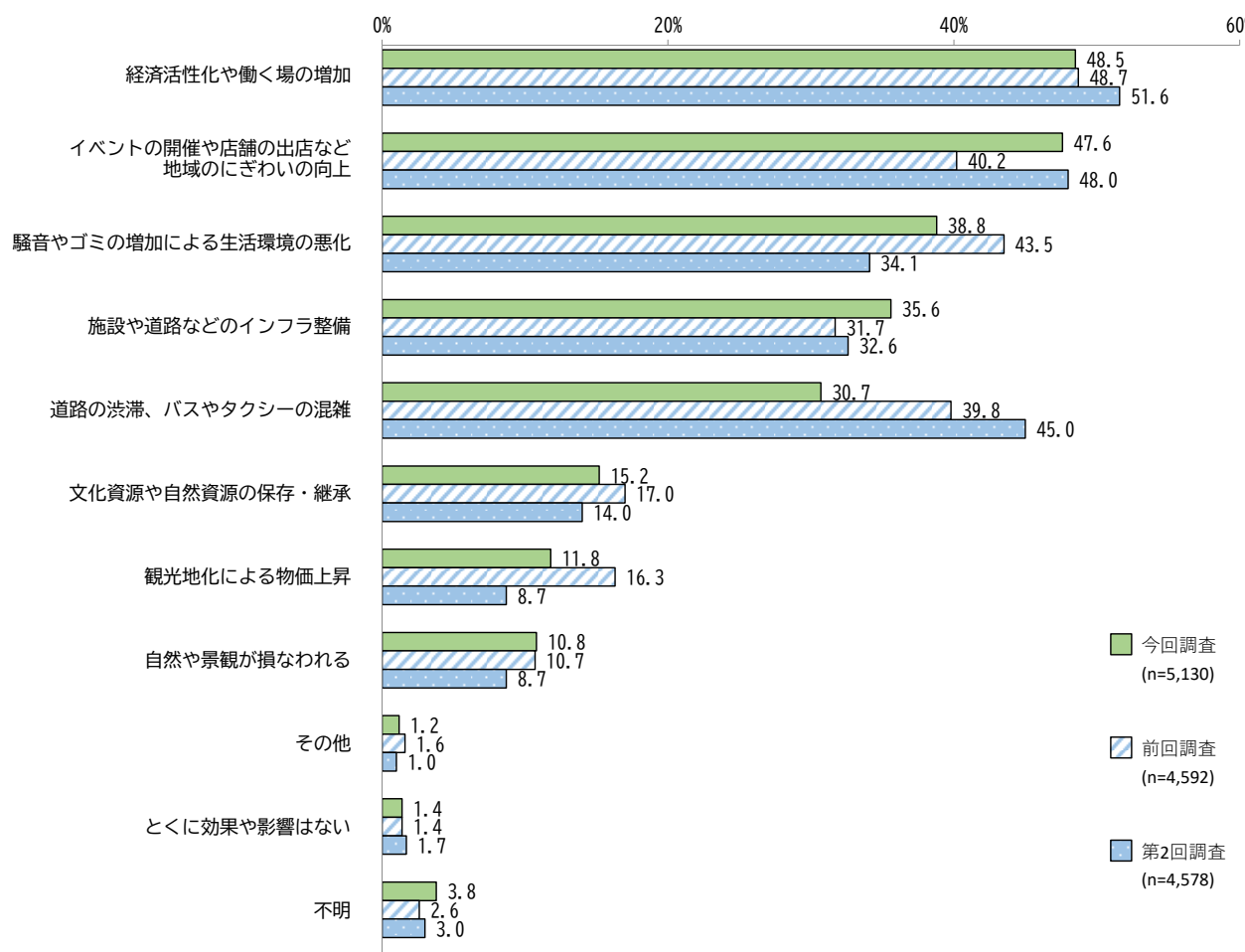
3.4 観光について

問 10 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。

(○は3つまで)

- 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うかについて質問したところ、「経済活性化や働く場の増加」が48.5%で最も高く、次いで「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(47.6%)、「騒音やゴミの増加による生活環境の悪化」(38.8%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(47.6%)が7.4ポイント増加、「道路の渋滞、バスやタクシーの混雑」(30.7%)が9.1ポイント減少しています。

図表 2-3-11 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-3-12 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）													
		合計	イベントの 開催や店舗 の出店など 地域のにぎ わいの向上	経済活性化 や働く場の 増加	施設や道路 などのイン フラ整備	文化資源や 自然資源の 保存・継承	騒音やゴミ の増加によ る生活環境 の悪化	道路の渋 滞、バスや タクシーの 混雑	自然や景観 が損なわれ る	観光地化に よる物価上 昇	とくに効果 や影響はな い	その他	不明
全体		5,130	47.6	48.5	35.6	15.2	38.8	30.7	10.8	11.8	1.4	1.2	3.8
性別	男性	2,263	46.7	47.2	39.2	16.0	41.1	30.4	12.5	11.8	1.1	1.6	3.5
	女性	2,791	48.6	49.9	32.7	14.5	36.8	31.1	9.5	11.9	1.6	0.8	3.9
	その他	17	47.1	29.4	52.9	17.6	58.8	47.1	5.9	11.8	0.0	11.8	0.0
年齢	18歳から20歳代	305	56.4	44.3	38.7	10.5	35.4	38.7	9.5	17.0	2.6	1.0	0.7
	30歳代	413	56.7	50.1	37.8	8.7	37.0	37.3	6.3	15.7	0.5	1.2	2.2
	40歳代	679	53.5	52.4	34.9	11.5	42.1	39.3	9.0	15.0	1.5	1.3	1.3
	50歳代	956	45.8	53.7	39.7	12.3	37.4	36.8	9.9	11.1	0.7	1.6	2.9
	60歳代	1,067	49.0	49.5	35.8	14.2	38.7	29.8	12.7	9.9	1.8	0.7	3.3
	70歳以上	1,620	41.7	44.3	32.8	21.5	39.6	21.4	12.3	10.5	1.4	1.2	6.4
配偶関係	未婚	827	48.9	44.6	34.7	12.3	43.5	35.6	12.1	16.0	2.5	1.3	2.7
	有配偶	3,441	48.5	50.6	37.2	15.7	38.0	30.4	10.4	11.1	1.2	1.2	3.0
	死別・離別	743	44.3	46.2	31.2	16.8	38.2	27.1	11.3	10.0	1.3	1.1	6.3
世帯類型	単身世帯	702	43.6	42.2	31.3	15.2	41.7	28.6	13.0	11.0	2.3	1.6	6.0
	一世代世帯	1,680	46.8	49.2	35.9	16.4	37.1	28.8	10.2	11.1	1.3	1.0	3.7
	二世代世帯	2,206	49.6	50.3	36.9	14.1	38.8	33.0	10.5	12.8	1.2	1.3	2.8
	三世代世帯	410	49.3	48.5	37.3	16.3	41.2	31.5	11.0	11.2	1.5	1.2	2.9
	その他	60	43.3	53.3	28.3	15.0	35.0	26.7	8.3	16.7	1.7	0.0	13.3
主な職業	農林水産業	131	42.0	45.0	45.0	16.8	38.2	22.9	13.7	9.2	3.8	0.0	3.8
	自営業、自由業	407	51.1	48.2	32.4	18.2	30.7	27.8	11.1	10.6	1.5	1.5	5.4
	正規職員	1,510	51.6	53.4	40.3	11.9	38.1	35.6	9.2	14.1	0.9	1.3	2.1
	パート・バイト・派遣	1,000	49.9	49.3	37.3	11.6	41.8	34.3	10.7	12.1	1.3	0.4	2.4
	その他の職業	182	45.6	47.8	35.7	15.4	36.8	34.6	13.7	13.7	3.3	0.5	2.7
	学生	86	46.5	48.8	40.7	15.1	40.7	34.9	12.8	14.0	2.3	2.3	0.0
	専業主婦・主夫	526	43.7	49.6	27.9	20.3	36.9	27.9	10.1	9.3	2.1	1.1	5.5
	無職	1,226	42.4	42.5	31.9	19.0	41.3	24.6	12.3	10.5	1.1	1.7	5.6
共働き	している	1,793	51.8	52.9	39.6	12.4	37.1	33.3	9.3	11.6	0.9	1.1	2.1
	していない	3,075	46.0	46.4	33.4	16.9	39.9	29.4	11.6	12.0	1.6	1.2	4.4
世帯年収	100万円未満	239	40.2	38.5	26.8	13.0	38.1	23.4	13.0	9.6	3.3	2.1	8.4
	～200万円未満	515	40.8	41.4	31.7	15.7	41.4	22.5	14.6	10.9	2.5	1.7	5.6
	～300万円未満	769	47.3	44.3	33.2	18.1	41.6	27.2	12.0	12.7	1.0	1.3	4.4
	～400万円未満	679	47.3	48.0	38.0	18.9	38.1	28.7	13.1	11.2	1.3	0.6	4.1
	～500万円未満	507	48.9	48.7	41.0	17.0	38.5	34.7	10.5	11.8	0.2	1.0	2.2
	～600万円未満	447	49.7	53.2	38.5	13.0	38.5	33.1	10.3	9.8	1.3	0.7	3.8
	～800万円未満	649	53.0	53.8	37.1	11.2	36.5	36.2	8.0	11.4	1.1	1.2	2.3
	～1,000万円未満	402	51.2	54.7	41.0	15.2	37.8	36.3	9.2	12.4	0.0	1.2	1.5
	1,000万円以上	409	52.8	60.1	39.1	13.9	31.8	32.8	4.9	12.5	1.2	1.2	2.7
	わからない	439	44.9	44.2	30.1	11.2	43.7	32.1	12.3	15.5	3.0	1.6	2.5
地域	北勢地域	2,374	46.0	47.9	34.6	13.6	41.0	34.6	10.7	13.1	1.0	0.7	4.0
	伊賀地域	524	53.4	46.0	36.1	19.3	37.0	25.0	12.0	8.6	1.7	1.9	4.4
	中南勢地域	1,415	51.4	49.8	37.7	16.3	37.3	27.1	10.2	10.3	1.8	1.1	2.7
	伊勢志摩地域	614	42.8	51.5	36.5	14.5	34.2	33.9	11.1	13.4	2.0	2.6	4.4
	東紀州地域	169	44.4	46.2	34.9	17.8	40.8	11.2	12.4	11.2	1.2	1.2	5.3

※凡例： ■第1位 ■第2位 ■第3位

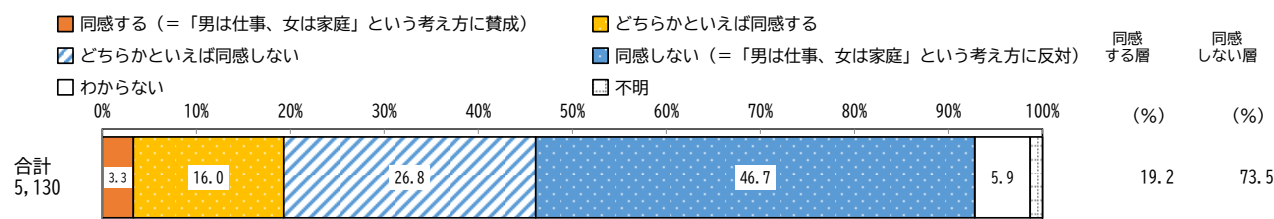
※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.5 ジェンダーギャップの解消について

問 11 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

- 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うかについて質問したところ、「同感しない層」の割合が73.5%で、「同感する層」の割合（19.2%）より54.3ポイント高くなっています。

図表 2-3-13 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うか



※「同感する層」の割合・・・「同感する」と「どちらかといえば同感する」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※「同感しない層」の割合・・・「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別に関わらず「同感しない層」の割合が高くなっています。特に、男性と比較して女性で「同感しない層」の割合が高くなっています。

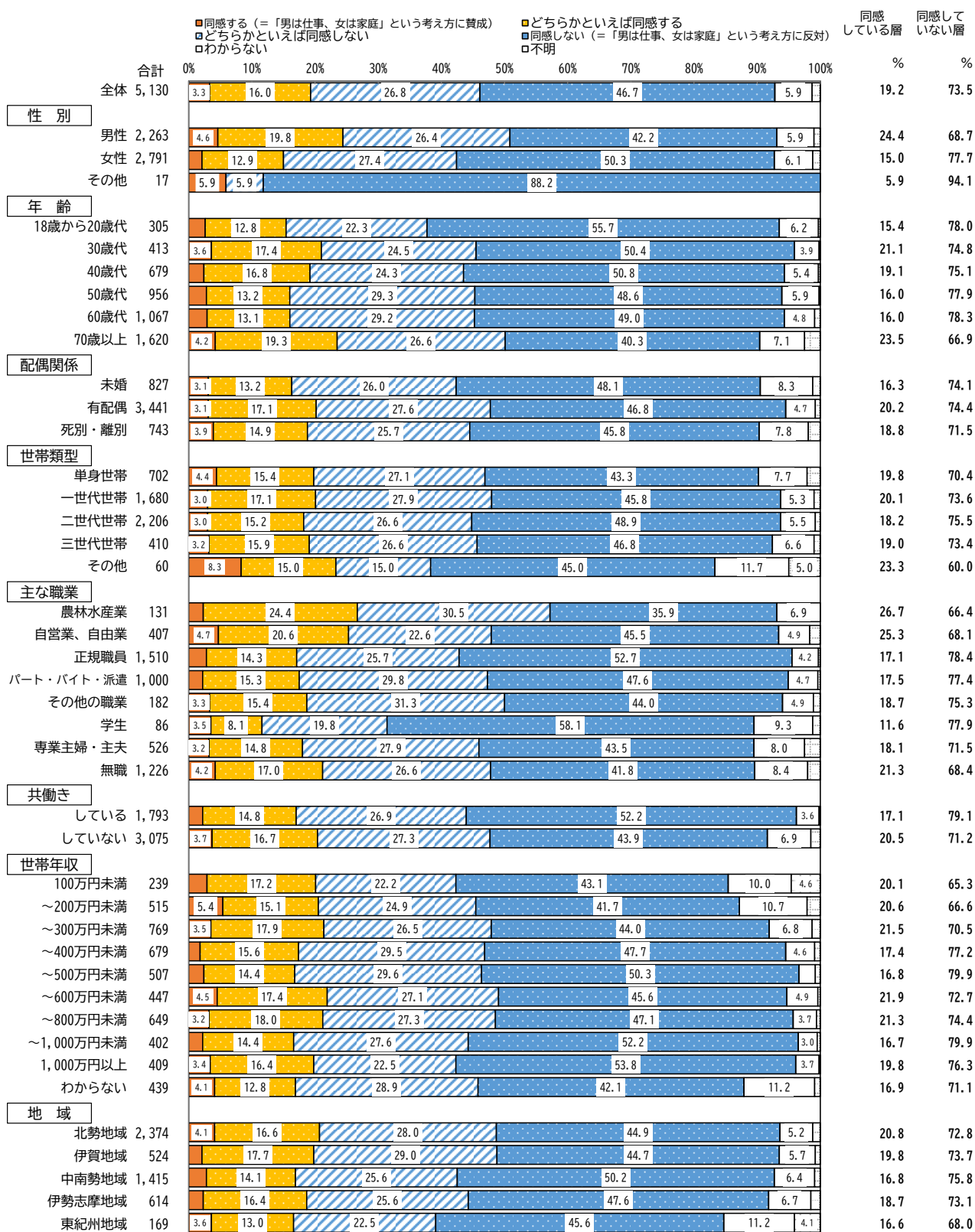
【年代別】

- すべての年代で「同感しない層」の割合が高くなっていますが、70歳以上では「同感しない層」の割合（66.9%）は他の年代より低く、唯一7割未満となっています。

【地域別】

- すべての地域で「同感しない層」の割合が高くなっていますが、東紀州地域では「同感しない層」の割合（68.0%）は他の地域より低く、唯一7割未満となっています。

図表 2-3-14 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うか（属性別）



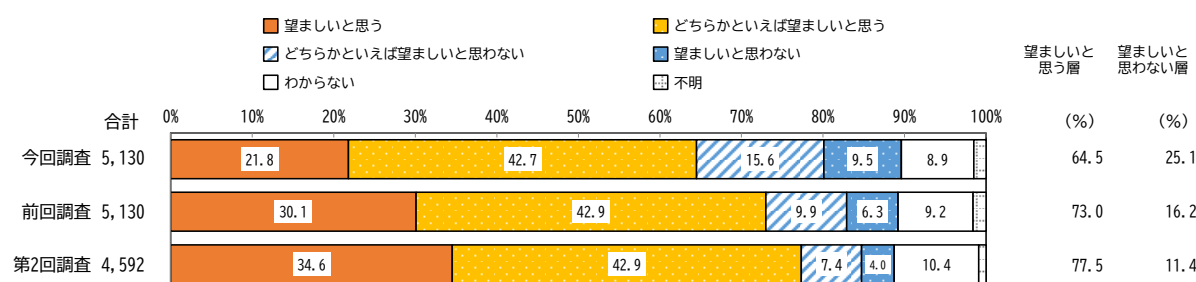
※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.6 共生社会について

問 12 あなたは、日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく共生社会についてどう思いますか。

- 共生社会についてどう思うかについて質問したところ、「望ましいと思う層」の割合が 64.5% で、「望ましいと思わない層」の割合（25.1%）より 39.4 ポイント高くなっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「望ましいと思う層」が 8.5 ポイント減少し、「望ましいと思わない層」が 8.9 ポイント増加しています。

図表 2-3-15 共生社会についてどう思うか



※「望ましいと思う層」の割合・・・「望ましいと思う」と「どちらかといえば望ましいと思う」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※「望ましいと思わない層」の割合・・・「望ましいと思わない」と「どちらかといえば望ましいと思わない」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※本質問の回答割合（%）は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別に関わらず「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、男性と比較して女性で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。

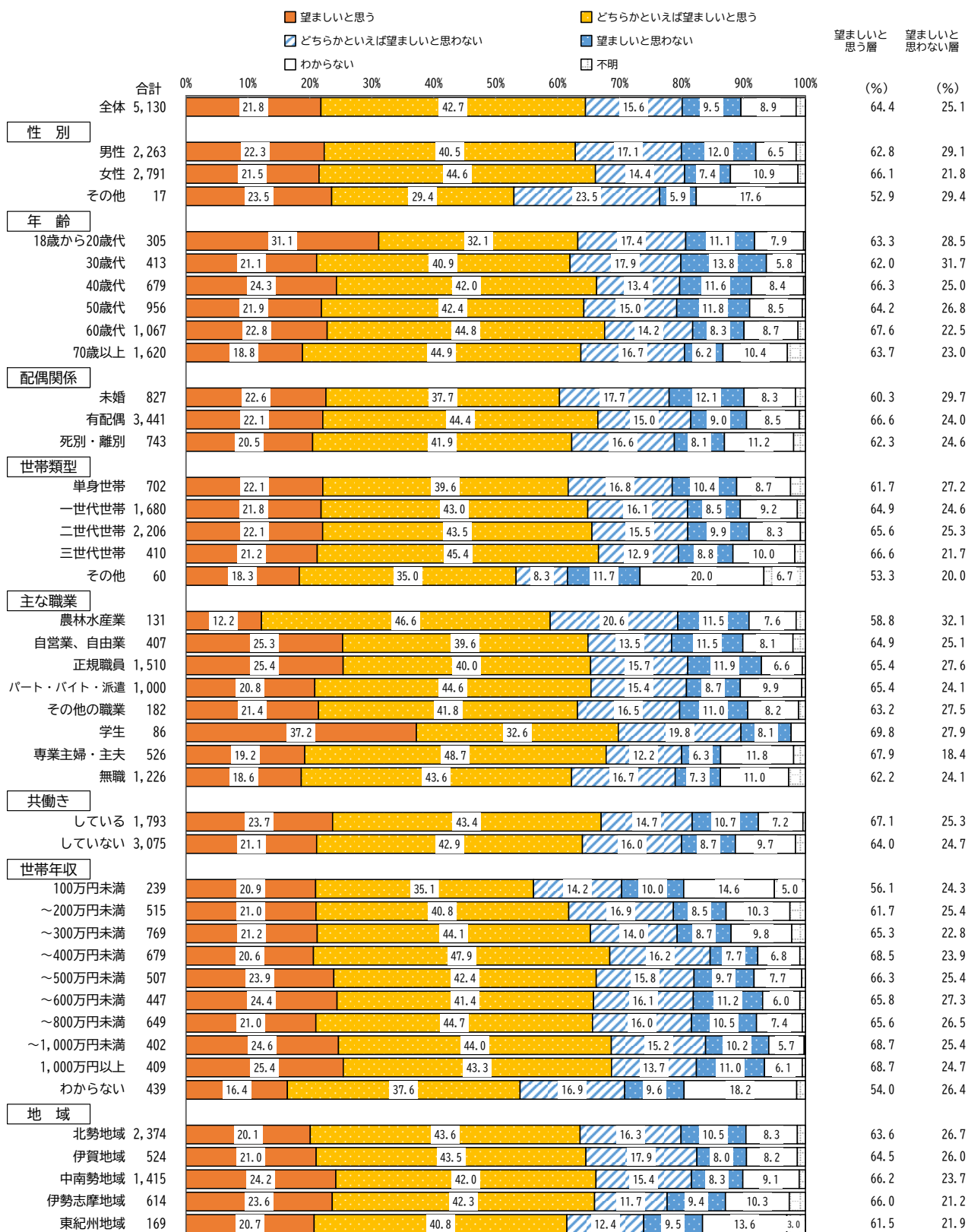
【年代別】

- すべての年代で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、「望ましいと思う層」の割合が高いのは 60 歳代（67.6%）で、最も低いのは 30 歳代（62.0%）となっています。

【地域別】

- すべての地域で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、「望ましいと思う層」の割合が最も高いのは中南勢地域（66.2%）で、最も低いのは東紀州地域（61.5%）となっています。

表 2-3-16 共生社会についてどう思うか（属性別）



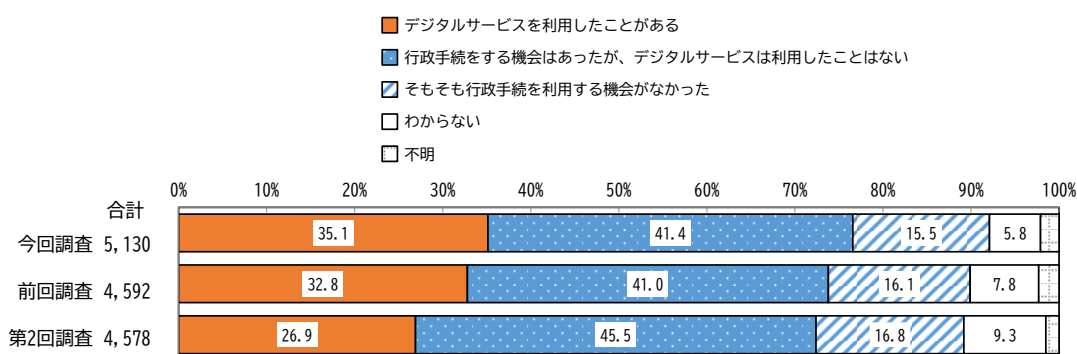
※本質問の回答割合（％）は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.7 デジタルの活用について

問13 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

- 行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはあるかについて質問したところ、「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が41.4%で最も高く、次いで「デジタルサービスを利用したことがある」(35.1%)、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(15.5%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、「デジタルサービスを利用したことがある」(35.1%)は第2回調査から増加傾向にあり、前回調査からは2.3ポイント増加しています。「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」(41.4%)は前回調査から0.4ポイント増加、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(15.5%)は0.6ポイント減少しています。

図表 2-3-17 行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか



※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっていますが、男性では「デジタルサービスを利用したことがある」の割合とほぼ同等となっています。

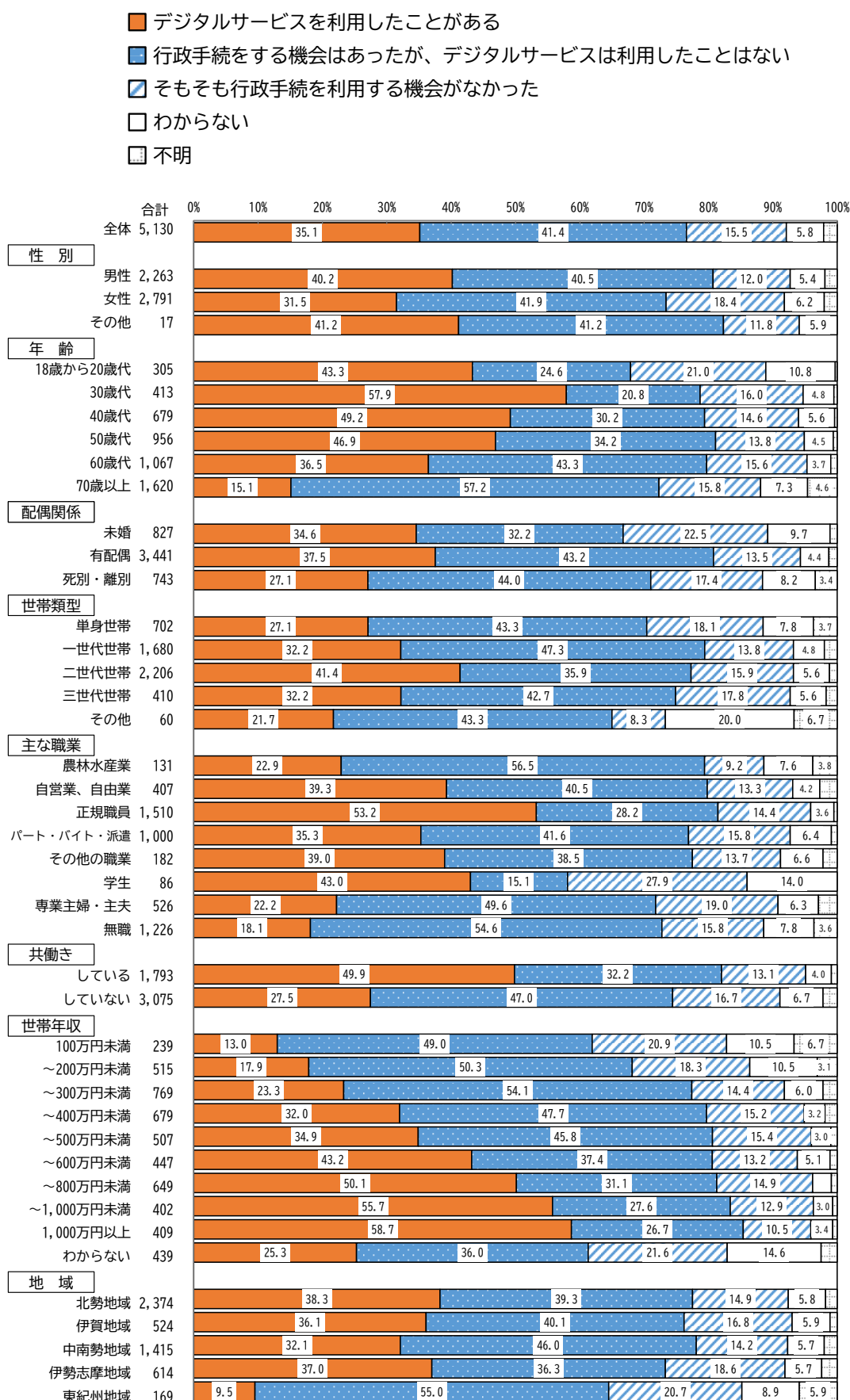
【年代別】

- 60歳代以上では「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高く、それ以外の年代では「デジタルサービスを利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

【地域別】

- 伊勢志摩地域以外で「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっています。「デジタルサービスを利用したことがある」の割合は、東紀州地域では9.5%と低くなっていますが、他の地域では3割台となっています。

図表 2-3-18 行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか（属性別）

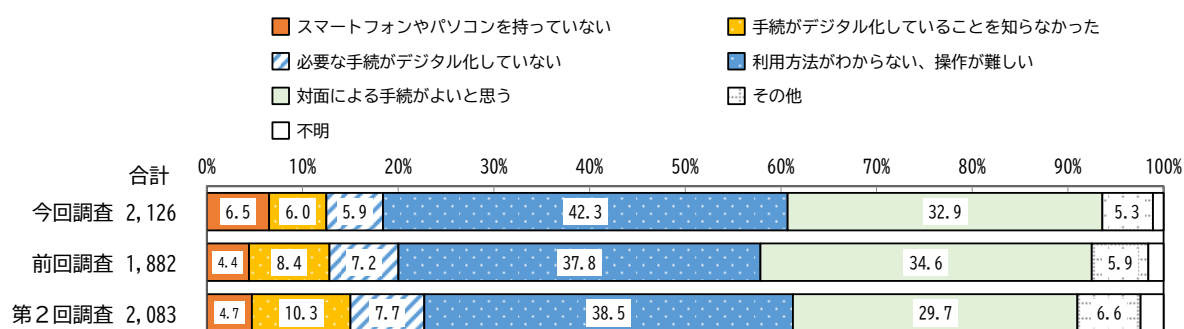


※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

問 13-2 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由は何ですか。

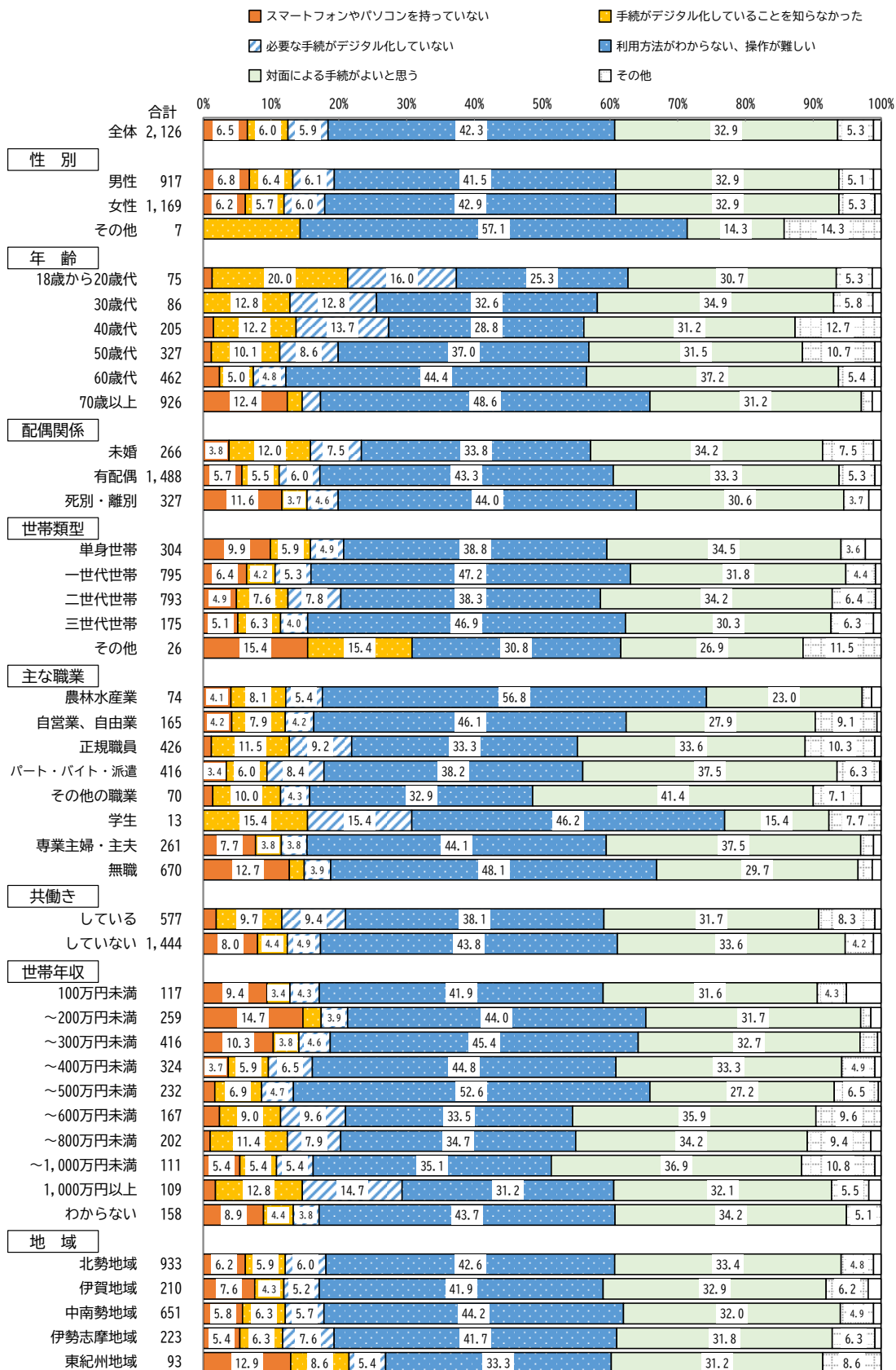
- 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由について質問したところ、「利用方法がわからない、操作が難しい」の割合が42.3%で最も高く、次いで「対面による手続きがよいと思う」(32.9%)、「スマートフォンやパソコンを持っていない」(6.5%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「利用方法がわからない、操作が難しい」(42.3%)は4.5ポイント、「スマートフォンやパソコンを持っていない」(6.5%)は2.1ポイント増加しています。一方、「手続きがデジタル化していることを知らなかった」(6.0%)は2.4ポイント、「対面による手続きがよいと思う」(32.9%)は1.7ポイント減少しています。

図表 2-3-19 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-3-20 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由（属性別）



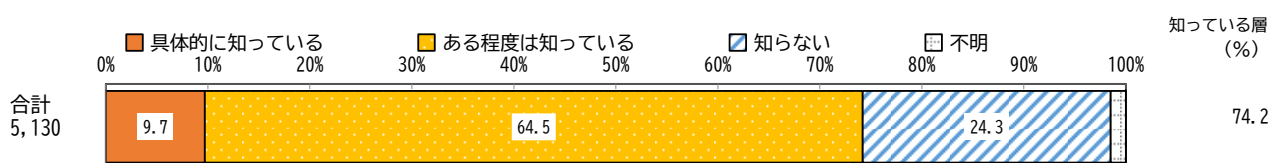
※本質問の回答割合（％）は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.8 災害について

問 14 三重県では南海トラフ地震や内陸直下型地震が発生した際の地震被害想定調査の結果を公表していますが、お住まいの地域における震度予測や津波浸水予測などの被害想定を知っていますか。

- お住まいの地域における震度予測や津波浸水予測などの被害想定を知っているかについて質問したところ、「知っている層」の割合が74.2%で、「知らない」の割合（24.3%）より49.9ポイント高くなっています。「知っている層」の内訳は、「ある程度は知っている」の割合が64.5%と高く、「具体的に知っている」の割合が9.7%となっています。

図表 2-3-21 お住まいの地域における震度予測や津波浸水予測などの被害想定認知度



※「知っている層」の割合・・・「具体的に知っている」と「ある程度は知っている」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※本質問の回答割合 (%) は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「知っている層」の割合が7割台となっていますが、「具体的に知っている」の割合は、男性の方が高くなっています。

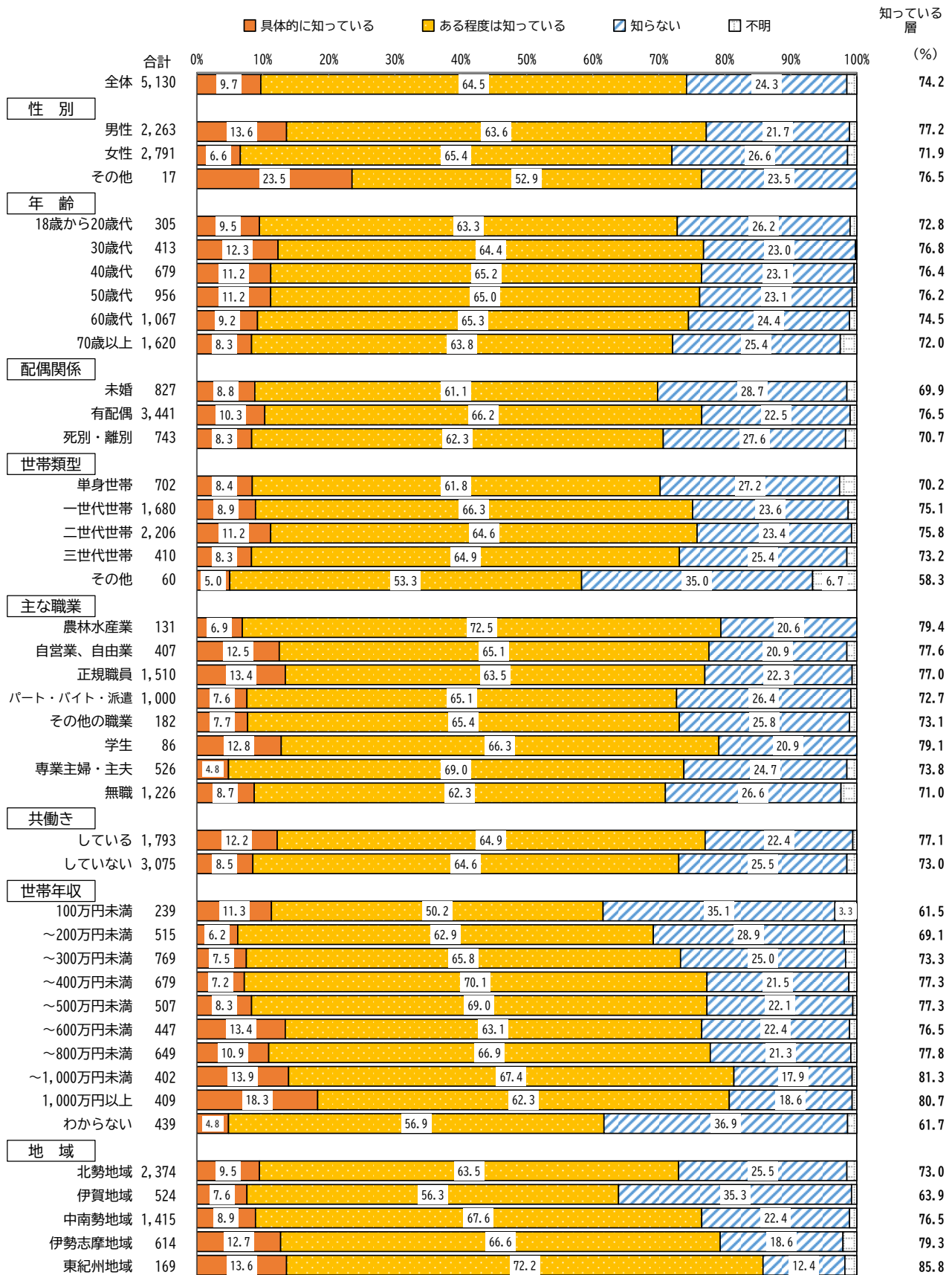
【年代別】

- すべての年代で「知っている層」の割合が7割台となっていますが、「具体的に知っている」の割合は、30歳代（12.3%）で最も高く、70歳以上（8.3%）で最も低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「知っている層」の割合が高くなっていますが、最も高い東紀州地域（85.8%）と最も低い伊賀地域（63.9%）で21.9ポイントの差がみられます。

図表 2-3-22 お住まいの地域における震度予測や津波浸水予測などの被害想定への認知度（属性別）



※本質問の回答割合（％）は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

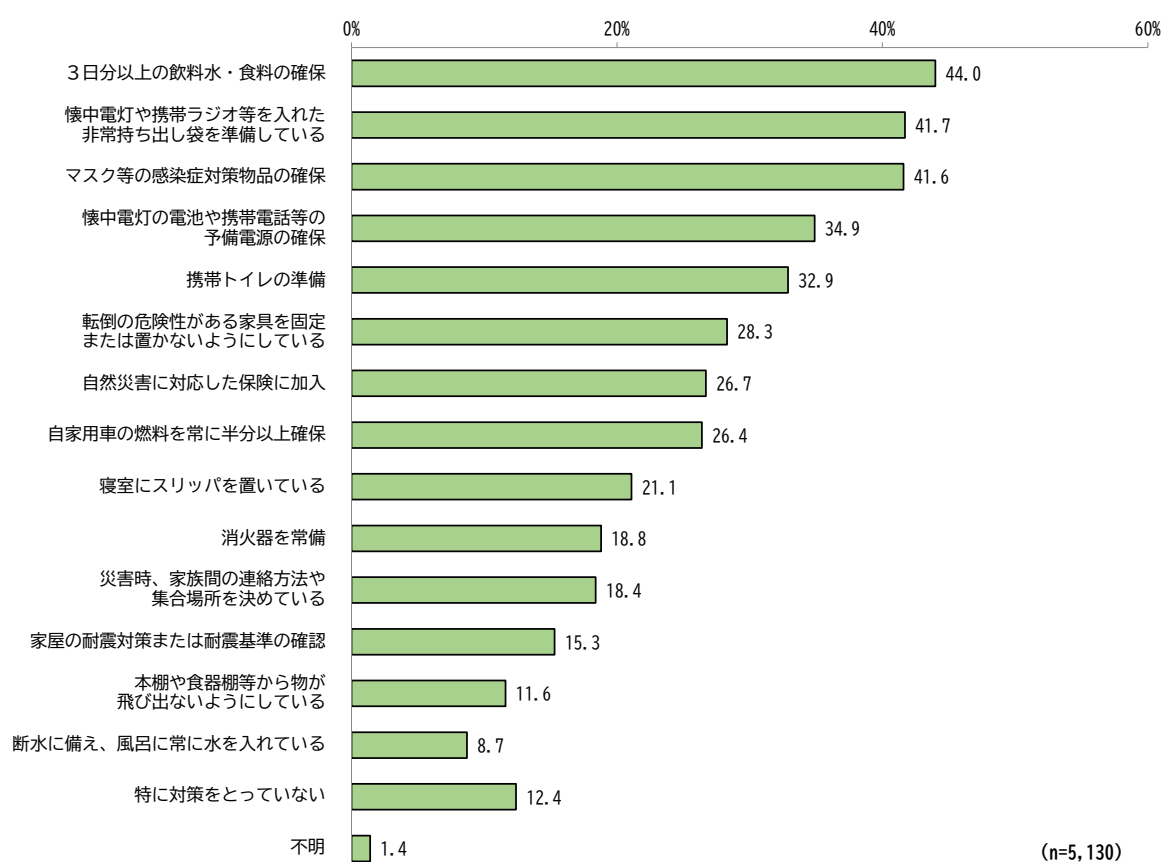
問 15 南海トラフ地震について三重県で大きな被害*が想定されています。災害から身を守るためにどのような防災対策を行っていますか。

*令和7年3月に公表された国の被害想定で、最大津波高2.6m、死者2.9万人。

(○はいくつでも)

- 被害から身を守るために行っている防災対策について質問したところ、「3日分以上の飲料水・食料の確保」の割合が44.0%で最も高く、次いで「懐中電灯や携帯ラジオ等を入れた非常持ち出し袋を準備している」(41.7%)、「マスク等の感染症対策物品の確保」(41.6%)となっています。

図表 2-3-23 災害から身を守るためにどのような防災対策を行っているか



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-3-24 災害から身を守るためにどのような防災対策を行っているか（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択該欄は回答割合（％）																
		合計	3日分以上の飲料水・食料の確保	懐中電灯や携帯ラジオ等を入れた非常持ち出し袋を準備している	懐中電灯の電池や携帯電話等の予備電源の確保	自家用車の燃料を常に半分以上確保	携帯トイレの準備	マスク等の感染症対策物品の確保	寝室にスリッパを置いている	消火器を常備	断水に備え、風呂に常に水を入れている	転倒の危険性がある家具を固定または置かないようにしている	本棚や食器棚等から物が飛び出ないようにしている	家屋の耐震対策または耐震基準の確認	自然災害に対応した保険に加入	災害時、家族間の連絡方法や集合場所を決めている	特に対策をとっていない	不明
全体		5,130	44.0	41.7	34.9	26.4	32.9	47.6	21.1	18.8	8.7	28.3	11.6	15.3	26.7	18.4	12.4	1.4
性別	男性	2,263	44.9	39.7	38.3	28.1	27.4	35.7	18.0	20.2	7.6	28.5	11.6	15.5	27.8	16.3	14.8	0.6
	女性	2,791	44.1	44.1	32.6	25.5	38.0	47.0	23.8	18.1	9.7	28.7	11.8	15.4	26.4	20.5	10.7	0.5
	その他	17	35.3	35.3	23.5	29.4	29.4	35.3	35.3	5.9	17.6	23.5	17.6	17.6	17.6	23.5	5.9	0.0
年齢	18歳から20歳代	305	37.7	37.4	24.3	12.5	24.3	30.5	21.0	8.5	4.3	16.4	12.1	7.5	12.8	17.4	20.0	0.0
	30歳代	413	46.2	41.9	32.9	18.4	40.2	32.7	17.9	7.7	2.7	18.2	10.7	19.4	20.6	18.2	13.1	0.2
	40歳代	679	45.5	42.0	38.7	21.1	40.9	39.0	16.6	10.6	6.5	26.2	11.2	19.3	26.2	26.4	14.4	0.0
	50歳代	956	43.0	41.0	35.1	27.8	34.2	38.5	18.7	14.9	8.1	23.3	11.1	16.1	23.1	21.2	13.1	0.1
	60歳代	1,067	45.7	42.7	38.4	31.9	35.6	45.0	22.9	23.1	9.7	32.6	11.7	13.5	31.6	14.8	10.8	0.5
	70歳以上	1,620	44.8	44.7	34.2	29.8	28.0	48.0	24.6	27.2	12.1	35.2	12.6	15.2	31.2	16.7	10.6	1.4
配偶関係	未婚	827	38.1	35.9	31.0	18.6	23.6	34.7	21.5	11.5	5.8	18.4	10.9	6.2	15.6	14.1	19.3	1.2
	有配偶	3,441	46.6	44.3	36.4	28.8	36.0	43.5	20.6	21.3	9.2	31.2	12.3	18.9	30.2	20.3	10.1	1.2
	死別・離別	743	39.0	36.9	33.0	24.9	29.7	42.1	22.7	16.3	9.2	26.0	9.3	9.7	23.6	16.3	14.5	1.6
世帯類型	単身世帯	702	40.7	37.7	34.5	25.4	27.6	41.5	24.1	17.2	8.4	25.5	11.3	8.4	21.9	11.1	15.1	0.7
	一世代世帯	1,680	47.6	44.4	36.4	28.9	34.5	44.9	22.7	23.0	9.9	33.7	12.6	16.6	30.2	18.0	9.6	0.6
	二世代世帯	2,206	43.5	42.2	35.2	25.6	35.0	39.7	19.4	16.5	7.8	26.7	12.2	17.2	27.0	21.0	13.5	0.5
	三世代世帯	410	46.1	47.0	34.4	28.5	29.3	44.6	21.7	19.3	10.2	25.6	8.3	14.6	24.9	22.2	12.0	0.2
	その他	60	33.3	33.3	18.3	10.0	26.7	33.3	18.3	18.3	6.7	16.7	3.3	10.0	16.7	16.7	25.0	5.0
主な職業	農林水産業	131	42.7	38.9	34.4	27.5	21.4	38.2	16.8	25.2	11.5	23.7	9.9	9.2	37.4	11.5	18.3	0.8
	自営業、自由業	407	46.4	41.0	37.6	32.4	32.7	40.5	22.4	23.6	9.6	24.6	13.0	15.0	22.9	20.6	13.3	1.0
	正規職員	1,510	45.3	43.0	36.2	24.6	35.6	35.5	19.5	13.0	6.6	24.9	10.6	18.8	26.3	19.8	13.7	0.0
	パート・バイト・派遣	1,000	42.9	40.9	33.1	25.8	37.0	42.8	20.2	16.5	8.1	26.2	11.0	12.5	25.9	20.8	12.1	0.4
	その他の職業	182	39.0	40.1	35.2	26.4	35.2	39.0	17.6	18.7	8.8	26.9	14.8	13.2	23.1	16.5	14.8	1.6
	学生	86	50.0	41.9	30.2	11.6	30.2	41.9	23.3	9.3	9.3	18.6	15.1	7.0	14.0	22.1	9.3	0.0
	専業主婦・主夫	526	47.0	43.9	37.1	29.5	40.3	53.4	27.9	24.0	12.0	37.8	15.6	21.5	32.1	20.3	8.4	0.6
	無職	1,226	43.6	42.3	34.5	27.9	25.5	45.4	22.1	25.0	10.0	33.9	11.2	13.0	28.5	14.8	12.1	1.1
共働き	している	1,793	46.2	45.0	37.3	27.2	40.4	39.9	19.1	16.7	8.2	27.0	11.5	19.5	28.8	21.6	11.0	0.2
	していない	3,075	43.8	40.4	34.0	26.5	29.7	42.9	22.3	20.5	9.1	30.1	12.2	13.4	26.4	17.3	13.2	0.7
世帯年収	100万円未満	239	39.3	36.4	29.7	20.9	25.9	43.9	22.2	18.8	11.3	24.3	9.2	9.6	18.4	12.6	14.6	3.3
	～200万円未満	515	41.6	43.1	30.7	24.7	25.0	40.6	20.0	19.4	8.3	26.4	7.8	7.2	19.4	15.0	13.8	2.5
	～300万円未満	769	41.0	40.7	33.8	28.3	27.8	42.5	22.1	22.2	9.6	30.6	12.6	11.6	27.0	15.3	12.7	1.7
	～400万円未満	679	44.5	43.4	38.4	27.1	30.5	44.9	21.4	22.4	10.3	30.5	12.1	15.3	29.0	20.2	10.0	1.0
	～500万円未満	507	45.6	41.8	39.6	32.5	31.6	39.3	20.1	20.3	8.1	30.8	13.2	14.8	29.4	19.1	12.8	1.6
	～600万円未満	447	45.6	39.1	34.7	26.0	39.8	42.1	24.6	18.1	9.2	28.4	11.4	20.8	31.5	19.7	12.8	0.4
	～800万円未満	649	44.7	43.1	35.4	26.3	38.5	39.9	20.0	15.6	6.2	27.1	12.6	17.6	29.9	18.6	11.4	0.6
	～1,000万円未満	402	48.8	47.5	39.1	27.4	41.0	42.0	18.2	14.7	9.7	32.8	10.7	21.6	27.6	23.6	11.7	0.0
	1,000万円以上	409	54.3	46.9	42.3	27.1	45.2	43.0	23.0	20.0	5.9	27.4	12.7	26.7	33.0	22.2	8.3	0.0
	わからない	439	36.9	33.0	23.5	19.4	28.7	37.6	21.2	14.8	9.3	21.9	12.1	9.6	17.8	19.4	18.7	1.6
地域	北勢地域	2,374	45.5	42.3	37.3	26.6	36.7	42.2	22.3	18.9	9.9	29.7	12.4	15.5	26.2	18.9	11.3	1.3
	伊賀地域	524	40.5	36.5	31.1	21.9	24.2	40.5	17.7	20.0	10.9	22.1	7.4	13.9	30.3	17.6	14.5	1.3
	中南勢地域	1,415	43.0	40.4	33.9	27.4	30.7	41.4	20.4	20.1	6.9	27.9	11.9	15.8	26.2	17.9	13.0	1.1
	伊勢志摩地域	614	44.3	44.5	31.8	26.1	34.7	40.7	20.5	16.3	6.5	29.2	11.7	15.8	26.9	20.0	13.4	2.0
	東紀州地域	169	45.6	50.3	34.3	31.4	22.5	47.4	22.5	16.6	10.1	31.4	11.2	11.2	30.8	14.8	11.2	2.4

※凡例： ■第1位 ■第2位 ■第3位

※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

Ⅱ 集計結果

4. 結婚や子ども・子育て について

4. 結婚や子ども・子育てについて

これまでの調査の結果から、「家族」や「結婚」、「子どもを持つこと」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなえられるようにしていく必要があります。

ここでは、「結婚に対する考え方」や「子ども・子育て」などの集計結果について記載しています。

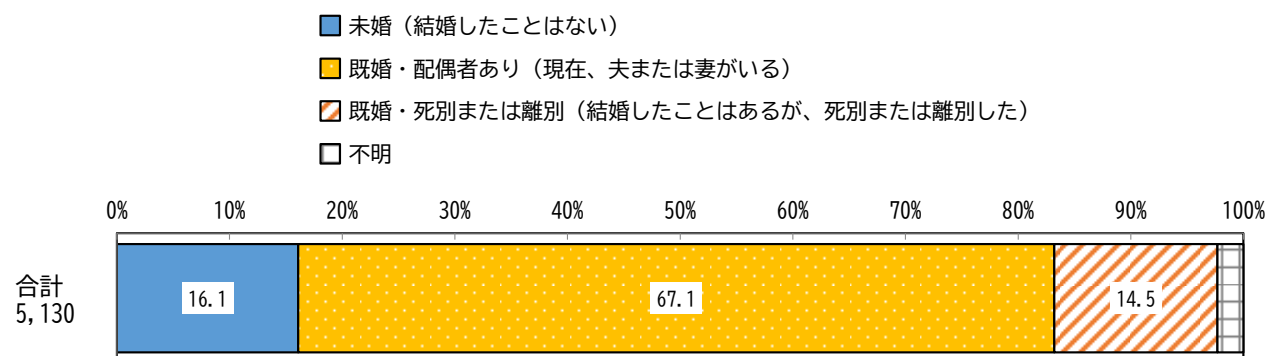
項目	質問文の概要
結婚経験 (問3)	これまでに結婚をしたことがあるか
結婚に対する 考え方 (問3-2)	(問3で「未婚」と回答した方へ) 今後の人生を通して考えた場合、結婚に対する考えは、次のうちどちらか (1) いずれ結婚するつもり (2) 結婚するつもりはない
結婚していない理由 (問3-3)	現在、結婚していない理由は何か
結婚相手を探すための方法 (問3-4)	結婚相手を探すためにしていること、もしくはしようとしていることはあるか
「結婚するつもりはない」と考える理由 (問3-5)	(問3-2で「結婚するつもりはない」と回答した方へ) 「結婚するつもりはない」と考える理由は何か
理想の子どもの人数 (問4)	子どもを何人くらいほしいか、あるいは、ほしかったか
実際の子どもの人数 (問4-2)	子どもの有無
同居している末子の年齢 (問4-3)	同居されているお子さんの内、一番下の方の年齢あるいは学齢
実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由 (問4-4)	実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由
子育てと仕事の両立について (問5)	子育てと仕事を両立する上で必要だと思う対策

4.1 結婚について

問3 あなたは、これまでに結婚したことはありますか。

- 回答者の配偶関係は、「未婚」が16.1%、「有配偶」が67.1%、「死別または離別」が14.5%となっています。

図表 2-4-1 配偶関係

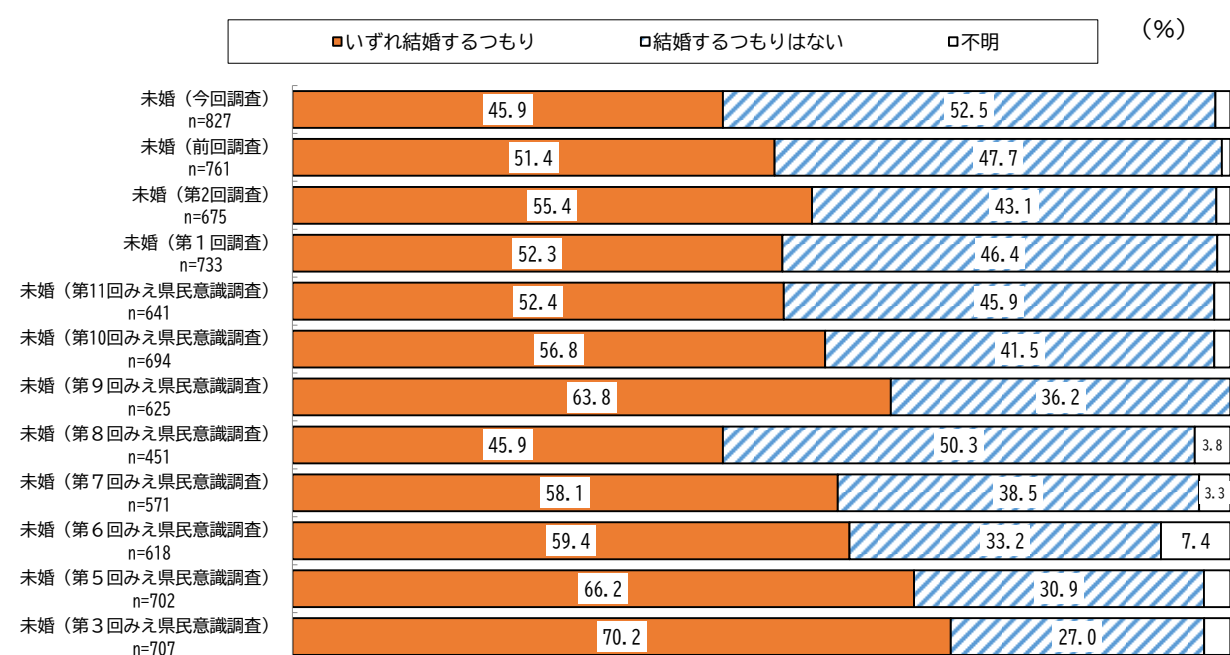


※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

問3-2 これまでに結婚したことがない方 (問3で「未婚」を選んだ方) におきします。 今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

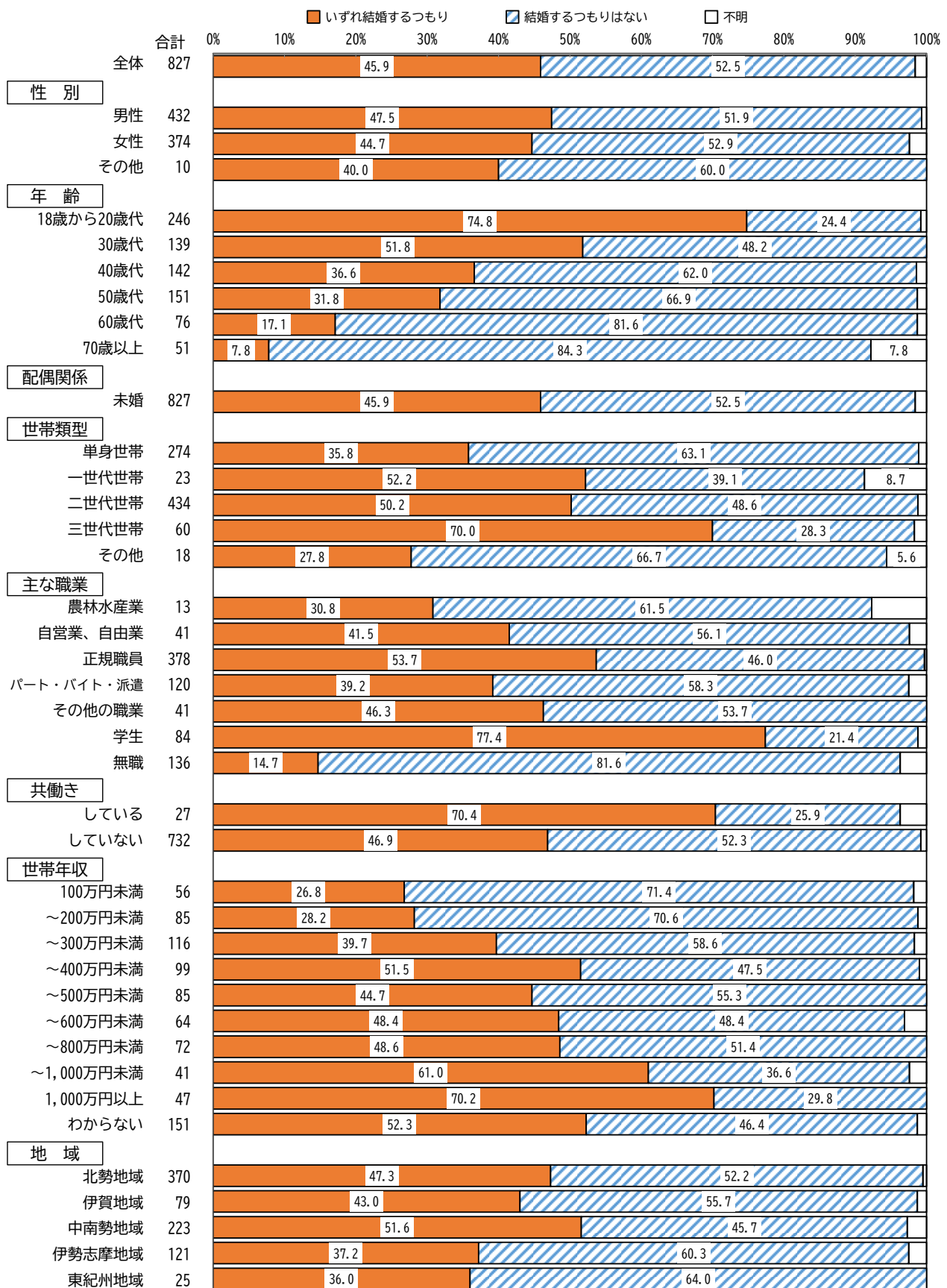
- 結婚に対する考え方について、未婚の方は「いずれ結婚するつもり」が45.9%、「結婚するつもりはない」が52.5%となっています。

図表 2-4-2 未婚の方の結婚に対する考え方



※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-4-3 未婚の方の結婚に対する考え方（属性別）



※本質問の回答割合（％）は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

※グラフのない項目は、該当がないかサンプル数が10未満のため、公表を差し控えたものです。

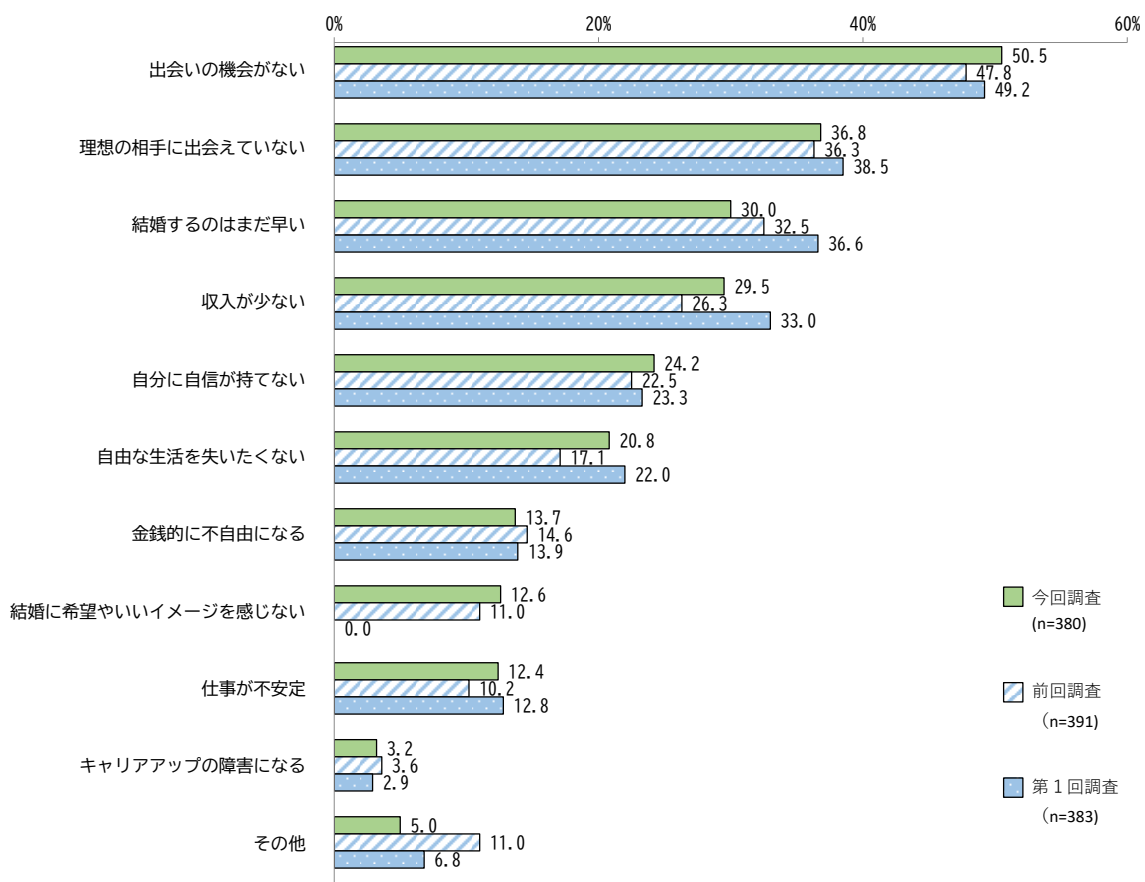
問 3-3 問 3 で「いずれ結婚するつもり」を選んだ方におききします。

現在、結婚していない理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

- 現在、結婚していない理由について、「出会いの機会がない」が 50.5%、「理想の相手に出会えていない」が 36.8%となっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「自由な生活を失いたくない」が 3.7 ポイント、「収入が少ない」が 3.2 ポイント増加しています。

図表 2-4-4 現在、結婚していない理由



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

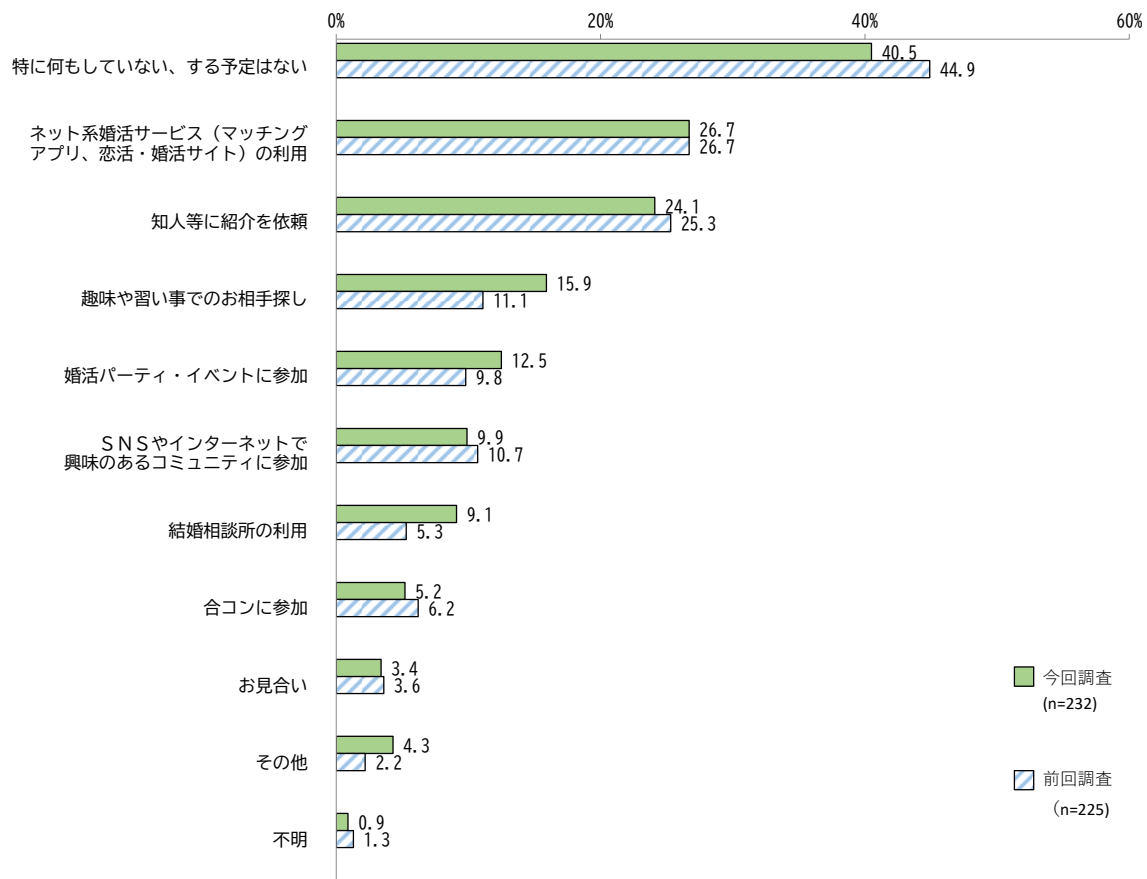
問 3-4 問 3—3で「出会いの機会がない」または「理想の相手に出会えていない」を選んだ方におきします。

ご自身がお相手を探すためにしていること、もしくはしようとしていることはありますか。

(〇はいくつでも)

- 結婚相手を探すための方法について、「特に何もしていない、する予定はない」が40.5%、「ネット系婚活サービス（マッチングアプリ、恋活・婚活サイト）の利用」が26.7%、「知人等に紹介を依頼」が24.1%となっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「特に何もしていない、する予定はない」が4.4ポイント低く、「趣味や習い事でのお相手探し」が4.8ポイント高くなっています。

図表 2-4-5 結婚相手を探すための方法



※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

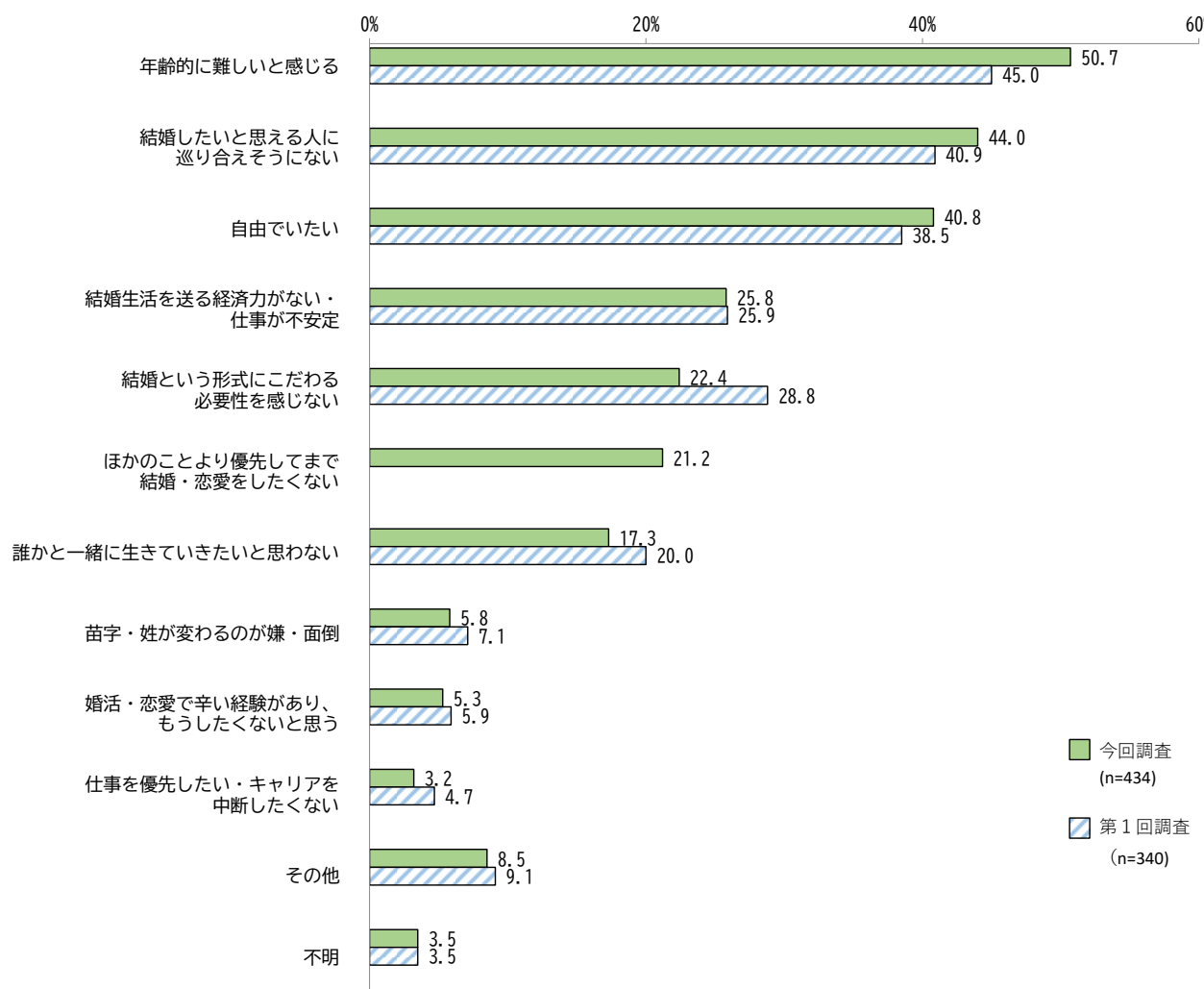
問 3-5 問 3—2 で「結婚するつもりはない」を選んだ方におききします。

「結婚するつもりはない」と考える理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

- 結婚するつもりはない理由について、「年齢的に難しいと感じる」が50.7%で最も高く、次いで「結婚したいと思える人に巡り合えそうにない」(44.0%)、「自由でいたい」(40.8%)となっています。
- 第1回調査と比較すると、「年齢的に難しいと感じる」が5.7ポイント高く、「結婚という形式にこだわる必要性を感じない」が6.4ポイント低くなっています。

図表 2-4-6 結婚するつもりはない理由



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

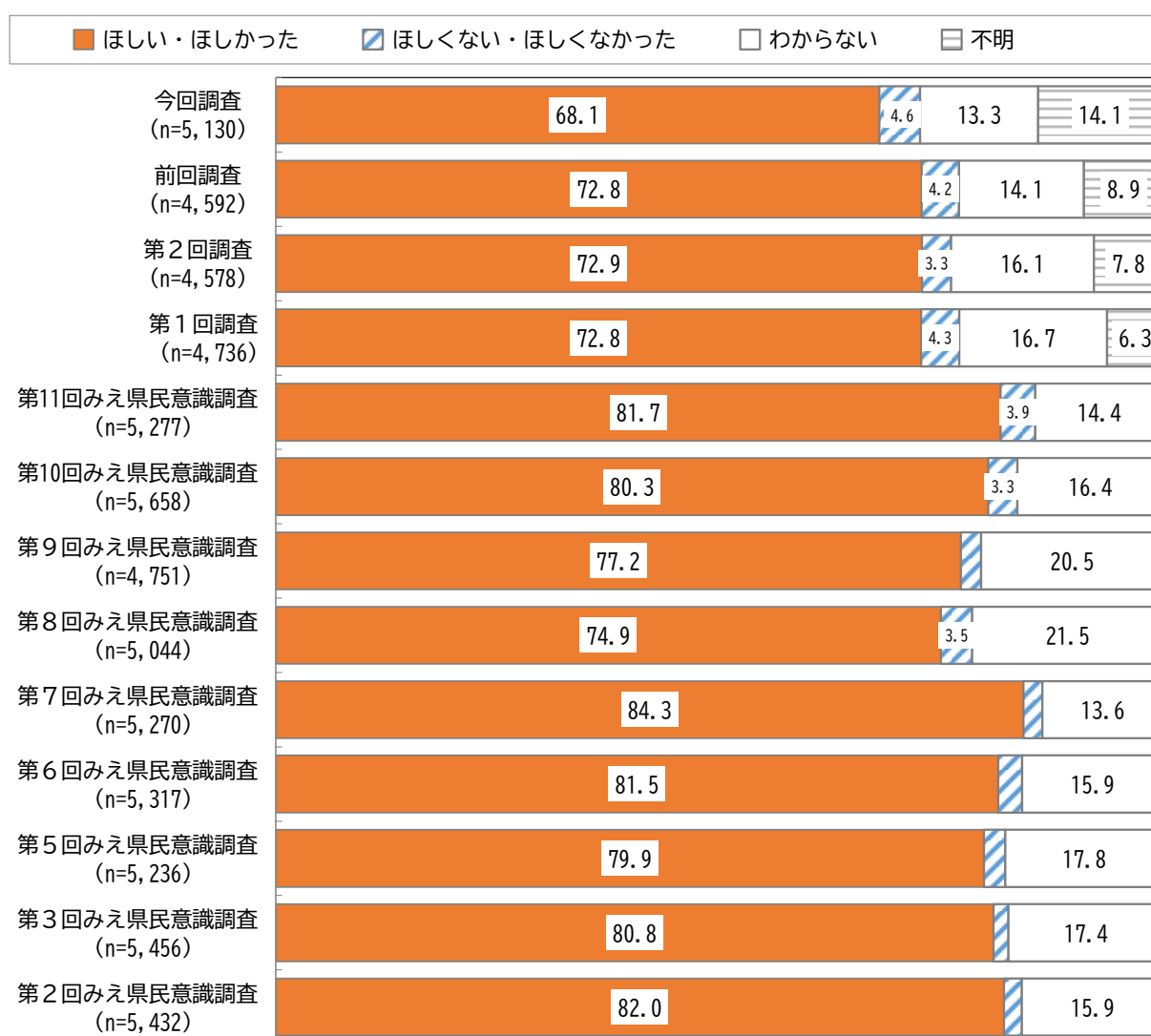
4.2 子ども・子育て支援について

問4 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子ども的人数をお答えください。

➤ 子どもを希望する割合

○ 子どもの希望を質問したところ、「ほしい・ほしかった」の割合は68.1%で、前回調査より4.7ポイント低くなっています。

図表 2-4-7 子どもを希望する割合

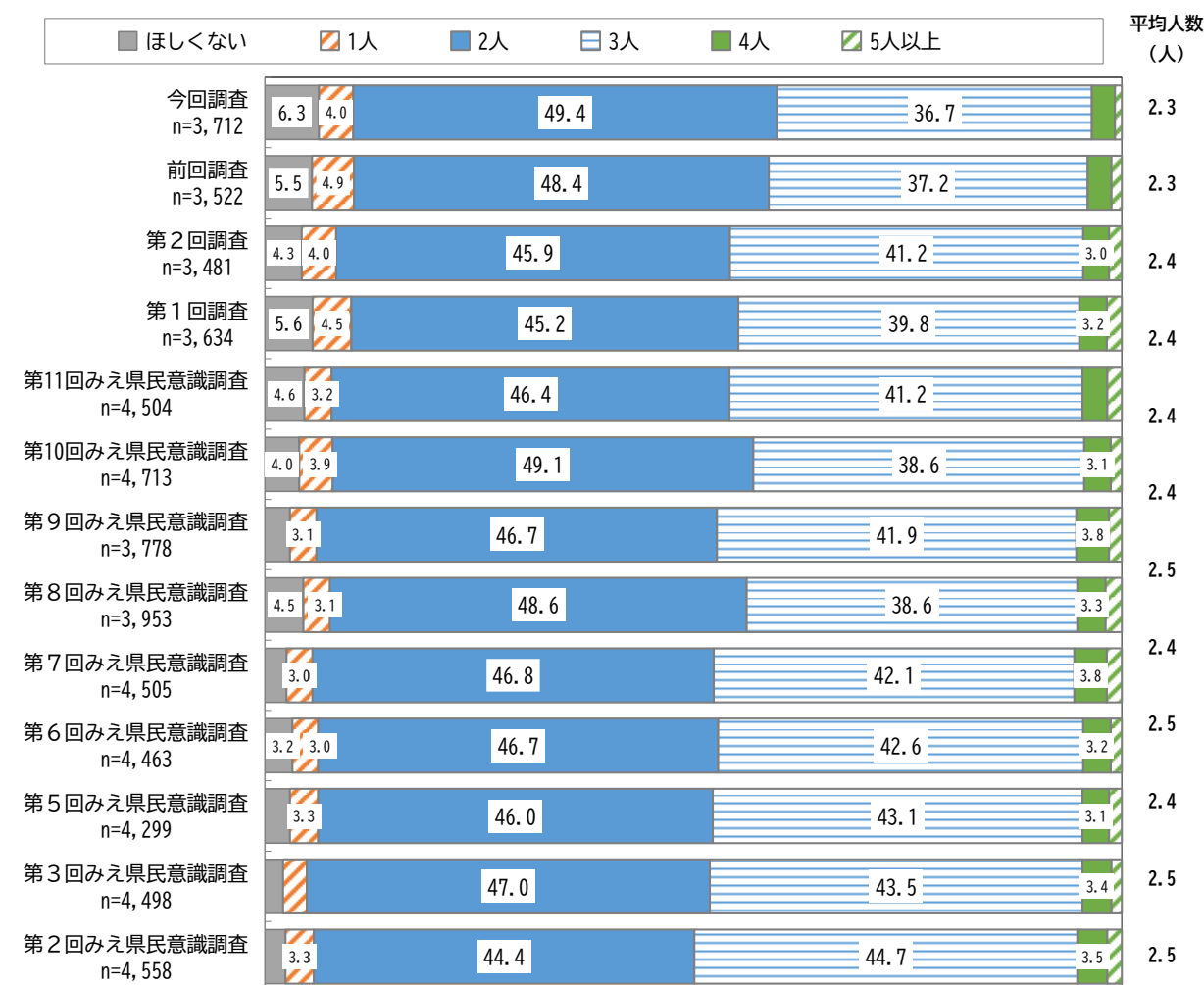


※第11回みえ県民意識調査以前は「わからない」と「不明」を合算し、「わからない」で計上

➤ 理想の子ども数

- 理想の子ども数について、「2人」の割合が49.4%で最も高く、次いで「3人」(36.7%)となっています。過去の調査と比較すると、前回調査から「2人」の割合が1.0ポイント、「ほしくない」の割合が0.8ポイント高くなっています。

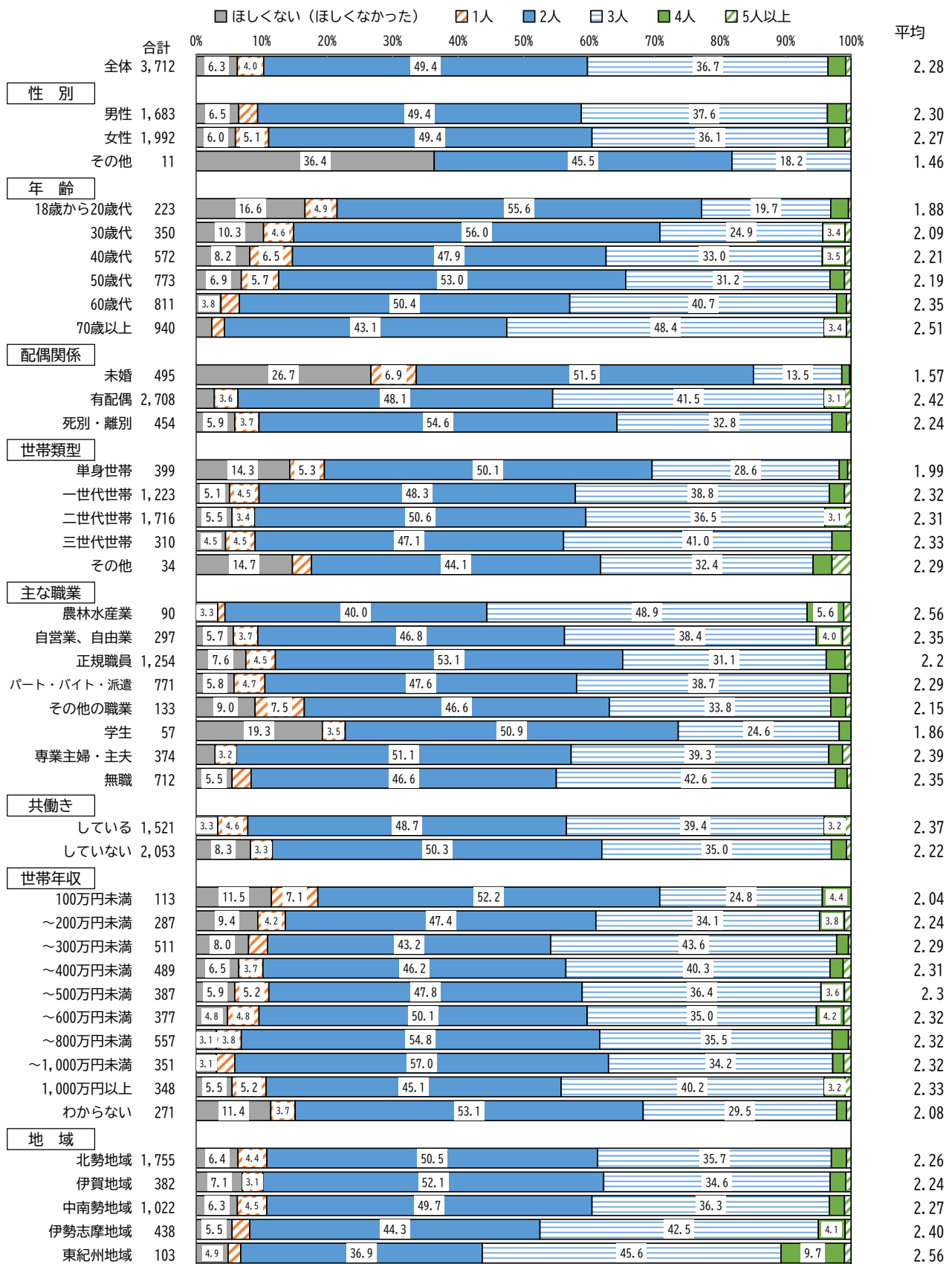
図表 2-4-8 理想の子ども数の推移



※理想の子ども人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出

※平均値は、「ほしくない」の回答を「0人」として算出

図表 2-4-9 理想の子どもの数（属性別）



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出

※平均値は、「ほしくない」の回答を「0人」として算出

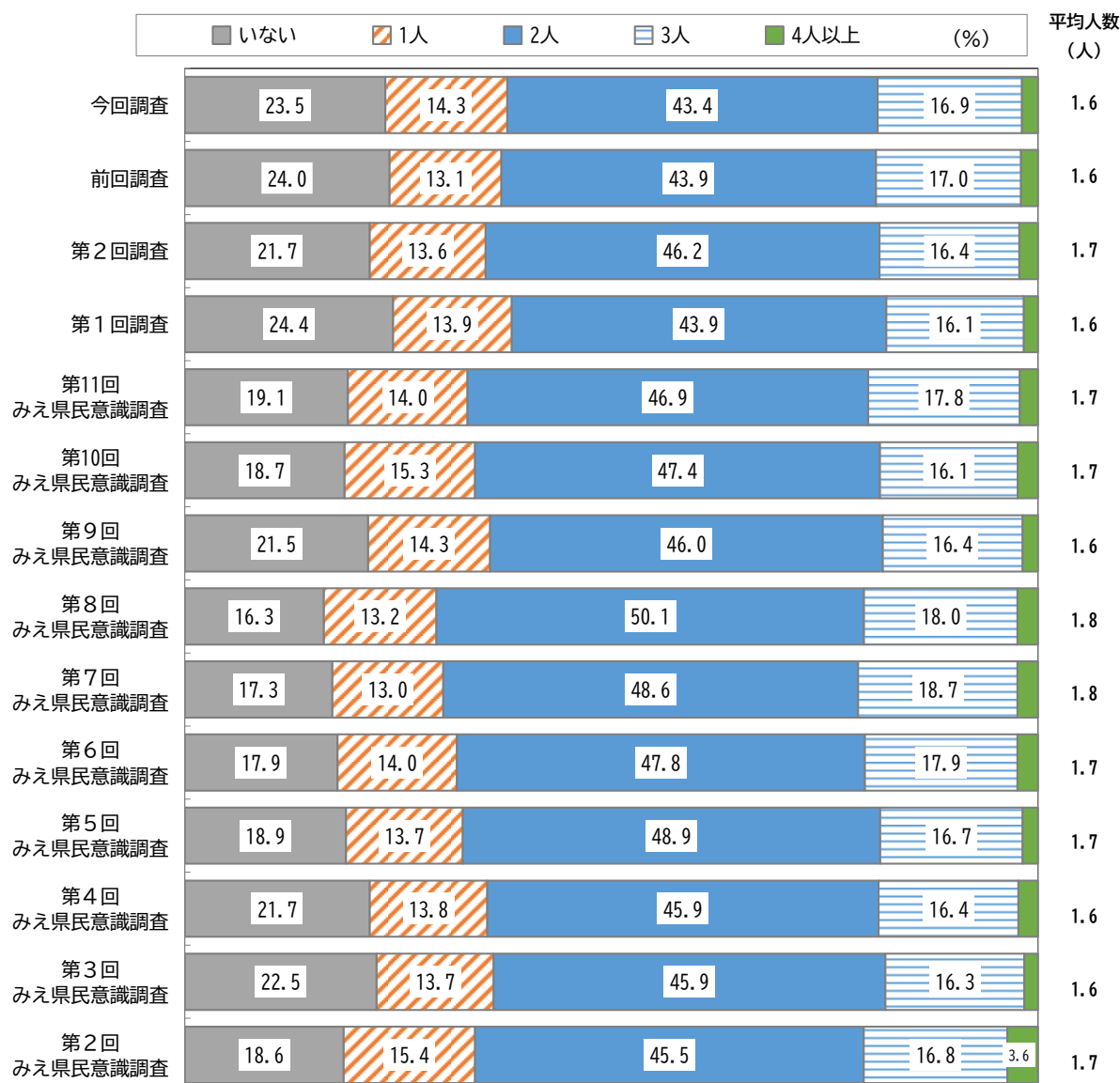
問 4-2 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

➤ 子どもの数

○ 実際の子どもの数を質問したところ、「2人」が43.4%、「いない」が23.5%、「3人」が16.9%、「1人」が14.3%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.6人で、前回調査と同水準となっています。

図表 2-4-10 子どもの数

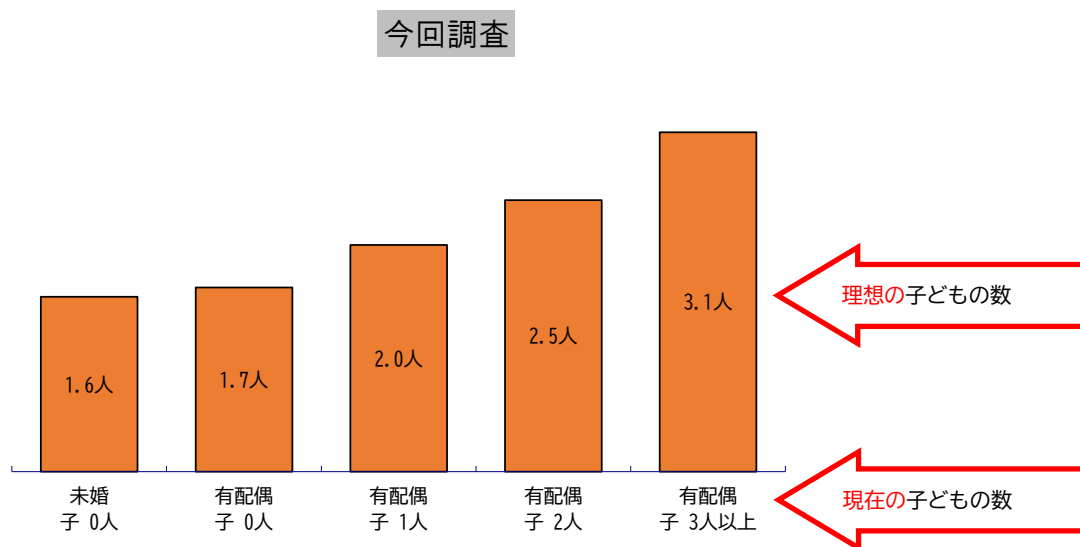


※「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出

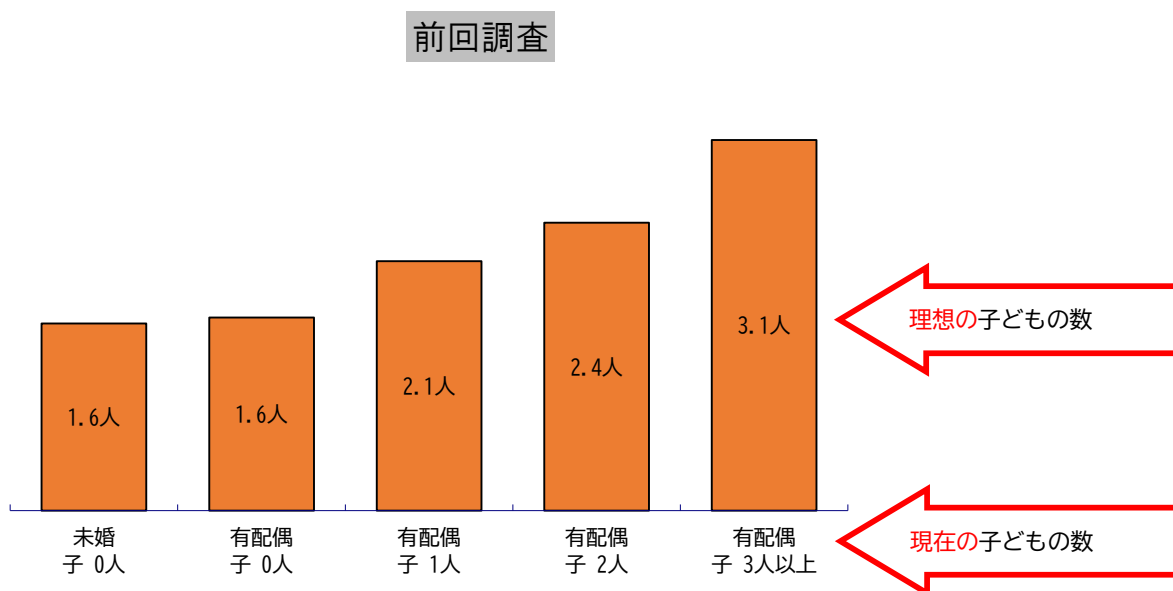
子どもの数の理想と現実のギャップ（参考集計）

- 18歳以上から40歳代を対象に実際の子どもの数と理想の子どもの数の関係を見たところ、理想の子どもの数は、未婚で子どもがいない層で1.6人、有配偶で子どもがいない層で1.7人、有配偶で子ども1人の層は2.0人、有配偶で子ども2人の層は2.5人で、実際の子どもの数は理想の数より少なくなっています。また、前回調査と比べると、理想の子どもの数は、有配偶で子どもがいない層と有配偶で子ども2人の層でそれぞれ0.1人増加し、有配偶で子ども1人の層で0.1人減少しています。

図表 2-4-11 18歳以上から40歳代の子どもの数の理想と現実（今回調査）



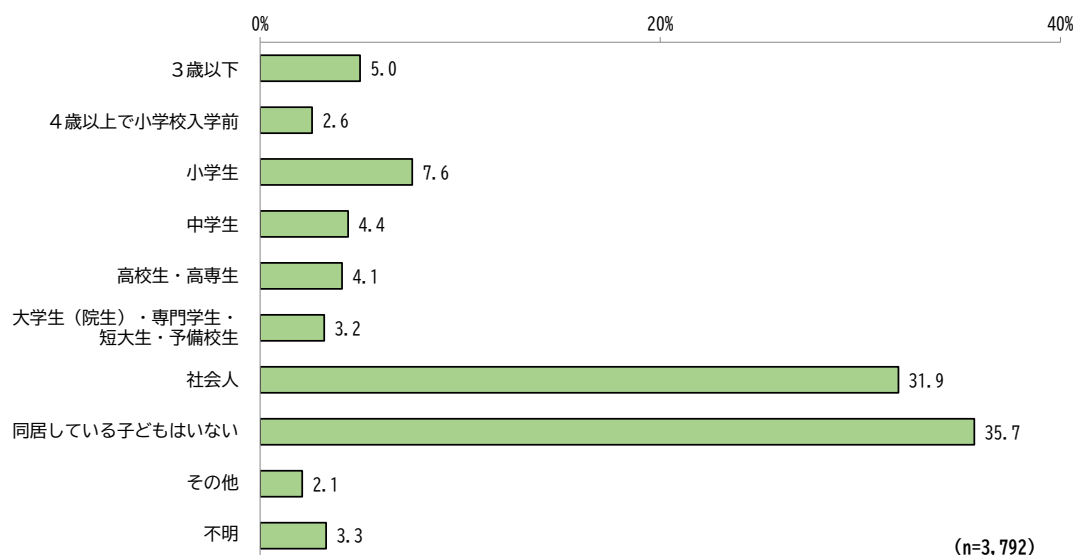
図表 2-4-12 18歳以上から40歳代の子どもの数の理想と現実（前回調査）



問 4-3 問4－2で「子どもがいる」を選んだ方におききします。同居されているお子さんの内、一番下の方の年齢あるいは学齢をお答えください。

○ 同居している子のうち一番下の方の年齢あるいは学齢について、「同居している子どもはいない」の割合が35.7%で最も高く、次いで「社会人」(31.9%)、「小学生」(7.6%)となっています。

図表 2-4-13 同居している末子の年齢



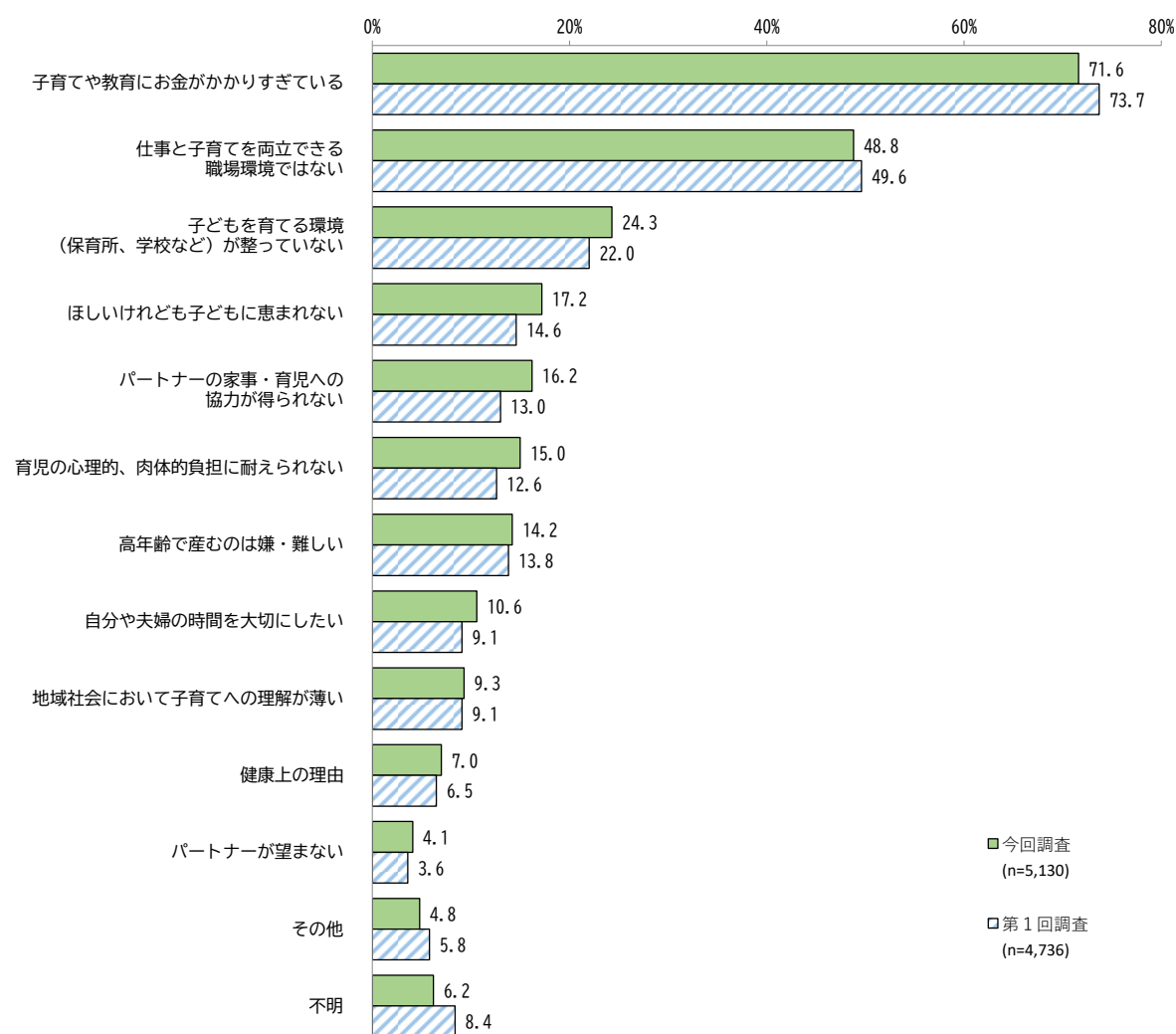
※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

問 4-4 これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少ないという傾向がでています。この理由として、あてはまると思うものに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない主な理由を質問したところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎている」の割合が71.6%で最も高く、次いで「仕事と子育てを両立できる職場環境ではない」(48.8%)、「子どもを育てる環境(保育所、学校など)が整っていない」(24.3%)となっています。
- 第1回調査と比較すると、「パートナーの家事・育児への協力が得られない」が3.2ポイント、「ほしいけれども子どもに恵まれない」が2.6ポイント高くなっています。

図表 2-4-14 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由



※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

図表 2-4-15 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）													
		合計	子育てや教育にお金がかかりすぎている	仕事と子育てを両立できる職場環境ではない	子どもを育てる環境（保育所、学校など）が整っていない	ほしいけれども子どもに恵まれない	高年齢で産むのは嫌・難しい	パートナーの家事・育児への協力が得られない	育児の心理的、肉体的負担に耐えられない	自分や夫婦の時間を大切にしたい	地域社会において子育てへの理解が薄い	健康上の理由	パートナーが望まない	その他	不明
全体		5,130	71.6	48.8	24.3	17.2	14.2	16.2	15.0	10.6	9.3	7.0	4.1	4.8	6.2
性別	男性	2,263	72.8	45.2	22.4	15.2	12.5	8.3	12.6	11.4	8.9	6.0	5.4	5.0	5.2
	女性	2,791	71.0	52.0	25.9	18.8	15.7	22.7	17.1	10.0	9.6	7.8	3.0	4.6	6.5
	その他	17	64.7	52.9	29.4	23.5	17.6	17.6	35.3	5.9	17.6	17.6	17.6	23.5	0.0
年齢	18歳から20歳代	305	82.3	58.4	29.5	18.7	10.8	16.4	28.9	19.0	14.4	6.6	8.2	3.9	1.3
	30歳代	413	75.5	57.9	33.4	23.7	22.3	20.6	30.3	22.0	17.7	9.9	6.3	4.6	1.7
	40歳代	679	75.0	56.8	26.7	24.7	27.7	20.9	23.7	14.0	12.7	9.9	5.7	4.6	1.2
	50歳代	956	72.6	50.6	24.4	22.2	18.5	18.0	15.0	9.8	6.8	7.8	4.3	5.5	2.4
	60歳代	1,067	75.6	51.1	28.0	17.1	11.2	16.7	12.1	7.6	7.5	6.3	4.0	4.6	3.6
	70歳以上	1,620	64.9	39.3	17.7	9.6	6.9	11.9	7.1	7.3	7.2	5.3	2.1	4.9	13.4
	70歳以上	1,620	64.9	39.3	17.7	9.6	6.9	11.9	7.1	7.3	7.2	5.3	2.1	4.9	13.4
配偶関係	未婚	827	68.8	50.1	27.6	17.5	23.3	16.0	23.6	13.7	12.8	10.3	5.8	5.4	6.5
	有配偶	3,441	74.3	50.4	25.0	18.3	13.0	16.4	14.3	10.7	8.9	6.2	4.0	4.3	4.2
	死別・離別	743	65.7	43.1	19.1	13.1	11.4	16.3	10.0	7.1	8.2	7.4	3.2	6.2	11.6
世帯類型	単身世帯	702	63.7	43.0	20.5	11.8	14.5	13.8	11.1	7.8	8.5	7.8	4.4	6.3	12.8
	一世代世帯	1,680	69.8	47.5	22.4	18.2	11.5	14.5	12.4	10.7	6.7	6.2	3.8	4.3	5.5
	二世代世帯	2,206	75.6	52.1	27.9	18.5	17.0	17.8	18.2	11.5	11.6	7.4	4.4	4.5	3.8
	三世代世帯	410	77.6	50.2	22.0	16.6	10.7	20.2	17.6	10.5	10.5	6.8	3.7	5.4	4.9
	その他	60	50.0	43.3	18.3	15.0	16.7	18.3	11.7	11.7	3.3	11.7	6.7	6.7	18.3
	その他	60	50.0	43.3	18.3	15.0	16.7	18.3	11.7	11.7	3.3	11.7	6.7	6.7	18.3
主な職業	農林水産業	131	67.2	45.8	19.1	13.0	8.4	12.2	10.7	9.9	6.1	2.3	3.8	0.0	10.7
	自営業、自由業	407	72.0	47.7	23.3	19.2	15.5	12.8	12.8	11.5	8.4	6.9	3.7	6.9	3.9
	正規職員	1,510	75.8	54.4	27.7	22.0	18.8	15.4	18.7	13.1	10.5	6.2	5.7	5.0	1.7
	パート・バイト・派遣	1,000	75.7	52.9	24.9	17.8	15.1	22.1	17.6	10.5	9.5	7.1	4.3	4.2	3.3
	その他の職業	182	65.9	45.6	25.3	19.8	15.9	14.3	15.9	10.4	12.6	11.0	3.3	3.8	3.3
	学生	86	81.4	60.5	36.0	14.0	11.6	16.3	29.1	22.1	16.3	9.3	9.3	5.8	1.2
	専業主婦・主夫	526	70.5	48.5	24.5	16.0	13.1	24.7	14.1	8.2	8.9	8.2	2.7	4.6	6.7
	無職	1,226	64.8	39.6	19.7	11.2	8.6	10.8	9.3	7.6	7.4	7.3	2.9	5.3	13.9
	無職	1,226	64.8	39.6	19.7	11.2	8.6	10.8	9.3	7.6	7.4	7.3	2.9	5.3	13.9
共働き	している	1,793	78.0	54.5	27.4	22.6	15.5	17.3	17.1	11.5	9.6	6.1	4.5	4.1	1.5
	していない	3,075	69.3	46.5	23.2	14.3	14.0	16.0	14.4	10.3	9.4	7.5	4.1	5.1	7.3
世帯年収	100万円未満	239	61.5	40.6	20.1	13.4	13.0	16.3	9.6	8.4	9.2	8.4	3.8	4.6	17.6
	～200万円未満	515	64.5	42.5	18.4	12.4	10.7	12.6	9.3	9.1	8.9	8.2	3.1	4.9	12.8
	～300万円未満	769	70.6	46.6	22.1	13.0	12.4	15.1	11.3	7.7	9.2	6.8	3.4	4.6	8.2
	～400万円未満	679	73.5	48.6	25.8	15.6	11.8	16.5	14.7	10.6	9.1	5.0	4.1	4.3	4.3
	～500万円未満	507	73.2	50.9	25.0	16.2	17.0	17.0	16.4	12.4	9.5	4.7	3.9	5.7	3.0
	～600万円未満	447	74.7	49.0	24.6	20.8	14.3	15.4	17.7	12.3	9.4	9.4	5.1	5.4	2.5
	～800万円未満	649	77.7	57.3	28.0	21.4	17.9	18.2	17.6	12.0	10.8	8.0	5.7	4.0	1.8
	～1,000万円未満	402	77.1	52.2	25.1	22.6	15.4	13.4	17.7	9.7	7.2	7.5	3.5	5.0	1.7
	1,000万円以上	409	71.1	51.8	27.4	24.7	18.8	19.1	18.8	13.9	9.3	5.9	6.1	4.2	1.2
	わからない	439	70.2	47.6	27.1	14.8	14.1	20.0	18.7	11.4	10.7	8.0	3.2	6.6	8.2
	わからない	439	70.2	47.6	27.1	14.8	14.1	20.0	18.7	11.4	10.7	8.0	3.2	6.6	8.2
地域	北勢地域	2,374	72.4	47.8	25.3	16.4	15.0	17.4	16.3	11.1	9.4	6.9	4.2	5.1	5.7
	伊賀地域	524	69.3	48.1	25.2	19.7	14.3	15.3	12.6	12.2	10.3	8.0	5.3	6.1	5.3
	中南勢地域	1,415	72.2	50.7	24.2	17.3	13.7	15.3	14.6	10.2	9.8	6.3	3.5	4.0	5.8
	伊勢志摩地域	614	72.6	51.8	20.4	18.4	14.8	15.6	14.7	9.3	7.7	7.5	4.4	4.6	6.4
	東紀州地域	169	60.9	40.8	22.5	15.4	7.7	12.4	7.7	7.7	6.5	9.5	4.1	5.9	14.2

※凡例： ■第1位 ■第2位 ■第3位

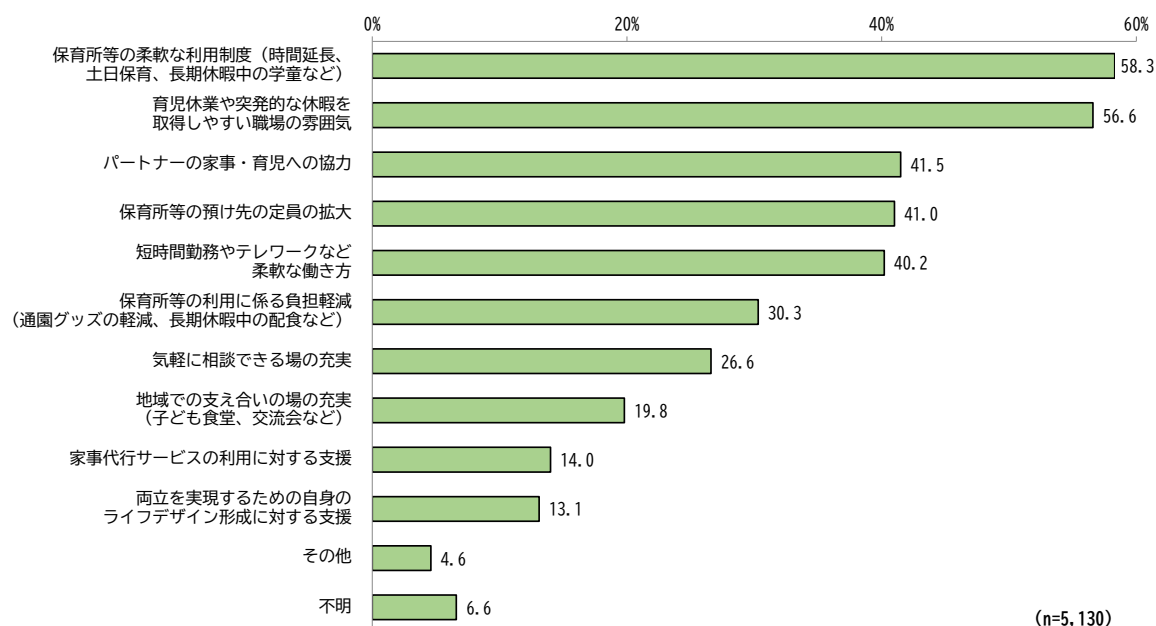
※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問5 あなたは仕事と子育てを両立する上で何が必要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 仕事と子育てを両立する上で何が必要だと思うかについて、「保育所等の柔軟な利用制度（時間延長、土日保育、長期休暇中の学童など）」の割合が58.3%で最も高く、次いで「育児休業や突発的な休暇を取得しやすい職場の雰囲気」(56.6%)、「パートナーの家事・育児への協力」(41.5%)となっています。

図表 2-4-16 子育てと仕事を両立する上で必要だと思う対策



※本質問の回答割合（%）は、「その他」、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

図表 2-4-17 子育てと仕事を両立する上で必要だと思う対策（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）													
	合計	保育所等の預け先の定員の拡大	保育所等の柔軟な利用制度（時間延長、土日保育、長期休暇中の学童など）	保育所等の利用に係る負担軽減（通園グッズの軽減、長期休暇中の配食など）	短時間勤務やテレワークなど柔軟な働き方	育児休業や突発的な休暇を取得しやすい職場の雰囲気	パートナーの家事・育児への協力の支援	家事代行サービスの利用に対する支援	両立を実現するための自身のライフデザイン形成に対する支援	地域での支え合いの場の充実（子ども食堂、交流会など）	気軽に相談できる場の充実	その他	不明
全体	5,130	41.0	58.3	30.3	40.2	56.6	47.5	14.0	13.1	19.8	26.6	4.6	6.6
性別	男性	2,263	42.3	57.9	30.5	36.1	51.3	30.7	11.9	14.8	20.6	25.8	5.7
	女性	2,791	40.2	58.9	30.2	44.0	61.2	50.4	15.6	11.9	19.2	27.1	6.8
	その他	17	35.3	47.1	35.3	64.7	64.7	52.9	17.6	11.8	23.5	58.8	5.9
年齢	18歳から20歳代	305	45.6	55.4	33.8	58.7	66.9	47.5	15.1	17.0	21.6	28.9	0.7
	30歳代	413	48.9	60.5	39.7	59.1	63.0	46.2	24.5	21.8	20.3	23.0	1.5
	40歳代	679	39.5	60.1	36.4	52.3	65.4	51.1	17.1	17.7	20.2	26.2	1.2
	50歳代	956	42.6	60.4	29.2	42.7	59.4	47.3	15.9	14.9	17.7	24.9	2.3
	60歳代	1,067	45.6	66.1	34.8	40.0	62.3	43.1	11.3	11.5	20.9	29.9	3.1
	70歳以上	1,620	35.3	52.0	22.8	26.9	45.1	30.9	10.4	8.6	19.8	26.1	15.1
配偶関係	未婚	827	42.3	55.4	29.7	46.8	53.6	41.4	16.3	15.1	22.6	30.4	6.3
	有配偶	3,441	42.3	61.3	31.3	40.7	59.5	42.7	13.8	13.0	18.9	25.7	4.5
	死別・離別	743	35.4	50.7	28.5	33.8	50.6	39.0	12.7	12.7	21.4	26.9	12.1
世帯類型	単身世帯	702	37.3	53.0	26.9	36.3	44.4	35.8	12.8	11.0	22.4	25.1	14.1
	一世代世帯	1,680	41.7	60.2	29.0	38.9	54.2	39.3	13.1	11.7	18.2	25.8	6.3
	二世代世帯	2,206	42.8	59.7	32.4	44.0	62.3	45.9	15.0	15.4	19.9	27.7	3.4
	三世代世帯	410	37.3	56.8	32.2	37.6	62.2	39.3	14.6	12.0	21.2	26.6	5.4
	その他	60	31.7	40.0	20.0	35.0	45.0	40.0	15.0	11.7	25.0	30.0	21.7
主な職業	農林水産業	131	42.0	53.4	22.9	26.7	46.6	34.4	10.7	13.7	21.4	32.1	9.2
	自営業、自由業	407	42.0	58.5	30.0	34.2	50.9	41.0	17.7	14.3	19.2	29.0	5.2
	正規職員	1,510	46.0	63.2	34.8	49.3	63.0	44.0	15.2	17.0	19.7	23.6	1.1
	パート・バイト・派遣	1,000	40.5	59.5	33.1	42.2	63.6	49.6	13.5	12.0	18.9	28.8	3.6
	その他の職業	182	41.8	56.0	29.1	39.0	49.5	41.2	14.8	13.7	20.9	28.0	5.5
	学生	86	37.2	54.7	41.9	59.3	67.4	47.7	12.8	20.9	29.1	32.6	0.0
	専業主婦・主夫	526	42.4	58.9	28.7	43.0	59.1	50.4	14.4	10.8	20.3	30.8	6.3
	無職	1,226	34.8	52.4	23.7	29.8	46.0	29.1	11.8	9.5	19.7	24.7	15.7
共働き	している	1,793	43.8	63.0	34.0	45.3	63.9	47.4	15.9	15.5	18.6	25.1	1.6
	していない	3,075	40.1	56.9	28.8	38.4	53.9	39.0	13.2	12.0	20.9	27.9	7.7
世帯年収	100万円未満	239	34.7	39.3	22.6	28.9	39.3	30.1	15.1	11.3	17.6	27.6	22.2
	～200万円未満	515	34.8	49.5	26.2	27.4	41.6	31.5	10.7	9.5	23.5	27.2	15.7
	～300万円未満	769	39.4	56.0	28.1	33.9	52.8	36.3	12.6	10.5	19.8	28.7	9.8
	～400万円未満	679	43.3	62.9	32.3	39.3	60.7	44.5	10.9	12.8	21.4	27.5	3.2
	～500万円未満	507	42.0	62.7	31.2	43.4	60.6	40.6	17.0	14.0	18.1	28.2	2.8
	～600万円未満	447	41.6	63.3	32.4	46.3	59.1	46.8	13.0	17.4	22.4	24.4	2.2
	～800万円未満	649	47.9	65.3	32.7	48.1	63.8	47.1	14.5	12.5	18.3	22.3	1.2
	～1,000万円未満	402	39.8	65.9	31.6	49.8	67.2	49.8	14.7	17.7	15.9	24.4	1.5
	1,000万円以上	409	49.1	62.1	35.9	46.0	62.6	48.7	22.2	15.2	18.1	22.7	0.7
	わからない	439	36.4	50.6	30.1	42.8	56.3	40.8	14.1	14.1	21.9	34.6	7.5
地域	北勢地域	2,374	43.0	58.1	30.7	42.5	56.9	43.1	14.9	13.6	20.1	26.8	5.8
	伊賀地域	524	39.3	57.6	29.0	39.7	55.9	39.1	13.9	14.7	19.1	25.2	6.3
	中南勢地域	1,415	41.8	59.8	30.5	39.6	57.6	40.9	14.6	12.2	19.4	27.0	5.9
	伊勢志摩地域	614	37.6	60.6	32.6	37.8	59.1	40.6	11.2	14.0	20.5	27.0	7.2
	東紀州地域	169	26.0	46.2	20.1	27.8	42.6	36.1	8.3	7.1	19.5	23.7	17.2

※凡例： ■第1位 ■第2位 ■第3位

※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

Ⅱ 集計結果

5. ライフステージ別分析 について

5. ライフステージ別分析について

県民の皆さんの意識やニーズは、年齢や家族構成、子どもの年齢などのライフステージによって大きく異なります。そのため、全体のみを把握するのではなく、ライフステージ別に分析を行うことで、それぞれの層が抱える課題や求めている施策をより具体的に把握し、効果的な県政運営の推進に役立てます。

ライフステージの区分と区分の設定条件

項目	質問文の概要
若者	18～29 歳で、「夫婦のみの世帯」以外の世帯（うち「未婚」または「離婚・死別」で、子どもがいない世帯）の回答者
独身	30～64 歳で、「夫婦のみの世帯」以外の世帯（うち「未婚」または「離婚・死別」で、子どもがいない世帯）の回答者
夫婦のみ	18～64 歳で、「夫婦のみの世帯」（うち子どもがいない世帯）の回答者
育児期	末子の学齢が小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者
教育期前期	末子の学齢が小・中学生・高校生・高専生の子どもがいる世帯の回答者
教育期後期	末子の学齢が専門学校生・短大生・予備校生・大学生（院生）の子どもがいる世帯の回答者
社会人期	末子の年齢が社会人の子どもがいる世帯の回答者
単身高齢者	65 歳以上の単身世帯の回答者
高齢者夫婦	65 歳以上の「夫婦のみの世帯」の回答者

5.1 子育てと仕事を両立する上で必要だと思う対策について

問5 あなたは仕事と子育てを両立する上で何が重要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

○ 仕事と子育てを両立する上で何が重要だと思うかについて、全体では「保育所等の柔軟な利用制度（時間延長、土日保育、長期休暇中の学童など）」の割合が 58.3%で最も高く、次いで「育児休業や突発的な休暇を取得しやすい職場の雰囲気」（56.6%）、「パートナーの家事・育児への協力」（41.5%）となっていました。

ライフステージ別でみると若者、夫婦、育児期、教育期前期・後期の方は「育児休業や突発的な休暇を取得しやすい職場の雰囲気」が最も高くなっており、特に育児期、教育期前期の方の割合は全体より 10 ポイント以上高くなっています。

また、若者、夫婦、育児期の方は「短時間勤務やテレワークなど柔軟な働き方」の割合も全体よりも 10 ポイント以上高くなっています。

育児期の方は全体よりも割合が 5 ポイント以上高い項目が 7 項目と最も多く、様々な対策を必要としている様子が見えます。

図表 2-5-1 子育てと仕事を両立する上で必要だと思う対策（ライフステージ別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（%）

	合計	保育所等の預け先の定員の拡大	保育所等の柔軟な利用制度（時間延長、土日保育、長期休暇中の学童など）	保育所等の利用に係る負担軽減（通園グッズの軽減、長期休暇中の配食など）	短時間勤務やテレワークなど柔軟な働き方	育児休業や突発的な休暇を取得しやすい職場の雰囲気	パートナーの家事・育児への協力	家事代行サービスの利用に対する支援	両立を実現するための自身のライフデザイン形成に対する支援	地域での支え合いの場の充実（子ども食堂、交流会など）	気軽に相談できる場の充実	その他	不明
全体	5,130	41.0	58.3	30.3	40.2	56.6	41.5	14.0	13.1	19.8	26.6	4.6	6.6
ライフステージ別	若者	237	45.1	54.4	32.9	57.0	65.0	48.1	13.5	19.8	25.3	3.0	0.8
	独身	479	45.1	59.3	32.8	49.7	54.5	42.2	18.8	15.0	23.8	6.5	2.1
	夫婦	196	44.9	58.2	34.2	58.2	62.8	50.5	22.4	21.9	25.5	6.6	1.5
	育児期	291	50.2	62.9	43.0	67.5	70.4	47.4	22.3	18.6	15.8	17.5	0.0
	教育期前期	609	36.0	60.1	33.8	49.4	68.6	49.6	16.6	16.7	16.7	22.5	0.3
	教育期後期	119	40.3	57.1	27.7	47.9	65.5	52.7	12.6	16.0	16.8	21.0	0.0
	社会人期	1,209	42.8	58.4	29.6	31.8	55.2	38.8	10.6	10.8	19.6	28.3	5.9
	単身高齢者	329	29.5	46.8	23.1	27.4	40.7	36.8	10.9	9.7	21.3	24.9	23.1
	高齢者夫婦	761	37.7	62.2	28.0	31.7	51.6	34.4	11.7	10.1	18.1	26.0	9.1
	非該当・無回答	900	41.8	56.9	26.7	36.0	52.4	40.0	13.0	10.7	19.9	27.0	11.8

※本質問の回答割合（%）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

5.2 人口減少対策について

問 8 これからのことについてお聞きします。人口減少・少子高齢化が進行することで懸念することはどのようなことですか。

(〇は3つまで)

○ 人口減少・少子高齢化が進行することで懸念することについて、全体では「地域公共交通（路線バス、鉄道等）の撤退・縮小が進む」が49.2%で最も高く、次いで「空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増加する」(49.1%)、「住民組織（自治会、消防団、地域の祭り等）の担い手が不足し、地域コミュニティの機能が低下する」(41.8%)となっていました。

ライフステージ別でみると、若者、育児期の方では「人手不足などによって、行政サービスの水準が低下する」が最も高く、割合も全体より10ポイント以上高くなっています。

社会人期、高齢者夫婦の方は「空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増加する」が最も高くなっています。

単身高齢者の方は「住民組織（自治会、消防団、地域の祭り等）の担い手が不足し、地域コミュニティの機能が低下する」が54.4%と最も高く、割合も全体より10ポイント以上高くなっています。

図表 2-5-2 人口減少・少子高齢化が進行することで懸念すること（ライフステージ別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）											
		合計	人手不足などによって、行政サービスの水準が低下する	地域公共交通（路線バス、鉄道等）の撤退・縮小が進む	生活関連サービス（小売・飲食）の縮小が進む	医療サービスの縮小が進む	空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増加する	住民組織（自治会、消防団、地域の祭り等）の担い手が不足し、地域コミュニティの機能が低下する	その他	懸念していることはない	不明
全体		5,130	39.6	49.2	25.9	34.3	49.1	41.8	2.6	1.8	3.4
ライフステージ別	若者	237	54.4	50.2	34.2	24.9	30.8	30.4	3.0	4.6	1.3
	独身	479	49.9	55.5	35.9	35.9	46.6	30.1	2.5	2.1	1.0
	夫婦	196	46.9	50.5	27.6	40.8	46.9	32.1	2.6	1.5	1.0
	育児期	291	56.7	41.9	29.2	34.0	42.6	32.3	5.2	1.4	0.7
	教育期前期	609	43.8	51.1	28.4	41.9	42.0	35.6	3.6	1.8	1.8
	教育期後期	119	43.7	58.0	21.8	45.4	45.4	31.9	4.2	0.0	3.4
	社会人期	1,209	35.2	46.7	22.1	34.5	51.9	48.4	2.2	1.6	4.7
	単身高齢者	329	32.5	42.9	26.4	24.0	53.2	54.4	1.8	2.7	4.3
	高齢者夫婦	761	30.7	48.9	22.5	33.8	58.1	53.9	1.1	0.9	4.2
	非該当・無回答	900	35.9	51.4	23.8	32.1	50.0	37.9	2.8	1.8	5.1

※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

5.3 ジェンダーギャップの解消について

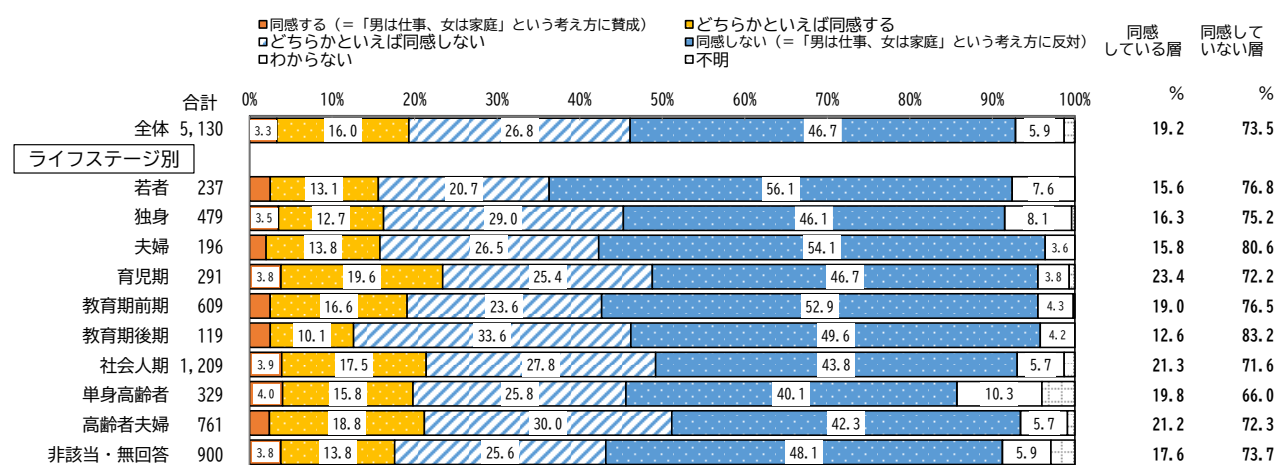
問 11 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

○ 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うかについて全体では、「同感しない層」の割合が73.5%で、「同感する層」の割合（19.2%）より54.3ポイント高くなっていました。

ライフステージ別でみると「同感する層」は育児期が23.4%で最も高く、「同感しない層」は教育期後期が83.2%で最も高くなっていました。

教育期後期の方は「どちらかといえば同感しない」が、夫婦、教育期前期の方は「同感しない（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対）」が全体よりも5ポイント以上高くなっていました。

図表 2-5-3 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うか（ライフステージ別）



※本質問の回答割合（%）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

Ⅲ その他

Ⅲ その他

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数 5,130 人のうち、1,879 人の方から自由意見が寄せられました。

➤ みえ県民 1 万人アンケートに関する御意見

今後もできる限り多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などに努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

① 目的や活用に関すること

- ・ アンケートが役立つことを願います
- ・ 調査してどれくらい改善されるか気になる
- ・ 県政に反映できる（参加している）と感じるこのようなアンケートは必要と思います
- ・ このアンケート結果がどう反映されるのかがわからない。
- ・ 集計結果と結果をどう活かすのか、具体的な施策を公表お願いします
- ・ アンケート調査の目的が不明。デジタル化は年寄りにも理解しやすい方法で

② 調査票の内容や構成に関すること

- ・ 高齢者夫婦ですのでアンケートには少し該当しない様な所もありました
- ・ 選択肢の多い設問に 3 つまでの回答というのは難しい。「いくつでも」が良かった
- ・ 難しくて分からない
- ・ 大まかすぎて判断に迷う質問がある
- ・ 質問の意図が分かりづらく、近いものがなくて答えづらかったです。どんな場面でどんな人が質問するのかで答えも違うので選べずにわからないにしました
- ・ 回答を得られやすくするためにはある程度仕方がないのだろうが、一概にそうすべきかやめておくべきかの二元論で回答するのはいかがなものかと思われるような設問が散見された

③ その他（実施方法、公表など）に関すること

- ・ このアンケートは全世代を対象にしたもので大雑把なように思えます。ある程度世代を限定して、それぞれに対する質問を用意してアンケートした方がアンケートの効果があると思います
- ・ このアンケートの結果を教えてほしい
- ・ 将来の為のアンケートです。ギフト券などいりません。税金をギフト券などに使わないでほしい

※自由意見の内容は誤字脱字を修正しているため、原文とは一部異なります。

（参考）標本誤差と調査の精度

母集団の一部を標本として抽出し、その回答からもとの母集団全体について推定する標本調査では、“真の値”（全数調査を行えば把握できるであろう値）との差が発生することが避けられません。この“標本誤差”は、次のような手順で見積もることができます。

まず、今回のように大きな母集団から標本を無作為抽出する調査では、ある選択肢が選ばれた比率（回答比率） p の“標準誤差”（回答比率の標準偏差）が次のように求められます。

$$\text{標準誤差} = \sqrt{\frac{p(100-p)}{n}} \quad n : \text{回答者数 (人)} \quad p : \text{回答比率 (\%)}$$

標本誤差はこの標準誤差と、結果に求める“信頼度”から見積もります。例えば、信頼度を、最も広く使われる95%（間違える確率が5%）とすると、標本誤差は次の式のように求めることになります。

$$\text{標本誤差} = 2 \times \text{標準誤差}$$

ここで、右辺第1項の2（厳密には1.96）は、想定する信頼度によって統計学的に決まる値です。回答比率プラスマイナス標本誤差の範囲が信頼区間と呼ばれるもので、信頼度95%の場合、真の値（母集団における比率）が95%の確率で、次の範囲におさまると考えることができます。これが、標本調査の精度です。

$$\text{回答比率} - \text{標本誤差} \sim \text{回答比率} + \text{標本誤差}$$

今回の調査では、10,000人の標本から5,130人の有効回答が得られました。回答者全員を対象とする集計結果の標本誤差を、上の式から具体的に計算すると、例えば回答比率が50%の場合は、1.4%、同20%では1.1%となります。このことから、三重県民（18歳以上）全体の意識を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。

次表は、いくつかの n （回答者数）と p （回答比率）の組み合わせについて、信頼度95%の標本誤差を計算した早見表です。

標本誤差の早見表

回答比率(p) 回答者数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

なお、標本誤差の計算は、特定の属性区分（例えば性別が女性など）の回答者 n 人とその回答比率 p という組み合わせについても同様です。上の表は、そのような標本誤差の早見表としてもご覧ください。

第4回 みえ県民1万人アンケート 調査票

所要時間は15分程度です。

ご回答は専用ウェブサイトか、この調査票(郵送)のいずれかからお願いします。
それぞれの回答方法は、下記を参照ください。

回答締切日:令和8年2月16日(月)

専用ウェブサイトでご回答いただく場合

※パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも可能です。

※インターネットでご回答いただいた方は調査票の返送は不要です。

[1] URL を直接ご入力、または二次元コードからアクセス

<https://questant.jp/q/mie2025>



[2] ログイン画面が表示されましたら、以下に記載のIDを入力してください。

あなたのID : ***** ※ 0 は数字のゼロです

パスワード :

IDは調査票からの回答とウェブサイトからの回答の重複を防ぐものであり、
回答者様個人を特定するものではありません。

[3] アンケート画面が表示されますので、ご回答ください。

調査票(郵送)でご回答いただく場合

[1] 調査票に記入



- ◆回答は順番に、番号に○をつけるか、回答欄に数字等を記入してください。
- ◆ご記入は、ボールペン又は鉛筆で、はっきりとわかりやすくお願いします。
- ◆アンケートは、次ページの問1からご回答ください。

[2] 同封の返信用封筒へ



◆記入を終えられましたら、
同封の返信用封筒(切手不要)に
調査票を入れ、郵便ポストに投かんしてください。

[3] ポストへ投かん



はじめに、生活の満足度についておききします

問 1 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

「非常に満足している」を 10 点、「全く満足していない」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。（数字を1つだけ○）

非常に満足している ←————→ 全く満足していない										
10 点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0 点

問 2 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

	5 満足	4 どちらか に満足	3 ふつう	2 どちらか に不満	1 不満	0 あては まらない ・ わからない
① 家計と資産	5	4	3	2	1	0
② あなた自身の給料や報酬・賃金	5	4	3	2	1	0
③ 仕事のやりがいや生活とのバランス	5	4	3	2	1	0
④ 健康状態	5	4	3	2	1	0
⑤ 医療サービス	5	4	3	2	1	0
⑥ 介護・福祉サービスの利用しやすさ	5	4	3	2	1	0
⑦ 子育てのしやすさ	5	4	3	2	1	0
⑧ 子どもの教育	5	4	3	2	1	0
⑨ 交友関係やコミュニティなど 社会とのつながり	5	4	3	2	1	0
⑩ 身のまわりの自然環境	5	4	3	2	1	0
⑪ 自然災害への備え	5	4	3	2	1	0
⑫ 交通安全・防犯など身のまわりの安全	5	4	3	2	1	0
⑬ 文化・スポーツなどの趣味、生きがい	5	4	3	2	1	0
⑭ 移動手段、交通の便利さ	5	4	3	2	1	0

次に、県が注力している取組に関することについておききします

【結婚について】

問3 あなたは、これまでに結婚をしたことはありますか。（○は1つだけ）

- 1 未婚（結婚したことはない）
- 2 既婚・配偶者あり（現在、夫または妻がいる） ⇒ 問4へ
- 3 既婚・死別または離別
（結婚したことはあるが、死別または離別した） ⇒ 問4へ

問3-2 問3で「1」を選んだ方（これまで結婚したことがない方）におききします。
今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、
次のうちどちらですか。（○は1つだけ）

- 1 いずれ結婚するつもり
- 2 結婚するつもりはない ⇒ 問3-5へ

問3-3 問3-2で「1」を選んだ方におききします。
現在、結婚していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 結婚するのはまだ早い ⇒ 問4へ
- 2 出会いの機会がない
- 3 理想の相手に出会えていない
- 4 収入が少ない ⇒ 問4へ
- 5 自分に自信が持てない ⇒ 問4へ
- 6 自由な生活を失いたくない ⇒ 問4へ
- 7 仕事が不安定 ⇒ 問4へ
- 8 金銭的に不自由になる ⇒ 問4へ
- 9 キャリアアップの障害になる ⇒ 問4へ
- 10 結婚に希望やいいイメージを感じない ⇒ 問4へ
- 11 その他（ ） ⇒ 問4へ

問3-4 問3-3で「2」「3」を選んだ方におききします。ご自身がお相手を探すために
していること、もしくはしようとしていることはありますか。（○はいくつでも）

- 1 知人等に紹介を依頼
- 2 ネット系婚活サービス（マッチングアプリ、恋活・婚活サイト）の利用
- 3 結婚相談所の利用
- 4 SNS やインターネットで興味のあるコミュニティに参加
- 5 婚活パーティ・イベントに参加
- 6 お見合い
- 7 趣味や習い事でのお相手探し
- 8 合コンに参加
- 9 特に何もしていない、する予定はない
- 10 その他（ ）

問3-5 問3-2で「2」を選んだ方におききします。

「結婚するつもりはない」と考える理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 年齢的に難しいと感じる
- 2 結婚したいと思える人に巡り合えそうにない
- 3 苗字・姓が変わるのが嫌・面倒
- 4 結婚という形式にこだわる必要性を感じない
- 5 自由でいたい
- 6 ほかのことより優先してまで結婚・恋愛をしたくない
- 7 結婚生活を送る経済力がない・仕事が不安定
- 8 仕事を優先したい・キャリアを中断したくない
- 9 誰かと一緒に生きていきたいと思わない
- 10 婚活・恋愛で辛い経験があり、もうしたくないと思う
- 11 その他（ ）

【子ども・子育て支援について】

問4 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子ども的人数をお答えください。

（○は1つだけ。「1」に○をつけた方は（ ）に人数も記入してください）

- 1 （ ）人くらいほしい（ほしかった）
- 2 ほしくない（ほしくなかった）
- 3 わからない

問4-2 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

（○は1つだけ。「1」に○をつけた方は（ ）に人数も記入してください）

- 1 子どもが（ ）人いる
- 2 子どもはいない ⇒ 問4-4へ

問4-3 問4-2で「1」を選んだ方におききします。同居されているお子さんの内、一番下の方の年齢あるいは学齢をお答えください。（○は1つだけ）
（例：三兄弟の三男が家を出て、長男と次男のみ同居している場合は、次男の状況をお答えください。）

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1 3歳以下 | 6 大学生（院生）・専門学生・短大生・予備校生 |
| 2 4歳以上で小学校入学前 | 7 社会人 |
| 3 小学生 | 8 同居している子どもはいない |
| 4 中学生 | 9 その他（ ） |
| 5 高校生・高専生 | |

問4-4 これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少ないという傾向がでています。この理由として、あてはまると思うものに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎている
- 2 仕事と子育てを両立できる職場環境ではない
- 3 子どもを育てる環境（保育所、学校など）が整っていない
- 4 ほしいけれども子どもに恵まれない
- 5 高年齢で産むのは嫌・難しい
- 6 パートナーの家事・育児への協力が得られない
- 7 育児の心理的、肉体的負担に耐えられない
- 8 自分や夫婦の時間を大切にしたい
- 9 地域社会において子育てへの理解が薄い
- 10 健康上の理由
- 11 パートナーが望まない
- 12 その他（ ）

問5 あなたは仕事と子育てを両立する上で何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 保育所等の預け先の定員の拡大
- 2 保育所等の柔軟な利用制度（時間延長、土日保育、長期休暇中の学童など）
- 3 保育所等の利用に係る負担軽減（通園グッズの軽減、長期休暇中の配食など）
- 4 短時間勤務やテレワークなど柔軟な働き方
- 5 育児休業や突発的な休暇を取得しやすい職場の雰囲気
- 6 パートナーの家事・育児への協力
- 7 家事代行サービスの利用に対する支援
- 8 両立を実現するための自身のライフデザイン形成に対する支援
- 9 地域での支え合いの場の充実（子ども食堂、交流会など）
- 10 気軽に相談できる場の充実
- 11 その他（ ）

【人材確保について】

問6 三重県で働く方を増やすために、あなたは、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思いますか。（○は3つまで）

- 1 自然豊かな落ち着いた環境で生活できる
- 2 名古屋・大阪など都市圏へのアクセスが良い
- 3 農林水産業、工業、観光業など多様な産業があり選択肢が多い
- 4 ワークライフバランスが図りやすい
- 5 人が温かい
- 6 働きながら子育てがしやすい
- 7 生活費を抑えられる
- 8 通勤の負担が少ない
- 9 特にない
- 10 その他（ ）

【人口減少対策について】

問7 これまでのことについてお聞きします。あなたが実際に人口減少・少子高齢化を実感した場面はどのような場面ですか。（○は3つまで）

- 1 近所の学校が廃校になったとき
- 2 外で子どもの声を聞かなくなったと感じたとき
- 3 商店街にシャッターが下りたまの店舗が増えたとき
- 4 近所の百貨店やスーパーマーケットがなくなったとき
- 5 バスや鉄道の本数が減った、路線自体がなくなったとき
- 6 管理されない道路や公園等の公共施設が増えたとき
- 7 医療施設、福祉施設が減少した（なくなった）とき
- 8 空き家をよく見かけるようになったとき
- 9 転出者の噂を聞くようになったとき
- 10 地域に活気がなくなったと感じたとき
- 11 その他（ ）
- 12 人口減少を実感したことがない

問8 これからのことについてお聞きします。人口減少・少子高齢化が進行することで懸念することはどのようなことですか。（○は3つまで）

- 1 人手不足などによって、行政サービスの水準が低下する
- 2 地域公共交通（路線バス、鉄道等）の撤退・縮小が進む
- 3 生活関連サービス（小売・飲食）の縮小が進む
- 4 医療サービスの縮小が進む
- 5 空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増加する
- 6 住民組織（自治会、消防団、地域の祭り等）の担い手が不足し、地域コミュニティの機能が低下する
- 7 その他（ ）
- 8 懸念していることはない

【文化振興について】

問9 県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 魅力ある展覧会や公演、講座等の開催
- 2 子どもたちが文化・芸術や伝統文化にふれる機会の充実
- 3 地域の伝統的な文化が継承され、親しまれるようにすること
- 4 文化・芸術を担う人材の育成支援
- 5 年齢や障がいにかかわらず文化・芸術に関する活動を行える環境の整備
- 6 文化資源の鑑賞等を通じて文化への理解を深める文化観光の推進
- 7 多様な主体（県民、企業、文化団体、学校、行政など）との連携の推進
- 8 文化・芸術を活用した地域の活性化や地域の課題解決
- 9 文化財の適切な保存・継承および地域における活用
- 10 県内外の文化施設どうしとの連携による県立文化施設の魅力向上
- 11 文化・芸術に関する情報発信の強化
- 12 自宅で文化施設を楽しめる動画等、デジタル技術の活用の推進
- 13 その他（ ）
- 14 わからない

問 9-2 文化は、観光やまちづくりなど様々な分野と連携することで、新たな価値が生まれ文化の発展につながることを期待されています。あなたは、文化・芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------|-----------------|
| 1 観光 | 6 まちづくり（地域の活性化） |
| 2 教育 | 7 スポーツ・健康増進 |
| 3 経済・産業 | 8 国際交流 |
| 4 福祉 | 9 その他（ ） |
| 5 子育て | 10 わからない |

【観光について】

問10 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。（〇は3つまで）

- 1 イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上
- 2 経済活性化や働く場の増加
- 3 施設や道路などのインフラ整備
- 4 文化資源や自然資源の保存・継承
- 5 騒音やゴミの増加による生活環境の悪化
- 6 道路の渋滞、バスやタクシーの混雑
- 7 自然や景観が損なわれる
- 8 観光地化による物価上昇
- 9 とくに効果や影響はない
- 10 その他（ ）

【ジェンダーギャップの解消について】

問11 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。
(○は1つだけ)

- 1 同感する（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成）
- 2 どちらかといえば同感する
- 3 どちらかといえば同感しない
- 4 同感しない（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対）
- 5 わからない

【共生社会について】

問12 あなたは、日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく共生社会についてどう思いますか。（○は1つだけ）

- 1 望ましいと思う
- 2 どちらかといえば望ましいと思う
- 3 どちらかといえば望ましいと思わない
- 4 望ましいと思わない
- 5 わからない

【デジタルの活用について】

問13 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|---|-----------------------------------|---------|
| 1 | デジタルサービスを利用したことがある | ⇒問 4へ |
| 2 | 行政手続をする機会はあったが、デジタルサービスは利用したことはない | |
| 3 | そもそも行政手続を利用する機会がなかった | ⇒問 4へ |
| 4 | わからない | ⇒問 4へ |

問 | 3-2 問 | 3で「2」を選んだ方におききます。
その主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 スマートフォンやパソコンを持っていない
- 2 手続きがデジタル化していることを知らなかった
- 3 必要な手続きがデジタル化していない
- 4 利用方法がわからない、操作が難しい
- 5 対面による手続きがよいと思う
- 6 その他（ ）

【災害について】

問 | 4 三重県では南海トラフ地震や内陸直下型地震が発生した際の地震被害想定調査の結果を公表していますが、お住まいの地域における震度予測や津波浸水予測などの被害想定を知っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 具体的に知っている
- 2 ある程度は知っている
- 3 知らない

問 15 南海トラフ地震について三重県で大きな被害*が想定されています。災害から身を守るためにどのような防災対策を行っていますか。(〇はいくつでも)

1	3 日分以上の飲料水・食料の確保	9	断水に備え、風呂に常に水を入れている
2	懐中電灯や携帯ラジオ等を入れた非常持ち出し袋を準備している	10	転倒の危険性がある家具を固定または置かないようにしている
3	懐中電灯の電池や携帯電話等の予備電源の確保	11	本棚や食器棚等から物が飛び出ないようにしている
4	自家用車の燃料を常に半分以上確保	12	家屋の耐震対策または耐震基準の確認
5	携帯トイレの準備	13	自然災害に対応した保険に加入
6	マスク等の感染症対策物品の確保	14	災害時、家族間の連絡方法や集合場所を決めている
7	寝室にスリッパを置いている	15	特に対策をとっていない
8	消火器を常備		

*令和 7 年 3 月に公表された国の被害想定で、最大津波高 2.6 m、死者 2.9 万人。

さいごに、ご自身の現在のことについておききします

三重県全体の分析のためには、お一人おひとりについて、以下の情報が欠かせません。
無記名式であり、集計した結果のみを使用しますので、個人の情報が特定されることは一切ありません。ぜひご協力ください。

問 1 7 あなたの性別と年齢、三重県に住んでいる期間について教えてください。

【性別】

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

【年齢】

満 歳

【三重県に住んでいる期間】（一度三重県から離れた期間がある場合は、その期間を除いた通算年数をご回答ください。）

年以内

問 1 8 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。（○は1つだけ）

- 1 単身世帯（ひとり暮らしなど）
- 2 一世代世帯（夫婦のみなど）
- 3 二世代世帯（親と子など）
- 4 三世代世帯（親と子と孫など）
- 5 その他（）

問 1 9 あなたの主な職業は何ですか。（○は1つだけ）

- 1 農林水産業（家族従事者も含みます）
- 2 自営業、自由業（家族従事者も含みます）
- 3 企業、役所、団体などの正規の社員・職員
- 4 パート、アルバイト、派遣社員など
- 5 その他、収入のある仕事
- 6 学生（アルバイトなどをしている方も含みます）
- 7 専業主婦、専業主夫
- 8 無職

問 2 0 あなたは配偶者の方と共働きをしていますか。（○は1つだけ）

- 1 はい
- 2 いいえ

問 2 1 あなたの世帯全体の年間収入（税込み）はどのくらいですか。
（○は1つだけ）

1 100 万円未満	6 500 万円～600 万円未満
2 100 万円～200 万円未満	7 600 万円～800 万円未満
3 200 万円～300 万円未満	8 800 万円～1,000 万円未満
4 300 万円～400 万円未満	9 1,000 万円以上
5 400 万円～500 万円未満	10 わからない

問 2 2 あなたのお住まいの市町はどちらですか。

「1」～「29」のお住まいの市町に○をつけてください。（○は1つだけ）

北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
1.桑名市 2.いなべ市 3.四日市市 4.鈴鹿市 5.亀山市 6.木曽岬町 7.東員町 8.菰野町 9.朝日町 10.川越町	11.伊賀市 12.名張市	13.津市 14.松阪市 15.多気町 16.明和町 17.大台町	18.伊勢市 19.鳥羽市 20.志摩市 21.玉城町 22.度会町 23.大紀町 24.南伊勢町	25.尾鷲市 26.熊野市 27.紀北町 28.御浜町 29.紀宝町

今後、三重県に特に力を入れてほしい取組*や、本アンケート調査に対するご感想、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

*県の取組については、同封の依頼状裏面の『「みえ元気プラン」の主な取組』も参考にしてください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入を終えられましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れ、令和8年2月16日（月）（消印有効）までに郵便ポストに投かんしてください。

また、ご回答いただいた方の中から、**抽選で250名に1,000円分のAmazonギフト券（eギフトカード）**を進呈させていただきます。

抽選をご希望の方は、商品発送用のメールアドレスを下記にご記入ください。

メールアドレス

※メールアドレスは商品発送にのみ使用し、回答者様個人と回答内容を特定するものではありません。

第4回みえ県民1万人アンケート集計結果報告書

三 重 県 政 策 企 画 部 企 画 課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

電話 059-224-2025

FAX 059-224-2069

E-mail : kikakuk@pref.mie.lg.jp